

社会言語学的視点から見た北朝鮮の言語
—新聞・雑誌・ドラマの言語を中心として—

一橋大学審査博士学位論文

一橋大学大学院 言語社会研究科

博士課程

LD131007

徐旻廷

目 次

序章.....	1
1. 研究背景と目的.....	1
2. 論文の構成.....	4
第1章 北朝鮮の言語政策.....	6
1. 北朝鮮の言語政策をめぐる時代的背景.....	6
2. 「文盲退治」——北朝鮮における識字運動.....	7
3. 「漢字廃止」——北朝鮮における「ハングル専用」政策.....	10
4. 「国語醇化運動」と「文化語運動」.....	13
5. 「文化語」と「主体思想」との関連性.....	16
第2章 言語醇化及び《我々の言葉の整え方についての紙上討論》.....	19
1. 言語醇化とは.....	19
2. 北朝鮮における「言語醇化」.....	21
2.1 1945~1953.....	21
2.2 1954~1963.....	23
2.3 1964年以降.....	24
3. 《我々の言葉の整え方についての紙上討論》.....	26
3.1 《我々の言葉の整え方についての紙上討論》とは.....	26
3.2 《我々の言葉の整え方についての紙上討論》の内容分析への視点.....	26
3.3 「紙上討論」の討論内容から見える言語感覚——具体例の提示.....	36
3.4 《我々の言葉の整え方についての紙上討論》の意図.....	59
4. おわりに.....	61

【『文化語学習』の資料的性格】65

- 1. 『文化語学習』の概観65
- 2. 『文化語学習』の構成66
- 3. 先行研究と『文化語学習』分析の意義68

第3章 言語醇化の視点から見た北朝鮮の地名—『文化語学習』の内容を中心として— 70

- 1. はじめに70
- 2. 先行研究70
- 3. 北朝鮮の行政区域改編と地名調査事業72
 - 3.1 行政区域改編72
 - 3.2 地名調査事業73
- 4. 『文化語学習』の内容分析78
 - 4.1 地名の命名80
 - 4.2 地名の由来96
 - 4.3 外国の地名105
- 5. 北朝鮮における地名の政治性107
- 6. おわりに109

第4章 北朝鮮における女性のことば—『文化語学習』の内容を中心として— 112

- 1. はじめに112
- 2. 「言語とジェンダー」と先行研究114
- 3. 『文化語学習』を通して見た北朝鮮における女性のことば118
 - 3.1 「女性の言語礼節」119
 - 3.2 「文学作品の中での女性のことば」123
- 4. 終わりに131

第5章	ドラマ「우리 이웃들（ご近所物語）」を通してみた南北言語	133
1.	はじめに.....	133
2.	北朝鮮の日常言語が見られるドラマ	134
3.	北朝鮮における「テレビ劇」と先行研究.....	136
3.1	北朝鮮のドラマ、「テレビ劇（텔레비죤극）」とは。	136
3.2	先行研究を通してみた北朝鮮のドラマ分析	137
4.	北朝鮮のテレビドラマ「우리 이웃들（ご近所物語）」とは.....	138
5.	「ご近所物語」を通してみた日常言語の語彙とその使用様相	139
5.1	発音の違い.....	141
5.2	意味の違い.....	146
5.3	表現の違い.....	155
6.	おわりに	161
終章	163	
1.	本研究のまとめ	163
2.	今後の課題.....	166
参考文献	167	

序章

1. 研究背景と目的

2014年韓国の国立国語院によると、韓国語使用者数が世界18位から13位に引き上げられた¹。その根拠とは、各種言語関連の公式的な統計資料を提供している世界的な言語情報提供サイト²であるエスノログ(Ethnologue)が、以前は世界18位であった韓国語使用者数を13位に引き上げた、というものである。エスノログの統計によると、韓国語使用者の主な国家は、韓国・北朝鮮・中国・日本・ロシアで、国家別の使用者数は以下のようである。

- ・韓国：4,840万人　・北朝鮮：2,330万人
- ・中国：271万人　・日本：90万5千人　・ロシア：4万2,400人

全世界の韓国語使用者数は、約7,720万人と推算されている。これは、おそらく韓国語を「国語(national language)」として採択している朝鮮半島の二つの国家である韓国と北朝鮮の人口と、上述の韓国・北朝鮮以外の国の朝鮮族・在日朝鮮人・高麗人として暮らしている集団の人口数を合わせたものであろう。多様な集団が存在することから言語名を意味する「KOREAN(KOR)」も韓国では「韓国語：한국말(어)」、北朝鮮では「朝鮮語：조선말(어)」と呼ばれているし、他の地域ではこの二つの言語名を含め、「ウリマル：우리말」、「キョレマル：겨레말」などで呼ばれている。この統計では、「KOREAN(KOR)」の代替名(alternate names)として、「Hanguk Mal：韓国語」、「Hanguk Uh：韓国語」のみが表記されている。これは、「KOREAN」の主な使用者である韓国で呼ばれているのをそのまま表記したものであると思われる。

実は、「KOREAN」をめぐる名称の問題はそう単純なものではない。例えば、日本のNHK放送局の語学講座で「KOREAN」講座を「ハングル講座」と表記している。語学講座名は、本来国名をそのまま使って「-語」にするのが一般的であるが、「KOREAN」だけは文字名をとって「ハングル講座」と表記している。これだけを見ても、日本国内における「KOREAN」の名称問題はなかなか複雑で解決できない問題であるのは確かである³。

¹ 「韓国語使用者数、世界18位から13位に引き上げ」韓国国立国語院の報道資料，2014.05.14日付。

² <http://www.ethnologue.com>

³ これは、日本国内の「在日朝鮮人」に関する名称問題とも関係している。

北朝鮮の朝鮮語、韓国の韓国語、併せて在日朝鮮人の言語状況にまで言及しないと、収束しない問題であろう。

その一方、韓国と北朝鮮、すなわち朝鮮半島内で言語の名称問題は意外と簡単である。一般的に韓国では「韓国語」、北朝鮮では「朝鮮語」として使われているためである。しかし、お互いの言語名については韓国では北朝鮮の言語を「北韓語」（もしくは「朝鮮語」）、北朝鮮では韓国の言語を「南朝鮮語」などと呼んでいる。韓国では北朝鮮を「北韓」、韓国を「南韓」と呼んでいるが、これは韓国を北と南に分けて呼ぶ際の名前である。北朝鮮でも同じく韓国を「南朝鮮」と呼んでいるが、これも「朝鮮」を北と南に分けて指す時に使う名前である。すなわち、韓国と北朝鮮内のみで使われる国家別称と言える。その国家別称に「-語」がついて言語名となっているのである。

もちろん、「キョレマル」・「ウリマル」などと呼ばれる場合もあるが、これは北と南、そして南と北が一つの民族であるという念願を込めて呼ぶものとして、公式的な言語名というよりは一つの民族語として表現する時に使われる。いずれにしても「北韓語」でも「南朝鮮語」でも広い意味から見ると「KOREAN」であることは間違いないことであるが、それぞれの名称が異なるのは（国家名を含めて）、現在の朝鮮半島における南北分断の状況と深い関係があるといえよう。

それでは、それぞれの言語名が異なると、その言語も異なることを意味するのか。

エスノログの統計によると、全世界の約 7,720 万人が「KOREAN」使用者であるが、当然のことながら朝鮮半島に住んでいる人々が大部分である。中国・日本・ロシア内の「KOREAN」使用者は、それぞれその国の言語を含めて二言語話者であるだろうし、場合によっては「KOREAN」が第一言語ではなく第二言語として機能している可能性もある。

これまで第二言語としての「KOREAN」を分析した研究としては、在日朝鮮人・朝鮮族・高麗人などの朝鮮半島以外の国家や地域に住んでいる人々を対象にした研究がほとんどである⁴。このような研究は「単一言語、あるいは公用語」としての研究よりは「民族語」としての継承語問題、言語使用実態及び態度、または二言語使用者としての言語接触の結果として生じる言語的要因、言語変異などを分析した社会言語学的なアプローチが主であ

⁴ 김보향 (2015) 「재일제주인의 언어 변화와 언어 전환 과정 연구」 제주대 국문과 박사논문 : 在日濟州人の言語が日本語との接触によってどのような変化をもたらしたのかについての研究で、言語接触による社会言語学の研究である。강미화 (2009) 「관내(關内)조선족의 언어사용 상황에 대한 약간의 고찰」 『중국조선어문』 ; 關内に侵入した朝鮮族の言語使用状況と言語態度を調査・研究した。윤인진 (2014) 「독립국가연합 고려인의 사회 정체성과 언어 사용 실태」 『재외한인연구』 33 ; 高麗人の民族アイデンティティと国民アイデンティティの水準を測定し、彼らの言語使用実態を把握し、アイデンティティの類型と言語使用実態間の関係を分析した研究である。

る。このようなアプローチが可能であるのは、それぞれ異なる言語環境に置かれているためである。とすると、「単一言語」を使用する地域である朝鮮半島の言語環境はどのような状況に置かれているのか。

周知のように、朝鮮半島は北と南に分かれて約 70 年間以上、分断国家として存在している。領土の分断のみならず、政治・経済・文化などの様々な分野で互いに異なる多くの変化があった。したがって、その社会の産物とも言える言語にも影響を及ぼしているのである。すなわち、言語と社会は密接な関係にあるので朝鮮半島においては時間と空間の断絶によって、それぞれ異なる社会体系を構築することで同一言語を共有していた北と南の言語も変化しているのである。

全世界に存在する数多い言語体系は、各々の地域的要因によっては地域方言と、社会的要因によっては社会方言とに区別できる。また、全ての言語には時間が経過することによって生成・発展・消滅するなど変化の現象が見られる。このような変化、もしくは変異は社会言語学で取り扱う研究テーマであると言えるので、現在も変化しつつある南北の言語の違い、そして北朝鮮における言語について理解するためには社会言語学的なアプローチが必要である。

本研究では、北朝鮮における言語を理解するためにこれまで行われた北朝鮮の言語政策について分析し、北朝鮮の新聞や雑誌、そしてテレビドラマを中心として北朝鮮における言語状況について実証的に分析した。

研究方法としては、北朝鮮の新聞・雑誌・テレビドラマの言語を主な分析対象とした。北朝鮮の印刷媒体及び映像資料を分析することで北朝鮮の言語状況について分析し、最後の第 5 章では、実際に語られる話し言葉を中心として現在の南北言語の違いと北朝鮮の言語の特徴について考察することを目標とした。

2. 論文の構成

本論文の構成は以下の通りである。

第 1 章では、北朝鮮の言語政策について識字運動である「文盲退治」、文字政策の「漢字廃止」がどのように行われたかについてその時代的背景と関連づけて考察する。また、北朝鮮の言語政策の中で最も特徴として見られる言語醇化、そして北朝鮮の「文化語」（平壤の言葉を中心とした北朝鮮の標準語）の登場と金日成の「主体思想」との関連性について記述した。第 1 章では、解放直前の朝鮮半島における言語状況と、解放以降から行われた言語政策をまとめたものである。

第 2 章から第 4 章までは、北朝鮮の代表的な新聞である『労働新聞』、北朝鮮の標準語である「文化語」が登場した後「文化語」の普及のために発行された語学雑誌である『文化語学習』の内容を分析対象とする。

第 2 章では、一般的な言語醇化の概念について触れ、北朝鮮における言語醇化を三つに時期区分し、その内容をまとめた。また、1966 年から掲載された長期連載記事である『労働新聞』の《我々の言葉の整え方についての紙上討論》の内容を分析対象とする。ここでは、最終的に整えられた言葉ではなく、紙上討論の過程を提示することで、北朝鮮社会とそこに生きる人々が「我々の言葉」と感じた言語と、その言葉への感覚を組み上げることに議論の焦点を置くこととする。

第 3 章と第 4 章では、北朝鮮の語学雑誌である『文化語学習』の内容を分析する。まず、『文化語学習』の紹介については第 3 章の導入部分に記す。

第 3 章では、第 2 章で取り上げた一般用語、専門用語以外に「地名」にも言語醇化の原理が適用された点に注目した。すなわち、北朝鮮の地名は整理しなければならない特殊語彙に該当するが、これも言語醇化の対象となった語彙であった。『文化語学習』には地名に関する文が 105 件掲載されているが、その内容によって「地名の命名」、「地名の由来」、「外国の地名」のように分類できる。それぞれ議論された地名を言語醇化の視点からアプローチすることで北朝鮮の地名は、他の醇化の対象となった語彙と同様、言語醇化が積極的な介入した部分であることを明らかにする。

第 4 章では、第 3 章の分析対象であった『文化語学習』の内容を異なる角度から分析するものである。『文化語学習』は一般大衆を読者とする語学雑誌であるため、言語実践的な側面を充実に反映しているテキストである。これまで言語政策及び言語醇化に焦点を合わせてきたが、第 4 章では言語実践に関する文について分析する。主な内容としては、

『文化語学習』では言語実践的な側面として言語礼節の重要性について述べてきたが、その中でも特に女性の言語礼節について注目した。ここでは『文化語学習』の内容を「女性の言語礼節」と「文学作品の中での女性のことば」に区分して、北朝鮮における女性のことばについて考察した。女性のことばを通して、北朝鮮の女性における言語の特徴、また北朝鮮社会が要求している理想的な女性像について分析する。

最後に、第 5 章では北朝鮮のテレビドラマの台詞を分析することで南北言語の違いについて考察する。分析対象とした作品は「우리 이웃들(ご近所物語)」である。このドラマは家族と近所の人々を素材にしているので、日常生活でよく接することができる場面と台詞が多く、愉快でコミカルな要素が含まれているのが特徴である。大衆媒体をプロパガンダとして活用している北朝鮮でなかなか見られないホームドラマである。実際に発話される日常言語と言えるドラマの台詞を通して、南北言語の中でも最もその差異が際立つとも言える「語彙」を中心としてその使用様相を見るのに重点を置いた。「語彙」はその社会像を反映しており、北朝鮮の語彙とその使用様相を調べることは、北朝鮮社会の一面を見ることができるといえる社会的なアプローチが可能などころでもある。

第1章 北朝鮮の言語政策⁵

1. 北朝鮮の言語政策をめぐる時代的背景

北朝鮮の言語政策の背景を述べるにあたって、植民地朝鮮における日本の言語政策の影響を欠かすことはできない。日本が植民地下の朝鮮で実行した言語的な支配は、一般に「朝鮮語抹殺政策」あるいは「民族語抹殺政策」と呼ばれる⁶。植民地の初期は、「朝鮮語」の科目をそのまま教育するだけでなく、全3回にわたって朝鮮語における諺文綴字法を公布した⁷。これは、当時、朝鮮語の綴字法が統一されていなかった状況のなかで日本語を全面的に普及するためであった。日本は植民地朝鮮において「日本語」を「国語」に名称変更し、「朝鮮語」はその「国語」の普及のために使われた道具であったのだ。道具として使われた「朝鮮語」は、1938年の第三次朝鮮教育令によって、公的な場における言語活動の表面から消えてしまう。教育機関や出版物などに日本語の使用を強要し、なおかつ、朝鮮人の姓名の使用を禁じ、日本式に改名することを強制した。日本は、日本語普及以外にも、日本の文化に馴染むようにして、朝鮮の文化まで埋没させようとしたのである。このような日本の「朝鮮語抹殺政策」の結果、解放の前後、日本語の普及は27%であったが、ハングルの読み書きができない人は、全体人口(12歳以上)⁸の78%にも至ったということは⁹、朝鮮語の損傷に対する深刻性についてよく知ることができる。解放直後より南北朝鮮のいずれにも見られた熱狂的ともいえる言語的愛国心のキャンペーンや、活発な「国語醇化運動」の推進も、この「民族語抹殺政策」の歴史的記憶を絶えざるエネルギー源としてすすめられているといえよう¹⁰。

⁵ 筆者の修士論文である「北朝鮮の「国語醇化運動」に関する考察-1966年から1973年まで『労働新聞』における《我々の言葉の整え方についての紙上討論》の分析-」（一橋大学大学院言語社会研究科、2013）の一部を抜粋して、まとめたものである。

⁶ イ・ヨンスク（1996）『国語という思想』, pp.250-251.

⁷ 民間の学術団体である「朝鮮語学会(조선어학회)」が「ハングル綴字法統一案(한글맞춤법통일안) (1933)を制定する以前、朝鮮総督府より「普通学校用言文綴字法(보통학교용언문철자법)」(1912)、「普通学校用言文綴字法大要(보통학교용언문철자법대요)」(1921)、「言文綴字法(언문철자법)」(1930)が公布されていた。

⁸ 当時の文盲者について調べた調査では、調査対象となる規準年齢を「12歳以上」とした資料が多いが、この「12歳」とは日本式の初等教育終了年齢であり、植民地期から解放直後の社会構成を区分する年齢基準のひとつだったと思われる。

⁹ 김동석 (2006) 「해방기 어문운동이 문학에 미친 영향」 『어문논집』 54, p. 389.

¹⁰ イ・ヨンスク（1996）『国語という思想』, p.251.

やがて解放を迎えた朝鮮半島では、おもに朝鮮語の語彙に組み込まれ残りつづけた日本語からの借用語を払拭し、きびしく抑圧された結果生じた朝鮮語の機能不全を「回復させる」目的から言語政策が展開された。朝鮮半島で行われた言語政策、とりわけ民族語の「国語醇化運動」を通じて模索された国民アイデンティティ回復の試みは、朝鮮のみならず植民地を経験した国家や地域にて顕著に施行された言語政策である¹¹。

2. 「文盲退治」—— 北朝鮮における識字運動

朝鮮半島において識字運動は、一般に「文盲退治」(문맹퇴치)と呼称された。現代においてはいくぶん差別的に響いてしまう名称であるが、それはまずなによりも解放後の朝鮮に非識字者の存在を放置しないとの社会的責務に突き動かされた運動であったとの時代的感情を読み取れるだろう。のちの北朝鮮地域における初期の「文盲退治運動」は、解放直後から人々の自発的営為によって行われた。北朝鮮の言語政策史における「初期」とは、解放直後の1945年8月から1946年11月を時期とし、朝鮮語の識字と日本語の残滓の清算を目的に展開される。この期間の「文盲退治」は、大衆を新たな国家の主体にさせる啓蒙運動としての性格も色濃く、各種学校の教員や知識人などが運動の中心になり、おもに学校を基盤として展開した。「文盲退治」のための学校の名称は成人学校・農村学校・夜間学校・ハングル講習所などで、教育内容と授業時間、授業方法などについて統一的な基準はなかった。このため、「北朝鮮臨時人民委員会」(북조선임시인민위원회)¹²では、各地の「文盲退治」運動を国家的な事業と認識し、「文盲退治」を効率的に推進するため手法と内容の標準化について策定した¹³。「北朝鮮臨時人民委員会」の教育局では成人教育部を設置し、「文盲退治」を担当する部署を設置した。1946年5月25日、「北朝鮮臨時人民委員会」教育局の指示によって、「成人教育指導要綱」(성인교육지도요강)が発表される。その要綱によれば、「文盲退治」のために必要とされる期間は4ヶ月であり、一日の授業

¹¹ フランスでは、1957年「フランス語の語彙調査局」の創設によって、フランス語の醇化が敢行されており、トルコでも1928年にムスタファ・ケマル・アタテュルクを委員長とするトルコ語についての「14人の言語会議」が設立され、トルコ共和国におけるトルコ語醇化が実施された。최용기 (2002) 「통일 시대의 국어 순화」 『한말연구』 제11호, p. 287.

¹² 1946年2月8日に発足した当時、北朝鮮の「最高行政主権機関」として見なされた。委員長は金日成で、副委員長は金料奉が担当した。名称上は最高「行政」主権機関であったが、当時別途には立法院と司法部が存在しない状態であったため、行政権のみならず、立法権・司法権まで掌握する事実上の国家最高機関であった。김성보 (2011) 『북한의 역사1』, pp.71-72.

¹³ 전해정 (1987) 『문맹퇴치경험』, pp.19-20.

時間は 2 時間以上で勤労を終えた夜に行われるように定められていた。また、この要綱によって各種学校の名称も「成人学校」あるいは「ハングル学校」に統一された¹⁴。

同年 11 月 25 日に開催された「北朝鮮臨時人民委員会」では、「文盲退治」運動を農村地域に比重をおいて展開することが決定し、北朝鮮の各地域において「文盲退治指導委員会」と「文盲退治検閲委員会」が組織される。各地域の「文盲退治指導委員会」は、「北朝鮮臨時人民委員会」教育部の責任者が委員長に任命され、労働党の地方支部・社会団体・工場・企業所を代表する委員によって構成されていた。

この時期の「文盲退治」のための教育対象者は、12 歳から 50 歳未満の男女に設定されたが、これは「1947 年度人民経済発展計画」(1947 년도인민경제발전계획)を成功的に遂行するため、勤労活動に参加可能な年齢から逆算されたと判断しうる。すなわち、かれらの識字能力は、経済の円滑な発展のために至急の課題と見られていたのである。また「文盲退治」と平行して、成人教育機関の整備が行われるが、それは「1947 年人民経済反転計画」の実施のために技術者の育成が急務であり、人材教育を体系化するためであった。

【表 1】1946 年から 1949 年までのハングル学校数及び「文盲退治者」数

年区分	ハングル学校数	「文盲退治者」数
1946 年	16,178 校	320,000 人
1947 年	66,827 校	848,865 人
1948 年	89,939 校	1,210,268 人
1949 年	19,557 校	193,838 人
累計	192,557 校	2,572,971 人

* 出典: 国史編纂委員会の未刊行『教員新聞』(1949 年 8 月 25 日付) 第 2 面

(ただし、1949 年は第 1 四半期の人数のみが表記されている)

当時「文盲退治者」と呼ばれた北朝鮮の非識字者数は、総人口の 4 分の 1 に該当する約 230 万人にのぼったという。「文盲退治者」の実態を把握するため、行政府は戸別の訪問調査を実施した。里(리)あるいは洞(ドン)¹⁵を調査単位として、労働党¹⁶や各種社会団体の責任者たちと学校の校長、職場の責任者たちが各家庭を訪問し、家族の識字状況の調査を

¹⁴ 文盲者は「ハングル学校」を終えて、「成人学校」に入る。「成人学校」を修了した人は、成人中学校または、他の学校に進学することができた。コ・ヨンジン (2005) 「独立直後の北朝鮮における「識字運動」に関する一考察」から再引用。

¹⁵ 里(리)、あるいは洞(ドン)とは日本の「町・街」に当たる行政区画の単位である。

¹⁶ 朝鮮労働党の地方組織のこと。

行った。各戸の家族が「文盲退治者」に該当するか否かは、ハングルの読み取り能力の他に簡単な計算能力の有無も考慮して決定された¹⁷。この調査結果によると、当時の文盲退治者数は、2,309,089 人であった¹⁸。上記【表 1】で示した「文盲退治者」数には、1949 年までに中国などの朝鮮国外から帰郷した人も含まれている。

北朝鮮で、全国的に行われた「文盲退治」運動の結果、短期間で約 250 万人¹⁹もの人々がハングルの読み書き能力を取得した大きな成果をあげたのは、表記法が規則的であり漢字と比べて簡素であるハングルの字体的特徴にも影響をうけたものと判断できるだろう。本来「文盲」とは文字の読み書きができない状態であり、「文盲退治」とは、文字の読み書きがともにできるようになることであるが、このように短期間で成功的に遂行された事業であるといっている北朝鮮の「文盲退治運動」を見ると、文字の書き取りより読み取りに焦点を与えたのではないかと思われる。大衆を国家の主体にするための「文盲退治」とは、国家的に至急の問題であったが、その意図は社会主義国家にふさわしい「人民」となるべき人びとに教育を受けさせることであり、書き取りより読み取りの方が目的に優先されたであろう。

解放直後から 1949 年まで行われた北朝鮮の「文盲退治」運動は、初期のうち民間主導の啓蒙運動のような性格を見せたが、成人教育の整備と共に、「新生国家」の経済復興と共に技術人材の養成という側面から高度に組織化されて展開した。この過程から伺えるのは、全国的な大衆運動をきっかけとして、北朝鮮の人びとを社会国家建設の事業にひとり残らず組み入れようとする国民体制の根幹整備として遂行された重要な事業であると見られる。さらに「文盲退治」とは「全ての勤労者たちが我々の文字を読み書きする知識を習い、新聞のように大衆の出版物が読め、簡単な加減乗除の計算ができ、一般的な社会政治知識を所有すること」が目的であったのだ²⁰。

¹⁷ 전혜정 (1987) 『문맹퇴치경험』, pp. 21-23.

¹⁸ 국사편찬위원회 「해방 후 3 년간의 북조선 교육사업」 『週間北朝鮮通信』 39 号(1948 年 8 月), p. 15.

¹⁹ 先行研究のなかには、北朝鮮における「文盲退治」運動により識字能力を得た人数について、約 230 万人と記すものもあるが、本研究では【表 1】の数値資料にしたがって、約 250 万人とする。

²⁰ 전혜정 (1987) 『문맹퇴치경험』, pp.18.

3. 「漢字廃止」—— 北朝鮮における「ハングル専用」政策²¹

北朝鮮において「文盲退治」とともに行われた言語に関する国家政策は、朝鮮語文書より漢字表記をなくそうとする「漢字廃止」である²²。「漢字廃止」政策は当初学校教育の教科書や一部の出版物に限定して実行され、すべての文章をハングルのみを用いて記述する全面的な「漢字廃止」に即時的な移行を為すことはできなかった。「文盲退治運動」の結果、人びとはたいの文を容易に声に出して読み、音を文字に書くことはできるようになったのだが、それだけでは文章の内容を正確に理解することはできなかったのである。語彙の音韻がハングルに表記されるだけで、ながいあいだ慣習的に使用されてきた「漢字語」(한자어)の漢字としての要素はそのまま残っていたために、語彙が特定できず同音異義語による混同が生じたのである。例えば、「기술[kisul]」という音の漢字語は「技術(기술)」、「記述(기술)」などがあり、「공용[kongyong]」という音の漢字語は、「公用(공용)」、「共用(공용)」となり、また「가계[kagye]」という音の漢字語は「家計(가계)」、「家系(가계)」などがある。

1947年からは、『労働新聞』や『労働者』などの出版物が「漢字廃止」を実施し、必要によって括弧の中に漢字を表記することになった。「漢字廃止」は括弧表記を併用する過渡期を経て、1949年からは完全な「漢字廃止」が実施されることになる。また、1949年から学校における漢字教育カリキュラムも廃棄されることになった。

²¹ 漢字を使わず、ハングルのみで表記することを意味する。

²² キム・ミンス(1989)によると、北朝鮮の出版物は1949年9月から「ハングル専用」の表記になっている。キム・ハス(2000)は、1947年から進められた漢字廃止運動が、1948年末には事実上完成したと述べている。キム・ピョンジェ(1960)は、1949年から漢字が廃止され、横書きを実施したと主張している。ジョン・ヘジョン(1987)は、1949年3月に漢字を廃止し、全ての出版物と国家の公文書に漢字使用を完全に禁止する措置が行なわれたといい、1949年の下半期からは全ての新聞がハングルで書かれてあるとしている。北朝鮮で漢字使用が廃止された時期について見解が異なるが、この論文では1949年に漢字使用が廃止され、「ハングル専用」となったことが説かれている。

【表2】北朝鮮における漢字教育の配当時間数の変遷（教科名は「漢文」）

1945年11月21日	中等学校は1～4年で全て1時間	
1949年9月	初級中・高等学校で学科名に漢文なし	
1951年9月	初級中学校と高級中学校で学科名に漢文なし	
1953年8月	初級中学校は1～3年でそれぞれ 2時間ずつ(総時間数198)	高級中学校でも同様の配当と時間数 師範専門学校師範科でも同様の体系
1955年8月1日	初級中学校では、1年前後期、2・ 3年前期に各1時間、2・3年後期 に各2時間(総時間数:125)	高級中学校では1～3年で前後期各2 時間ずつ(総時間数:198)
1956年/57年		
1957年/58年	初級中学校からは科目名が姿を 消す	高級中学校のみ1～3年で前後期各2 時間ずつ(総時間数:204)
1959年/60年		
1960年/61年	初級中学校に教科名なし	より高学年で週1～2時間開設

* 出典: 植田晃次 (2004) 「朝鮮民主主義人民共和国における漢字教育」.

しかし、植田晃次による「朝鮮民主主義人民共和国における漢字教育」のカリキュラム一覧(上記【表2】にて引用)を見ると、漢字を完全に廃止しようと目論みつつも朝鮮戦争休戦以後の1953年から再び漢字教育が復活する。多くの先行研究では北朝鮮における漢字教育が1960年代後半から復権した理由として、金日成が教示のなかで漢字教育に関して述べていることを挙げている。第1次教示「我々の言葉を発展させるためのいくつかの問題」(1964年1月3日)には、「我が言葉は表現が豊富なため複雑な思想と繊細な感情を全て上手に表すことができ〔……〕ひとびとの共産主義の道徳教養の向上にも非常に良い²³」とし「漢字を使う必要はありません。漢字をつくり出した中国人自身も習いがたく、使いがたいためこれからは捨てようとするのに、何のために我々がそれを使い続けましょうか²⁴」と漢字が不要であるとの見解が出されながらも、朝鮮語韓国との言語的連続性の維持を配慮し、次のような指示が与えられている。

²³ 金日成第1次教示「我々の言葉を発展させるためのいくつかの問題——言語学者との対話」(1964年1月3日)〔引用にあたって翻訳文は次の文献を用いた。文嬉眞 (2010)「北朝鮮における言語政策——「第1次金日成教示」の全文翻訳」『愛知学院大学語研紀要』35(1):177-178.]

²⁴ 同書, p.182.

ところが、今日南朝鮮の人々が我が文字と共に漢字を使い続けている以上、我々が漢字を完全に棄てることはできません。もし、我々が今、漢字を完全に棄てることになれば、我々は南朝鮮で出版される新聞も雑誌も読めなくなります。したがって、我々は一定期間、漢字を学ばなければならず、それを使わなければ成りません。勿論、そうだと言っても、我が新聞に漢字を使おうということではありません。我々の全ての出版物は我が国の文字で書かなければなりません²⁵。

同様に、2年後に提示された第2次教示「朝鮮語の民族的な特性を正しく活かすことについて」(1966年5月14日)のなかでも韓国との文化的紐帯を切り離さない意志が表明されている。

我々はできるだけ漢字語を使わないようにしても学生に必要な漢字は与えてそれを書く方法も教えるべきです。南朝鮮の出版物と過去の文献に漢字が少なからず使われているので人々がそれを読めるようにするには漢字をある程度教えなければなりません²⁶。

上記の引用のように金日成によって漢字教育の重要性が述べられたため、学校での漢字教育の基本方針が確定し、カリキュラムとして具体化されたと思われる。1968年以降、初級教育で使用されている教科書は1,500字の漢字を収録し、学生は大学教育終了までに3,000字を教えられることになった。しかし気をつけなければならないのは、北朝鮮において漢字が「使われる」ことは認められていない点である。金日成教示にも繰り返されているように、漢字はあくまで「読まれる」対象に過ぎないのだ。北朝鮮の言語体系のなかで漢字が果たすのは受動的役割のみであり、コミュニケーションの発信手段としての機能は否定されたのである。

²⁵ 同書, p.183.

²⁶ 金日成第2次教示「朝鮮語の民族的な特性を正しく活かすことについて——言語学者との対話」(1966年5月14日)〔引用にあたって翻訳文は次の文献を用いた。文嬉眞 (2011)「北朝鮮における言語政策——「第2次金日成教示」の全文翻訳」:207.〕

4. 「国語醇化運動」と「文化語運動」

「文盲退治」と「漢字廃止」が実施されたのち、北朝鮮の社会全体で使用される言語から「日帝残滓」を清算し、「事大封建主義」の古い思想が含まれている語彙を純粋な朝鮮語の語彙に置換することで朝鮮語を「整える」醇化運動が展開されていく。この運動は一般的に「国語醇化運動」と呼ばれており、植民地期に抑圧された朝鮮語の地位を取り戻すための「必然的な要請」に基づいた運動と考えられていた。

初期の「国語醇化運動」とは、朝鮮語の使用に当たって漢字語をなるべく簡素な朝鮮語の固有語に整えて使うことと、日本語から借用された言葉を使わないことであった。特に、語彙分野で日本語、日本式の漢字語をなくすための運動は国家の優先的課題として展開された。たとえば「절수(切手)」「사상공(仕上工)」「위체(為替)」、「서취(書取)」「자돈(仔豚)」などは日本語からの借用語が朝鮮語の漢字語として定着した語彙であり、さらに日本語の「仕上げ」という言葉は朝鮮半島でも「시아게[siage]」と呼んで用いられ、同様に「土方」は「노가다[nogada]」、「仕舞い」は「시마이[simai]」のように日本語の発音そのまま使われた²⁷。「国語醇化運動」において、このような語を一掃することが「日帝残滓」の清算とされたのである。そのさいに言葉の意味をはっきり伝えるために、なるべく簡潔な固有語に置き換えて使うことが強調された。

このような外来的な要因によって埋められてしまった朝鮮語ほんらいの語彙を掘り起こそうとする「国語醇化運動」のため、北朝鮮では1949年2月の段階で「学術用語査定委員会」を組織していたが²⁸、運動が加速度的に進展するのは前述の金日成による第1次教示「我々の言葉を発展させるためのいくつかの問題」(1964年1月3日)が発表されてからのことであった。チェ・ジョンフとパク・チェスの研究(1999)によると、この時期の北朝鮮における「国語醇化運動」とは、たんに語彙や学術用語を変えることではなく、「民族語の発展」に否定的な作用を及ぼす語彙を全面的に整理し、社会のなかで消極化されてしま

²⁷ 조선 민주주의 인민 공화국 과학원 언어 문학 연구소 언어학 연구실 (1962) 『조선 로동당의 지도 밑에 개화 발달한 우리 민족어』, pp. 224-225.

²⁸ この委員会は、語文学用語・数学用語・物理学用語などの18分野の学術用語査定文化委員会と实用漢字査定文化委員がある。学術用語を統一し、最小限の实用漢字を査定し、科学および技術発展の基礎の確立するために1949年2月に設立された。この時期は「文盲退治運動」が展開された時期であるが、解放後の日本語の残滓や漢字語の影響で言語問題が非常に混乱している時期でもあった。北朝鮮では、このような状況のなかで言語政策に関する具体的な任務を委員会に割り当てた。また、この委員会の権限を強化するため、「学術用語査定委員会で公布した学術用語及び实用漢字は、各種の教育機関及び出版機関で義務的に使用すること」という規定している。この規定は、北朝鮮における言語政策において、初めて国家が提示した強制的な実施規定としての意味を持っている。漢字語や日本語をなるべく朝鮮語に書くことを強調してきた初期の「国語醇化運動」もこの「学術用語査定委員会」が中心となった。この委員会は、1966年「国語査定委員会(국어사정위원회)」の設置にともない解散された。

った固有語を積極的に見つけ、固有語に基づいて新たな言葉に置き換えて使うことであるという²⁹。すなわち、朝鮮語の全般で「民族」的な特性を正しく活かす事業として、語彙構成の「主体性」を保障し、「民族語」を「主体性」があるように発展させる思想的事業と考えられていたのだ。言い換えると、「国語醇化運動」は、言語のなかの語彙構成の純粹性と固有性を高く発揚し、その質的な水準を上げることによって、語彙構成を時代と「労働階級の要求」に合わせて発展豊富化させる事業であった。1966年に金日成の第2次教示「朝鮮語の民族的な特性を正しく活かすことについて」(1966年5月14日)が提示されると「国語醇化運動」は「文化語運動」という名を冠されてさらに規模を拡大し、徹底化されていった³⁰。

「文化語」とは北朝鮮で1960年代に入ってさかんに登場した用語であるが、もともと「文化語」とは、1966年の金日成教示のなかで始めて登場し、朝鮮半島全域の文化的統合性と言語的統一性の中心地を、朝鮮の全域的な人びとにとって歴史を通じて文化的アイコンとなっていたソウルに求めるのをやめ、北朝鮮の「革命の本拠地」である平壤に移行させる意図が込められていた。

我々の言葉を発展させるためには基礎を上手く固めておかなければなりません。我々は我が革命の参謀部があり、政治、経済、文化、軍事の全ての方面に渡る我が革命の全般的戦略と戦術が立てられる革命の首都であり、揺籃の地である平壤を中心地にし、平壤の言葉を基準にして言語の民族的特性を保存し、発展させていかなければなりません。そこで、「標準語」という言葉は他の言葉に替えなければなりません。「標準語」といえば、まるでソウルの言葉を基準にしているものとして誤って理解されることもあるので、そのまま使う必要はありません。社会主義を建設している我々が革命の首都である平壤の言葉を基準にして発展させた我々の言葉を「標準語」と言わずに、他の名称で呼ぶこ

²⁹ 최정후·박재수 (1999) 『주체적 언어론 연구』, p. 169.

³⁰ 韓国も北朝鮮と同じく「国語醇化運動」が進展し、韓国社会に流入した日本語のほとんどすべては醇化対象の語彙と定められた。しかし、北朝鮮では「国語醇化運動」の結果、日本語はほとんど固有語に整えられたが、韓国では北朝鮮に比べて、今日に至るまで日本語の流入語が「国語醇化」の完遂を阻害する要因になっている。北朝鮮では、「国語醇化」が本格的に行なわれた1960年代から1970年代には、醇化運動は国家主導の積極的な言語政策であったが、韓国では比較的に微温的な言語政策が実行されてきたからである。韓国では、言語の自然な流れを受け入れ、生き物として言語の生成と消滅、そして可変を認めていたのも一因であった。

とが正しいのです。「文化語」という言葉もあまりいいものではありませんが、それでも文化語に直して使うことがいいです³¹。

「文化語」の登場以前は、ソウル地域の朝鮮語用法を規範とした「標準語」が公的に使用されてきたが、1960年代に入ってから、必然としてソウルの影を浮かび上がらせる「標準語」という用語の代わりに「文化語」という用語が、今日に至るまで北朝鮮の標準語を指す言葉として使われている。前述したチェとパク(1999)は、北朝鮮において「文化語」が社会主義を建設する労働階級をはじめ、「人民大衆」の意識を高めるために作られた優秀な言葉であり、「民族語」の純粋性を保存している言葉であると位置づけられていた点から「標準語」と「文化語」の政治思想的な差違を分析している³²。クオン・スンモとキム・ヨンファン(1996)も、社会主義的な「民族語」としての「文化語」は、資本主義的な「民族語」や、かつての「標準語」³³そして現在の「ソウルの言葉」³⁴とは、本質的に異なる特性をもっていると述べている³⁵。1972年に改正された朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法第172条では、北朝鮮の首都を「ソウル」から「平壤」に変更する旨が明記されたが、これは北朝鮮の標準語がソウル中心の言語から平壤の言葉を意味することを憲法的に宣言した改正条文でもあった。また第41条も「国家は、社会主義的民族文化の建設において、帝国主義の文化的浸透と復古主義的傾向を排除し、民族の文化遺産を保護し、社会主義の現実に即して継承、発展させる」と改正されている。この条項を通じて北朝鮮政府は「国語醇化運動」について最高法規的な合法性を獲得することになり、すでに施行されてきた各種言語政策は憲法学上の正統性を付与されることとなった。

北朝鮮の政治理念に「文化語」という新概念が提示されて以来、言語政策の様相は新たに「文化語運動」と呼ばれる局面に移行した。1966年の金日成第2教示をきっかけとして、「文化語」の普及のため、季刊誌である『文化語学習』(1968年)が発刊され、新たな言語規範集も発行された³⁶。のちに「国語醇化運動」の一環として行われた「朝鮮語の整え方

³¹ 「金日成第2次教示」: 201-202.

³² 최정후·박재수 (1999) 『주체적 언어론 연구』, pp.137-138.

³³ 「標準語は、大体に現在中流社会で使うソウルの言葉」を意味し、1933年「朝鮮語学会」が「ハングル綴り法統一案」で決めた。1966年以前は、北朝鮮でもソウルの言葉を「標準語」として使った。

³⁴ 韓国で1988年に改訂された「ハングル綴り法」(한글맞춤법)において、「ソウルの言葉」は「教養のある人々があまねく使う」ものと位置づけられており、韓国の標準語を意味している。

³⁵ 권승모·김영환 (1996) 『주체의 조선어연구 50년사』, p.33.

³⁶ 解放直後、朝鮮半島における言語規範として1933年「朝鮮語学会(조선어학회)」で制定した「ハングル綴り法統一案(한글맞춤법 통일안)」をそのまま使用された。北朝鮮では、1954年「朝鮮語綴り法(조선어철자법)」に改正され、1966年に「朝鮮語規範集(조선말규범집)」に再度改正された。『朝鮮語規範集』は国語査定委員会が制定し、「綴り法・分ち書き・文章符号法・標準発音法」の4部に構成されている。

に対する紙上討論」が一定の成果をあげることになると、新たに作られた「文化語」は 5 万語彙にわたるとされた³⁷。北朝鮮では、「文化語」の使用こそが「民族語」を活かすことであり、「民族」の意識をさらに高めることになると強調された。

5. 「文化語」と「主体思想」との関連性

「文化語」の登場は、金日成による「主体思想」の形成と非常に深く関わっている。

「文盲退治」と「漢字廃止」は、1945 年から 1949 年に北朝鮮で施行された言語政策の骨子であった。1946 年 3 月 23 日、北朝鮮指導部は金日成の『二十箇条政治綱領』(20 개조 정치강령)を公布し、政治・経済・文化・教育の全域に影響をおよぼす基本方針を整備した。教育政策は「国語教育」の重要性を明確に打ち出し、1948 年 9 月 9 日に朝鮮民主主義人民共和国が正式に樹立されると、本格的な教育改革がはじまった。新しい学制は 5・3・3・4 年制に確定し、教育課程と教科書などの大部分にソ連の教育システムの影響がみられる。言語教育は「国語」が中心科目に据えられているものの、たんなる読み書き能力の取得にとどまらず、子供の思想発達の全般に影響を与える面に比重が置かれている点もソ連の教育方針と同様である³⁸。「文字政策」として見られる「文盲退治」と「漢字廃止」は、非常に迅速に行われたが、これは前近代社会、すなわち植民地以前の農村の階級社会から、政治から排除された大衆を政治に参加させ、「主体」にするため、必ず解決しなければならなかった課題であった。しかし「非識字者」をなくすことを掲げた識字運動とは、社会の近代化と脱植民地化のため必然的に要求されるポスト・コロニアルな言語政策の類型であり、北朝鮮社会にとって独自の政策ではなかった。しかし、はじめに「国家」建設の「主体」を労働者・農民などの「人民」とさだめ、いまだ「人民」ならぬ大衆としての労働者・農民を「主体」にふさわしい「人民」に教育するため「国家」的なレベルで「非識字者」の全廃を積極的に遂行したのは、北朝鮮のおおきな特徴であった。

労働者・農民などの「人民」を革命遂行の「主体」と考える「主体思想」とは金日成独特の社会主義思想であった。それは人間社会において唯物論的な生産様式の最終的審級性を認めつつも、それでも人間が全ての事物の主人となり、全てを決めるという哲学的な理論に基づいた北朝鮮の政治統治思想である。すなわち、個人において運命の主人は、自分自身であり、自分の運命を開拓する力も自分にあり、同様に社会においても革命と建設の

³⁷ 『整えられた言葉(다듬은말)』(1987)では、整えられた5万語彙のうち約半数が廃棄されている。

³⁸ 김민수 (1989b) 『북한의 국어연구(중보판)』, p. 81.

主人は「人民」自身であり、その運命を開拓する力も「人民」が秘めていると考えられたのである。

「主体」や「主体の確立」などの用語は、すでに1950年代から使われたが、「主体思想」という政治思想が確定したのは1960年代であった。1962年12月『労働新聞』の論説は、「朝鮮革命の遂行のため、主体を確立するという事」は「朝鮮革命の主人が朝鮮労働党と朝鮮人民であることで、マルクス・レーニン主義の一般的な原則を北朝鮮の具体的な現実に創造的に適用し、全てを朝鮮革命の成果的な遂行に服務することを意味する」と規定した。また朝鮮労働党も「主体思想」について1950年代のマルクス・レーニン主義を「朝鮮革命に創造的に適用した思想」として認識し、「我が党の主体思想」と同時に「金日成の思想」とであると論じている³⁹。それとともに「主体思想」を社会の実生活レベルにまで浸透させるため、新聞や雑誌などで「主体思想」がさかんに喧伝された。そこでは北朝鮮国家にとって自立的な民族経済の確立こそ、社会主義建設のため「我が党の主体思想」を反映した最も賢い方針であると主張されたのである。ここで用いられる「経済」とは厳密にマルクス主義的な用法の「経済」であり金銭交易のシステムといった教義の意味のほか、政治体制・社会の営為から個人の日常生活・精神生活全域の活動までも含む語彙の最大域の意味としての「経済」だったことは忘れるべきではない。のちに北朝鮮の言語学にも「主体思想」が深く浸透し、その言語観は「主体的な言語理論」と呼称されるようになったが、もともと、このような民族経済を確立させるための絶対的根拠に据えられた「主体思想」と言語の世界は並べて語られる関係にあった。

いまでも一部の人びとは事大主義を棄てることができません。ある学者はわが国の資源を考えずに他国に頼って生きようとします。我々は経済建設分野で事大主義に反対し主体を確立して我が国の資源で自立経済を建設する方向に行かなければなりません。言語学でも主体を確立して我々の言葉を体系的に発展させ、人びとがそれを活かすことで民族的な自負心とほこりをもつようにすべきです。全世界がすべて共産主義になるまでは、人びとが民族別に別れて暮らすことが当たり前で、朝鮮人は朝鮮の地で暮らすことになるために朝鮮語を引き続いて使うこととなります。だから、我々は何としてでも我々の言葉を十分に活かして発展させなければなりません⁴⁰。

³⁹ 이종석 (2011) 『북한의 역사2』, pp. 41-42.

⁴⁰ 「金日成第2次教示」: 205.

「主体思想」の登場以来、北朝鮮の言語政策がさらに強調され、持続的な言語政策の遂行が行われた。また、「民族」の意識をさらに強く持ち、「民族」の表徴としての「民族語」がさらに強調される。その重要性を「発展」という語を用いて説いた金日成の言葉には、ある種の緊迫感を感じ取ることができよう。彼の語末はつねに「しなければならない」と駆り立てられるような義務表現で終わるからである。

我々はすべての人びとが漢字語や外来語を使う人は民族的なほこりのない人であり、自国のことばをうまく話す人が有識で、民族的自負心が高い人だと考えるようにしなければなりません。そうして誰もが〔……〕自分のことばを活かすことが文明的であるという観点を明確にもたなければなりません。これでこそ我々の言葉を活かし、発展させることができ、後代にも我々の言葉をなくさないようにその確固たる土台を用意しておくことができます⁴¹。

このような「文化語」という政治的言語醇化の視点と「主体思想」との結節的な効果として、「後代にも我々の言葉をなくさない」ために「不要な」漢字語の洗い出し、5万語にも及ぶ固有語への置き換える「国語醇化運動」の新局面が切り開かれていった。

コ・ヨンジン(2002)⁴²は、北朝鮮で行われた言語政策を概括すると、「文盲退治→漢字廃止→綴字法整備→規範文法および辞典の編纂→文化語の確立」という順序で進行したと述べている。もちろんこのような政策は一つ一つが個別的になされたというよりは、ある部分ではお互いに重なりながら、ある部分では一つの政策の完結が他の政策を呼びおこしたという点で相互に深い関連を持って行われたものとして見る事が可能であると述べている。

⁴¹ 「金日成第2教示」：206.

⁴² コ・ヨンジン（2002）「草創期の北朝鮮における言語政策と辞典編纂」『言語文化』4-4.

第2章 言語醇化及び《我々の言葉の整え方についての紙上討論》

1. 言語醇化とは

チェ・ヨンギ(2002)⁴³は、「国語醇化」とは我々の言葉の中にある雑なものをなくし、我々の言葉の純粋性を回復すること、及び複雑で難しいことを単純にすることであると見た。ここで、「醇化」というのは、すなわち「雑なものをなくし、純粋性を回復し、複雑で難しいことは単純にする」という意味であるはずだが、果たして言語の中に「雑なもの」というのは一体何を指し、「純粋」というのはどのように規定されるのだろうか。

この点について、キム・ハス(2005)⁴⁴も指摘しているように「醇化」の概念の不確実性と重意性による影響で、「国語醇化」という問題をとても煩雑にしている。

「言語醇化」に関して一般的に取り扱う概念とは、外来語乱用についての批判意識をはじめとする土着語奨励運動である。また言語に対する「醇化」問題は、全ての言語共同体から見られる「普遍的な現象⁴⁵」であるとも言える。

ピーター・バーク(2009)⁴⁶は、近世ヨーロッパにおける言語純化運動では、以下の三種類の純粋性が提唱されたとした。彼によると、第一、言語は倫理的に純粋でなければならないということである。つまり、「穢れたことば」は使ってはならないというのだ。第二は、社会的な純粋性であるが、これは上流階級の用法に従うという意味でもある。したがって、社会的下層の職人たちが用いる専門的語彙は辞書には含まれていないということである。第三は、「民族的(エスニックな)純粋性を意味するが、つまり外国由来の語彙は使わずに、固有語を用いることである。

おそらく、解放直後、朝鮮半島で行われた「国語醇化」もしくは「言語浄化」について述べるときは、「民族的な純粋性」を強調する「言語醇化(language purification)」の概念として理解することができる。このような「言語醇化」は近代に入ってから、民族国家形成過程においてとても活発に行われた「言語的」な現象と言える。このような「言語醇化」が国家的な事業として位置づけられたのは、朝鮮半島のように植民地支配の経験がある国家ではよく見られる言語政策の一つである⁴⁷。

⁴³ 최용기 (2002) 「통일 시대의 국어 순화」 『한말연구』 제11호, pp.296-297.

⁴⁴ 김하수 (2005) 「국어 순화의 문제점과 극복의 길」 『새국어생활』, pp.19-20.

⁴⁵ 김하수 (2005) 「국어 순화의 문제점과 극복의 길」 『새국어생활』, pp.19-20.

⁴⁶ 피터·버크 (2009) 『近世ヨーロッパの言語と社会』 岩波書店 pp.200-201.

⁴⁷ フランスでは、1957年「フランス語の語彙調査局」の創設によって、フランス語の醇化が敢行されており、トルコでも1928年にムスタファ・ケマル・アタテュルクを委員長とするトルコ語についての「14人の

韓国では、「言語醇化」と「国語醇化」の用語をあえて区分せず使っているが、パク・カプス(1984:235)⁴⁸は、「醇化」の漢字を「純化」と「醇化」に分けて使っている。パクによれば、「国語醇化は大きく国語の純化と美化に分けることができ、また美化は正しく使うことと綺麗に使うことに分けることができる。このような醇化の三つの領域はそのまま醇化運動の必要性を代弁してくれる」と述べた。パクが述べた三つの領域としては、「一、外来語の除去、二、正しい言葉の使用、三、綺麗な言葉の使用」である。パクは、「醇化」というのは、すなわち正しく使うことを意味する「純化」と美しい言葉を使うことを意味する「美化」を合わせた言葉として使ったようである⁴⁹。

さて、北朝鮮における言語醇化はどのような概念として取り扱っているのかを確認してみよう。北朝鮮では、「言語醇化(language purification)」を「言語浄化」という場合が多い。言語浄化とは、「言語の純潔性を高めること、言い換えれば言語を乱し、その機能を鈍くする全ての非人民的な不純な要素を除去してしまうこと⁵⁰」を意味する。したがって、「言語浄化運動は、分かりにくい語彙を分かりやすい語彙に取り換えるという単純な語彙処理上の問題として展開されたわけではなく、封建思想残滓と日帝思想残滓に染まって他の人が聞きやすいかどうかではなく、自分勝手に話せばいいという官僚主義的な作風、及び群衆を無視する観点から反対する闘争として展開された⁵¹」と言われている。

当時の状況から見て、言語浄化の対象となった語彙は、封建思想の残滓とも言える漢字語、日本語、その他の外来語といえる。「言語浄化」の初期には主に語彙を整理することに集中したともいえる。その理由は「語彙整理を先にすると、言語構成のほかの要素の語音、文法、文体などほかの部分も発展させることができるため」であるからである。

言語会議」が設立され、トルコ共和国におけるトルコ語醇化が実施された。최용기 (2002) 「통일 시대의 국어 순화」 『한말연구』 제11호, p.287.

⁴⁸ 박갑수 (1984) 『國語의 表現과 醇化論』 志學社, p.235.

⁴⁹パク・カプスは、言語醇化の具体的な対象としては、望ましくない音韻・語彙・統辭・意味・言語活動(language)・正書法などと述べている。박갑수 (1984) 『國語의 表現과 醇化論』 志學社, pp.228-229.

⁵⁰ 조선 민주주의 인민 공화국 과학원 언어 문학 연구소 언어학 연구실 (1962) 『조선로동당의 지도 밑에 개화 발달한 우리 민족어』 과학원출판사, p.10.

⁵¹ 同書, p.154.

2. 北朝鮮における「言語醇化」

北朝鮮における「言語浄化」及び「言語醇化」の一環である「語彙整理事業」は 1945~1953 年、1954~1963 年、1964~1995 年までの三つの時期に分けられる⁵²。このような時期区分は、解放以降から朝鮮戦争まで、朝鮮戦争以降から金日成の 1 次教示が発表される前まで、そして金日成の 1 次教示の発表以降から現在までに分けることができる。

次は、各時期別の内容についてまとめたものである。

2.1 1945~1953

解放直後、北朝鮮は新たな国家建設のため、金日成を委員長とした北朝鮮臨時人民委員会を設立した。土地改革、北朝鮮男女平等権法令発表、重要産業国有化などをはじめとする民主改革を通して、人民民主主義的及び社会経済的な土台を作りはじめた。このような北朝鮮の改革は、短期間にかつ非常に急進的に行われ、これまで抑圧された労働者・農民などの勤労大衆は、新たな局面を迎えることになる。

北朝鮮は当時脱植民地化のため、日帝残滓を清算し、全ての学校で朝鮮語と朝鮮の文字で教育することをとても重要な事業として見做した。朝鮮語で書かれた教科書を 1946 年には 400 万部以上、1947 年には 75 種類に 753 万 8,000 部も出版し⁵³、朝鮮語の教育が強化されることによって、国語教員を養成するのに力を注いだ。また、1946 年 11 月からはじまった全人民事業であった文盲退治が 1949 年 3 月まで約 230 万人の文盲者を完全に退治し、これによって全ての出版物で漢字使用が全面的に廃止された。当時の出版物には、「無可奈何」、「電報踏至」、「理由는那邊에 있는가」などのように分かりにくい漢字語彙や古い漢字語彙と表現⁵⁴が使われていたためである。すなわち、文盲退治をすることで、朝鮮文字(ハングル)は読めるが、漢字語は読むことができなかったのである。また、「煙突」、「秋空」などのような日本式の漢字語と「바로미터：バロメータ」、「멧세지：メッセージ」及び、そのほかに不要な外来語の使用も少なくなかった⁵⁵のである。

⁵² 김길성 (1996) 「어휘정리연구사」 『주체의 조선어연구 50년사』 김일성종합대학 조선어문학부, pp.126-157. これは、1996年に出版されたものであるため、1995年までの語彙整理史についてまとめたものである。

⁵³ 권승모 (1996) 「조선로동당의 언어정책과 그 빛나는 실현」 『주체의 조선어연구 50년사』 김일성종합대학 조선어문학부, p.10.

⁵⁴ 조선 민주주의 인민 공화국 과학원 언어 문학 연구소 언어학 연구실 (1962) 『조선로동당의 지도 밑에 개화 발달한 우리 민족어』 과학원출판사, p.167.

⁵⁵ 同書, p.167.

上記の内容からわかるように、難しい漢字語や日本式漢字語及び語彙、その他に不要な外来語が「言語浄化の対象」であったのだ。言語浄化の必要性が提起されることによって、1947年2月には北朝鮮臨時人民委員会の決定で「朝鮮語文研究会」が組織されるが、この研究会は上記のような言語浄化の対象となる語彙を整理するための国家機関である。

1949年『朝鮮語研究』に掲載された整理しなければならない漢字語と整理してはならない漢字語について規定していたが、内容は次のようだ⁵⁶。

① 整理しなければならない漢字語：純粋な朝鮮語と並べて使う漢字語

例) 「집집-가가, 날마다-매일, 끼니-조식, 오늘-금일」

「いえいえ-家家、ひび-毎日、かたけ-朝夕、きょう-今日」

② 整理してはならない漢字語：純粋な朝鮮語のように使われる漢字語

例) 「문, 방, 병, 학교, 적당하다, 억울하다, 빈번히, 대체」

「門、房、瓶、学校、適当だ、抑鬱だ、頻繁に、大体」

朝鮮語と並べて使う漢字語を禁じ、同じ意味の語彙が漢字語と固有語がある場合には漢字語を使わないようにしようということだ。また、固有語はないが漢字語がすでに固着した場合にはそのまま使うしかないという態度を見せている。なお、上記の「純粋な朝鮮語」というのは、漢字語ではない、固有朝鮮語を意味する。

また、この時期に学術用語をどのように整理しなければならないのかについての議論も始まったようである⁵⁷。漢字語と外来語は一般用語より学術用語にたくさん入っていたため、学術用語を整理することが朝鮮語における言語浄化運動の主な関心事となった⁵⁸。

したがって、1949年2月「学術用語査定委員会」が組織された。しかし、この時期の言語浄化運動はこれという成果は出せなかったという分析が多いようである。すなわち、「学術用語査定委員会」は、「優秀な科学者、技術者など各専門別に40個の分科委員会を組織し、部門別に学術用語の草案を作成し、広範な審議と討議を経て、その統一案を社会

⁵⁶ 박상준 (1949) 「한자어와 한자의 정리에 대하여」 『조선어연구』 1권 3호. 『주체의 조선어연구 50년사』 から再引用。

⁵⁷ 김길성 (1996) 「어휘정리연구사」 『주체의 조선어연구 50년사』 김일성종합대학 조선어문학부, p.129.

⁵⁸ 同書, p.128.

に発表する事業を行った⁵⁹」という。いわゆる各分野の専門家たちは「学術用語はそのもの自体が特殊な科学術語であるため、当然ながら日常生活の語彙とは異なるべきである。したがって、難しい漢字や外来語彙が多いのは当然なこと⁶⁰」といい、「固有の朝鮮語彙や分かりやすい漢字語彙で学術用語を作るのは化学の《卑属化》ももたらす可能性がある」と主張した⁶¹。これに対して、朝鮮労働党では「朝鮮語と文字を整理する事業は言葉と文字を発展させるための目的意識的計画的な事業として行うことができず、学者たちの個人的で主観的な見解によって、個別的な語彙を整理するのにとどめられたので、一つの言語革命として、また全社会的な事業として強く推し進めることができなかつた」と評価している⁶²。

2.2 1954~1963

1954年から1963年までは、朝鮮戦争以降から金日成の第1次教示が発表されるまでの時期である。この時期の特徴としては、「言語実態調査事業」が始まったのである。例えば、1956年5月12日から5月27日まで元山、新浦、清津などの水産業中心地で水産業関係の語彙を調査した。調査団は東海水産事業所、元山農業水産学部、新浦水産事業所、潜水事業所、新浦分場、新浦造船所、清津水産事業所、清津製網工場など各機関で事業している様々な部門の労働者と一緒に生活をしながら、個別談話、誘導式質問と印刷物を通して、約2,000個の水産業関係の語彙を収集したそう⁶³。

このような言語実態調査事業は、当時の状況から見ると、とても先進的な発想である。社会言語学でデータを直接収集するとき、自然な発話を通してデータを得る方法があるが、この場合に該当すると思われる。実際、水産業関連の従事者の言語から語彙を収集する方法である。いくら能力のある専門家がどれだけ素晴らしい言葉を作っても、実際その言葉を使う人々が使わないと、死語になってしまう。おそらく、北朝鮮で初期に言語浄化が行われた時、一部の専門家のみによって、語彙が整理されたことを批判的にとらえたようである。特に、学術用語の草案についての検討過程で次のような欠陥があることが指摘され

⁵⁹ 조선 민주주의 인민 공화국 과학원 언어 문학 연구소 언어학 연구실 (1962) 『조선로동당의 지도 밑에 개화 발달한 우리 민족어』 과학원출판사, p.155.

⁶⁰ 同書, p.155

⁶¹ 同書, p.155

⁶² 정순기 외5명 (2005) 『조선로동당의 언어정책사』 조선어학전서2 사회과학원 언어학연구소, p.117.

⁶³ 同書, pp.120~121.

た。第一、学術用語が人民の言語を導入せず、固有の朝鮮語彙が学術用語として使われていない点。第二、漢字語彙を人民大衆が理解するかどうかに関係なく乱用した点。第三、大衆の言語生活とは離れている外来語彙を乱用し、朝鮮語に翻訳することができる語彙も翻訳していない点、などについて批判されたのである⁶⁴。

したがって、一部の専門家のみの「独占物」になりやすい学術用語を再検討するため、1958年に「学術用語査定委員会」が再組織される。また「言語実態調査事業」だけではなく、新聞・専門雑誌『말과 글(言葉と文字)』などで各部門の学術用語の新しい案についての大衆的な討論が始まる時期でもあった。

2.3 1964年以降

この時期は、言語学者との談話とも呼ばれる金日成の第1次教示(1964年1月3日)、第2次教示(1966年5月14日)が発表される時期である。この時期区分は、キム・キルソン(1996)によるもので、1995年までの語彙整理について取り扱ったものである⁶⁵。しかし、1995年以降の語彙整理も金日成教示から影響を受けたものであるため、語彙整理の方向性について大きな変化はないと思われる。それだけ、金日成の教示は北朝鮮における言語政策及び言語浄化において非常に重要な役割を果たしているといえる。

すなわち、この時期は北朝鮮における言語政策及び言語浄化において最も大きな影響力を見せてくれた時期である。北朝鮮では「語学革命」というが、「以前時期に行われた言語浄化運動の成果をさらに固め、語彙整理事業を朝鮮語発展のための基本問題として前面に出し、全力にその理論的な体系化を実現した時期⁶⁶」と言われている。

金日成教示が発表された以降、語彙整理事業を専門的に担当する機関である「国語査定委員会」を設置し、学術用語分科委員会も再整備し⁶⁷、教示によって語彙整理の対象と原則及び整理方法についての提案が具体的に提示されている。

⁶⁴ 조선 민주주의 인민 공화국 과학원 언어 문학 연구소 언어학 연구실 (1962) 『조선로동당의 지도 밑에 개화 발달한 우리 민족어』 과학원출판사, p.155.

⁶⁵ 김길성 (1996) 「어휘정리연구사」 『주체의 조선어연구 50년사』 김일성종합대학 조선어문학부, p.138.

⁶⁶ 同書, p.138

⁶⁷ 同書, p.139によると、国語査定委員会は委員長1名、副委員長3名、書記長1名、その他20~23名の成員として構成されている。学術用語分科委員会も再整備したが、委員長1名、副委員長1~2名、分科委員会成員は15~17名となっている。

この時期に最も特徴的なのは、《我々の言葉の整え方についての紙上討論》以下、「紙上討論」が非常に活発に行われたことである。「紙上討論」については後述する。

3. 《我々の言葉の整え方についての紙上討論》⁶⁸

3.1 《我々の言葉の整え方についての紙上討論》とは

『労働新聞』⁶⁹の《我々の言葉の整え方についての紙上討論》とは、北朝鮮社会における「我々の言葉(우리말)」すなわち「朝鮮語」の使用者にとって、さまざまな要因から「不適切」と判断された語彙群を『労働新聞』の紙面に提示し、その置換語案について一般公募形式で「紙上討論」した長期連載記事である。ここに想定されている「我々の言葉」の使用者は、学術領域に精通した知識人や地域行政や社会運動の指導的役割を果たす専門家ではなく、もっとも厚い社会層に位置する人びとが日常社会での使用感を共有することを通して浮かび上がった「人びと」であった。その言葉を「整える」ことの先に見据えられていたのは「わかりやすく整えられた言葉」を「我々自身のもの」とした「平等」な人びとが「主体」として創造する社会主義国家の実現という理想であった。しかしその理想とは、同時に朝鮮語を使用する人びとにたいし、社会主義国家の「主体」として社会に従属させる精神的な統制までも引き起こす二面性をも秘めていた。この点を実証的に論ずるため、本章では「紙上討論」の内容について、最終的に整えられた言葉の羅列ではなく、討論の過程を提示することで、北朝鮮社会とそこに生きる人びとが「我々の言葉」と感じた言語と、その言葉への感覚を汲みあげることに議論の重点を置くこととする。

3.2 《我々の言葉の整え方についての紙上討論》の内容分析への視点

《我々の言葉の整え方についての紙上討論》は、1966年5月14日付けの言語についての金日成の第2次教示「我々の言葉の民族的な特性を正しく活かすことについて」の発表を直接の契機に開始された。

⁶⁸ 筆者の修士論文である「北朝鮮の「国語醇化運動」に関する考察-1966年から1973年まで『労働新聞』における《我々の言葉の整え方についての紙上討論》の分析-」（一橋大学大学院言語社会研究科、2013）の一部を抜粋して、まとめたものである。

⁶⁹ 『労働新聞』とは、北朝鮮の執権政党である「朝鮮労働党」の機関紙と位置づけられている日刊新聞である。同紙は1945年11月1日に創刊された「北朝鮮共産党」の中央組織委員会の機関紙『正路（정로）』を前身とし、1946年8月30日の「北朝鮮労働党」の第1次党大会にて「朝鮮新民党」の機関紙『前進（진선）』を吸収すると同時に名称変更が決議され、翌9月1日より『労働新聞』として発行された。

我々の言葉をよりよく整えるためには、新聞に載せて紙上討論をさせなければなりません。言語学も大衆の評価を受けなければなりません。学術用語のようなものも新聞に1週に2~3回ぐらい掲載しなければならないし、整えた言葉を1回に15個ぐらいずつ新聞に載せ、大衆が評価を書くようにし、質問も出させるようにしなければなりません。整えた言葉は、中央の新聞にも地方の新聞にも載せ、それに反対する意見についても全て知らせなければなりません。紙上討論では、提起される意見も全て公開し、多くの人びとの知恵を動員するようにすることが重要です。紙上討論を多くすれば、我々の言葉がよく整えられるだけでなく、それが大衆にも広く知らされます。このように用語を大衆に評価されて良い意見を集め、最後に標準にする言葉を決めて使うようにするのが良いと思います⁷⁰。

第2次教示をうけた1966年6月以来、内閣の直属に国語査定委員会が設置され、さらに社会科学院の国語査定指導処と言語学研究所にある18分野の専門用語分科委員会では、各該当部門の用語に対する「我々の言葉」の整え方について研究と討論がおこなわれた⁷¹。

「紙上討論」は、1966年7月9日から1973年10月28日(全554回)まで、『労働新聞』の第4面に掲載され、原稿名と専門用語分科委員会名が記事の末尾に付記されていた⁷²。

【表1】は、原稿名とそれに対応する18分野の専門用語分科委員会および原稿数をまとめた表である。

⁷⁰ 「第2次金日成教示」：202。

⁷¹ 第1次金日成教示(1964年1月)の直後、言語整理をさらに強化するため、1964年2月に科学院の社会・人文分野が分離され「社会科学院(사회과학원)」が新設された。この機関では、共産主義の理論に基づいて、社会科学の全般にかけて、いわゆる「創造的な発展」をするために作られた。社会科学院の傘下には、経済・法学・歴史・哲学・言語学・文学及び民俗学・古典などの研究所がある。ここの言語学研究所と文学研究所は、既存の「語文学研究所(어문학연구소)」が分離・独立したものである。この研究所は、政策機関の指揮・監督の下にある研究機関として、与えられた研究課題を遂行するのが任務である。その成果発表として『朝鮮語文(조선어문)』『朝鮮語学(조선어학)』などの機関紙と、月刊誌の『言葉と文字(말과글)』、季刊誌の『文化語学習(문화어학습)』を刊行している。また、『現代朝鮮語辞典(현대조선말사전)』(1968)、『朝鮮語規範集解説(조선말규범집해설)』(1971)、『朝鮮文化語辞典(조선문화어사전)』(1973)などの辞典編纂も担当した。組織の詳細は次の文献を参照せよ。김민수 (1989) 『북한어의어학혁명』 백의。

⁷² 第147回の以前は、「内閣直属国語査定委員会にて」と記された。

【表 1】 原稿名による 18 分野の専門用語分科委員会名と原稿数

原稿名	分科委員会名	原稿数
読者意見	--	116
一般語	一般語用語分科	57
医薬学・医学	医薬学用語分科	50
農学	農学用語分科	45
物理・数学・化学	自然科学用語分科	37
軽工業	軽工業用語分科	31
地質・地理・鉱業	地質鉱業用語分科	28
運輸	運輸用語分科	27
生物	生物学用語分科	26
体育	体育用語分科	23
金属	金属用語分科	22
機械	機械用語分科	21
建設・水利	建設水利用語分科	20
社会科学	社会科学用語分科	16
水産海洋	水産海洋用語分科	15
文学芸術	文学芸術用語分科	14
電気・通信	電気通信用語分科	12
商品名	商品名用語分科	8
林学	林学用語分科	7
合 計		575

各専門用語分科委員会で討論された内容が、「紙上討論」として週 2～3 回のペースで、毎週掲載され、読者の意見やアイデアが集められた。この「紙上討論」には、言語学者のみならず、労働者・農民・学生・教員など各界各層の人びとが積極的に参加した⁷³。1 回の原稿に 13～16 個の語彙が扱われ、読者から送られてきた意見は、1 年に 500 件から 2,500 件にのぼった。『労働新聞』に掲載された「紙上討論」は、13 から 16 誌にもおよぶ他新聞・雑誌に同時掲載されていた。北朝鮮の大部分の新聞と雑誌に固定枠として掲載されることになった「紙上討論」は、文字通り国家的規模の言語的知の結集が 7 年以上にもわたって試みられた北朝鮮言語政策のなかの独特の場であったと言えよう。

⁷³ 박재수 (1999) 『조선민주주의인민공화국의 언어학에 대한 연구』 사회과학원, p. 102.

「紙上討論」は、1973年10月28日の第554回をもって終了する。「紙上討論」初回掲載時には連載の挨拶や記事の性格、討論の形式について述べられていたのと比べ、掲載終了時には今回が最後の紙上討論になることについて一言も述べられはしなかった。しかも、最後の原稿を書いた人物もその原稿が最後であることを意識しているようには感じられない。どのような理由で突然「紙上討論」が打ち切られるかのように終了したのかについて、確証を示す史料は得られていない。キム・ソクヒャン(2003)は、明確な資料的論拠を提示しないものの、「紙上討論」掲載当時の北朝鮮社会の状況と脱北者からのインタビューに基づいて、国政の基調として主体思想が本格的に浮上し始めた当時、金正日が朝鮮労働党の重要なポストに就任し金日成の後継者と公的に位置づけられ、幾人もの国内政治の重要人物が中央政界から姿を消したことを取り上げ、「紙上討論」の最後の原稿を書いた人物もおそらくその中のひとりであったのではないかと推測している⁷⁴。そのような推測にも時代的な根拠があり、1967年5月に朝鮮労働党の中央委員会第4期15次全員会議にて、パク・グンチョルなど党運営の幹部と宣伝・文化担当幹部が「唯一思想」に違背する政策を推進したと批判され粛正されたとき、かれらの粛正を実務的に主導したのが金正日であった⁷⁵。

時期的に、金正日が後継者になる当時の状況と「紙上討論」の記事が『労働新聞』の紙面から姿を消したこととのあいだには、何らかの関係があるかも知れない。これまで「紙上討論」の中断理由について言及している研究はないため、今後は終了の背景を検証する必要があると思われる。しかし、このような政変説がすべてを説明しているわけではない。「紙上討論」の原稿執筆者は一人ではなく、北朝鮮国内の言語に関係する機関はすべて国家が直接統制している点から考えると、1973年10月の段階で「紙上討論」に一定の成果がみられたとの判断が下されたとみることにもできるのだ。そして、1977年12月10日には『整えられた言葉(다듬은말)』の1巻から4巻が編纂され、1982年にそのなかの約4万語彙を改訂した『整えられた言葉・再検討語(다듬은말・재검토한용어)』が国語査定委員会より刊行されている。「紙上討論」は、1966年から1967年までは一度に2原稿分の記事が掲載されることもあり、総原稿件数としては575回となる。前出の【表1】のように原

⁷⁴ 김석향 (2006) 「북한의 우리말 다듬기, 어떻게 보아야 하는가?」 『새국어생활』 제15권 제1호 통일교육원 연구개발과, pp. 66-69.

⁷⁵ 이종석 (2011) 『북한의 역사2』, pp.89-90. 金日成の後継者である金正日は、1967年から北朝鮮の権力構造のなかで強い存在感をあらわし、1970年代に入ってから労働党の中央委員として活動。1973年7月には党の中央委員会の部長に、同年9月には党の中央委員会の秘書局の組織・宣伝担当秘書として選任されている。その後、1974年2月に開かれた党の中央委員会の第5期8次全員会議で党内の革新権力機構である中央委員会の政治委員会の委員になり、後継者として公認された。

稿の種類を区分集計してみると、「読者の意見」が全体の 20%を占め、「紙上討論」という題目を裏切らない討論内容であったこと、北朝鮮の人びとが積極的に参加していったこと意味している。もちろん、「読者の意見」に掲載された内容が全て「整えた言葉」として認められたとは言えないものの、各専門用語分科委員会で討論を経て提出された案にたいし、賛成または反対の意見を表明することによって「整え」られていく朝鮮語の語彙をみると、北朝鮮における「ウリマル」の整えとは、たんなる「上から」の言語醇化運動だったのではなく、日常で実際にことばを用いて生きている人びとの情緒も関与して醸成された「下から」の運動でもあった点を看過することはできない。北朝鮮という中央集権的な統治体制の言語政策に市井の人びとの情緒がどのように反映していくのか——この視点をもつとき「読者の意見」とは、当時の北朝鮮社会の言語生活を把握するのに、非常に重要な資料であると判断される。

1966年7月9日付「紙上討論」の第1回には「《我々の言葉の整え方についての紙上討論》を組織しながら」という題目と次の文章が掲載された。

我々は、誰でも分かりやすく簡単に話し、簡単な文章を使わなければならない。そのためには、うずもれている良い言葉を見つける一方、難しい漢字語や外来語を朝鮮語に整えなければならないので、国語査定委員会ではこの紙上討論を組織する。読者たちは、整えられた言葉が気に入るかどうか、気に入らない場合は、どんな言葉に整えた方が良いかについて意見を郵便で国語査定委員会、または本社に送ってほしい。郵便を送る際は、職場・職位・氏名・年齢を書くこと。美しい我々の言葉が満開の花を咲かせるように、より輝かせるように皆がこの討論に参加しよう

この文章は、第3回と第36回に再度掲載されるが、この「紙上討論」についての積極的な参加と重要性が簡潔に述べられている。印象的なのは朝鮮語が花を咲かせる植物に喩えられている点だろう。「我々の言葉」の「整え方」(다듬기)とは、もともと一種の比喩を経た表現であり、朝鮮語の字義通りに読むのであれば、「整え」とは植物を剪定する所為、すなわち「刈り込み」に他ならない。薔薇のような植物が「刈り込まれる」ことによって鑑賞に堪えうる花を咲かすように、「我々の言葉」から「難しさ」と語彙の「外来」性が徹底的に「刈り込まれる＝整えられる」(다듬은말)ことで「美しい」花を咲かせるようになると説かれたのである。北朝鮮における言語醇化の根本的な発想法とは、感情的な排外

行為でも新語創造による言語の再構成でもなく、言語に刈り込まれた簡素さをもたらすための合理性の追求と、その先に輝かしい成果を想像する理想主義の追求の混在であった。

第1回に取り扱われた語彙は、「出口・入口、乳母車、ノック、休日、噴霧器、放逐する、途絶する、低落する」であった。これらの語彙は、比較的日常生活で「よく使われている」漢字語や外来語であると判断されたのである。これらは一見するとばらばらな語彙を手当たり次第に「整え」ようとする作業に思えてしまうが、じつは「整えること」についての各種技法を図示的に並べあげた非常に戦略性の深い語彙選択であったのだ。ここではまず「出口・入口・ノック・休日・噴霧器・乳母車・放逐する・途絶する・低落する」それぞれの「整え方」がどのような理由をもって提案されたのかを逐次引用する。日本語の訳出にあたっては、朝鮮語の固有語と朝鮮語に漢字語の織り交ぜ具合を反映するように、それぞれをひらがな表現、漢語表現に対応させ、北朝鮮の言語政策にとって何が「難しい」とされたのか、その線引きを可視化できるようにこころがけた。「紙上討論」の対象語彙は原稿では太字で強調されており、ひとつの語彙にたいして様々な提案が出されている。本論文では日本語訳を提示する必要から、太字の強調表現についてカギ括弧を用いることで示した。

【出口・入口】

「出口(출구)」や「入口(입구)」は、停留場や劇場そのほかに人びとがたくさん出入りするところによく書いてある言葉だが、この言葉を「でていくところ(나가는곳)」・「はいていくところ(들어가는곳)」に整えよう。おなじように

「出入口(출입구)」は「ではいりするところ(나드는곳)」に、「出入門(출입문)」は「ではいりする門(나드는문)」に整えられると思う。

これらは漢字語を朝鮮語の固有語によって整えようとする提案である。漢字語として社会に完全に定着してはいるが、朝鮮語にとって音声からは具体的な所為を想像できない語彙を「聞いて何をすべきかが理解できる」ことばに置き換える「整え方」の基本的戦略である。聞くことが理解に直結できるような言語的明晰性を朝鮮語に与えようとする意図を読み取れる。

【乳母車】

「乳母車(유모차)」は、赤ん坊を乗せる車のひとつである。したがって「あかちゃん車(애기차)」、「あかちゃん車(아기차)」、「こども車(어린이차)」などに整えられるはずだが、そのなかでも「あかちゃん車(애기차)」ということにしよう。

乳母車も同様に、音声から用途を想像できない「유모」のかわりに「だれを乗せるのりものか」を明確にさせることに整えの努力が向けられている。しかし「車(차)」という語まで置換しようとする考えはみられない。

【ノック】

「ノック(노크)」は、「手の気配(손기척)」に整えよう。我々の言葉ではなにかが聞こえることを気付かせる音を「気配(기척)」という。咳の音や足跡の音を出して、人がいることに気付かせるのは、「ひとの気配(인기척)」という。「ノック(노크)」は手でする「気配(기척)」なので、「ての気配(손기척)」にしよう。

これは外国語音声を書き写して借用された外来語を朝鮮語的な発想から連想された語彙に整えようとする提案である。英語ではたんに「打つ」「叩く」といった動作を示すだけの knock という語彙が、北朝鮮の「整え方」のなかで語られるとき、西洋的なドアを介在したふたつの空間を想像させる状況描写の語彙として受け止められ、いかにしてその状況を朝鮮の社会へ飼いつづらせることができるのかへ議論がスライドしてしまっている。

【休日】

「公休日(공휴일)」は「やすむひ(쉬는날)」に整えよう。公休日とともに「休日(휴일)」という言葉も使われているが、「休日(휴일)」とは、機関・企業所や商店などで日曜日や公休日を休みの日にあてるとのことであるから、「公休日(공휴일)」と「休日(휴일)」は全て「やすむひ(쉬는날)」に統一して整えよう。

これらは社会慣習の合理性を追求し、それに合わせた語彙を整えに利用しようという提案である。使用する言葉を変えていくことは、社会を変えていくことに繋がるという近代的な言語政策の精神を端的に表現している事例である。

【噴霧器】

「噴霧器(분무기)」は、水や薬のようなものを霧のように噴出す器具を指す言葉であるので「きりふき(뽀개)」といえる。しかし、「뽀개 [pumgae]」という言葉は、発音が柔らかくないので、音節を一つ増やして、「뿌무개 [pumugae]」に整えよう。

この事例では漢字語の意味を開き固有語に置き換える典型であるが、たんなる置き換えにとどまらず、「言いやすさ」「使いやすさ」の観点からさらに一段階を経た整えがおこなわれている。ここで重要なのは「聴覚的な心地よさ」への配慮である。北朝鮮の言語醇化に特徴的なことのひとつに「聞きやすさ」への過度な配慮がみられる点がある。これは「整えられた」ことばを用いるのが誰なのかについて、言語政策が非常に強い関心を持ち続けていたことの現れとも言える。

【放逐する】

「放逐する(구축하다)」は「おいはらう(쫓아내다)」と「おいやる(몰아내다)」に整えよう。「放逐する(구축하다)」という言葉は、「ある勢力や力量を追いやり、追い払う」という言葉であるが、この場合はその一方の意味だけを整えるのは困る。そのゆえ二つの整えた言葉を使おう。

【途絶する】

「途絶する(두절되다)」も「とぎれる(끊어지다)」と「ふさがる(막히다)」のふたつに整えよう。交通手段や通信について「途絶だ(두절되다)」と表現したいとき、[我々の言葉では]「消息がとぎれる(소식이 끊어지다)」、「みちがとぎれる(길이 끊어지다)」と使うが、おなじく「みちがふさがる(길이 막히다)」、「消息がふさがる(소식이 막히다)」とも使われるので、両方使おう。

両事例とも漢字語を語感とした形容動詞をどのように整えるかについて、典型的な提案が行われている。それは多義的に使用しうる漢字語の意味の核心部分を朝鮮語の現実の用法のなかで解剖してしまう試みであり、結果としてひとつの漢字語が複数の朝鮮語用法に切り分けられている。

【低落する】

「低落する(저락하다)」とは、もともとは品物の値段や威信に関わる漢字語で、「ひくくおちる(낮게 떨어지다)」という言葉であるが、このばあい「おちる(떨어지다)」ということは、元の位置から「ひくく(낮게)」おちることであり、「たかく(높게)」おちる現象はありえない。そのゆえに「ひくく(낮게)」という言葉は使わず、「おちる(떨어지다)」ということにしよう。

さらに漢字語特有の意味の似た語を重ね合わせて造語方法について、朝鮮語の用法ではたんなるリダダントにしかならないことを指摘している。この言葉の余剰性、非合理的な意味の重ね合わせを朝鮮語に強要し続けることこそが漢字語の事大性のひとつであり、それをあぶり出して刈り込むことが「整える」ことの本質となる。

このように国語査定委員会次の選択した 8 つの言葉の整え方の提案にたいする「読者」からの反応の一部が、第 11 回の「紙上討論」に「読者からの意見」としてまとめられている。

【出口・入口の「整え方」への反応】

「出口(출구)」・「入口(입구)」を「でる所(나가는곳)」・「はいる所(들어가는곳)」に整える案について以下のような意見が寄せられた。

(1) 長くて使いにくく、ひとつの単語のように聞こえないとの音感への拒絶

- 短くする案として「出口(출구)」は、「でる門」という語意の「날문」、
- 「でる所」という意味の「나는곳」や「나는문」、「날어귀」など、「入口(입

구)」に対して「はいる門」という意味の「들문」「드는문」、「はいる所」という意味の「드는곳」、「들어귀」などの意見が送られてきた。

(2) 「でる所(나가는곳)」・「はいる所(들어가는곳)」という言葉の「所(곳)」が使用感に合わないという拒絶

(3) 整えるために用いられる語要素の代案

・「でていく所(나가는곳)」・「はいつていく所(들어가는곳)」は、「いく(가는)」を使っているが、「でてくる所(나오는곳)」「はいつてくる所(들어가는곳)」にしようという意見が出た。単語を短くするという意見は、とても正しい。しかし、あまりにも短いと耳になれない場合が多い。対案としては「出口(출구)」を「でる門(날문)」、「入口(입구)」を「はいる門(들문)」にした方が良いと思う。

【ノックの整え方についての反応】

「ノック(노크)」を「ての気配(손기척)」に整える案についても次のような意見が寄せられている。

(1) 日常語としての音感への拒絶

・「気配(기척)」を活かすが、「手の気配(손기척)」にするのは、あまり語感が良くない。それで、たんに「気配(기척)」にすること、「人の気配(인기척)」をそのまま使うこと、「門の気配(문기척)」にしようとする意見がある。

(2) 言葉が用いられるときの状況描写の非共有

・手を用いる表現であるはずなのに「気配(기척)」では、すぐに分かりにくいので「てのしらせ(손알림)」「てのひびき(손울림)」「てのおと(손소리)」「て

の信号(손 신호)」 「てのたたき(손 두드리기)」 のようにした方が良いという意見がある。

(3) もともと「ノック(노크)」という言葉が「コンコン」という擬音語であるとする語源俗解から想像力を働かせた案

- 出した案とは違う案としては、「たたき(두드림)」 「門たたき(문두드림)」 「コンコン(똑똑이)」 「コンコンひびき(똑똑울림)」 にしようとする意見がある。

(4) 整えること自体の拒絶や賛同

- 「ノック(노크)」は、みんなが知っている言葉なので、そのまま使うこと。
- 「ノック(노크)」が広く使われていても、我々の言葉に整えた方が良く思う。しかし、送られた意見の中で「門の気配(문기척)」が「手の気配(손기척)」より良いという意見がある。

このようにほんの数語の言葉の「整え」についての提案にも数多くの意見が寄せられ、それぞれが自分自身の感じる言葉への思いを率直に披露しているさまは、「北朝鮮」という国家に寄せられることの多い「過渡に中央集権的」なイメージとは異なる様相をみせている。「紙上討論」に取り扱われた語彙は、のちに必ずしも公式な「整えられた言葉」として認められるとは限らないが、北朝鮮における言語の「整え」という国家プロジェクト自体が、「下から」朝鮮語を整えようとする無数の意志に下支えされていた事実を浮かび上がらせることは、北朝鮮の言語政策研究に、制度史からでは拾い上げられない重要な局面を提供することだろう。

3.3 「紙上討論」の討論内容から見える言語感覚——具体例の提示

以上の視点から、本節は「紙上討論」の内容について、最終的に整えられた言葉ではなく、討論の過程を提示することで、北朝鮮社会とそこに生きる人々が「我々の言葉」と感

じた言語とその、言葉への感覚を汲み上げたい。基本的に「紙上討論」の原文をそのまま引用して箇条書きに列挙し、各事例の末尾に掲載回を記載した。各事例は前述の【表 1】にて示した分科ごとに区切りを設け、社会の広域にわたって「整え方」の理念がどのように浸透していたのを明示することにした。

(1) 一般語用語分科

* 名詞・固有名詞の整えについて

- まず、我々が常に使っている言葉から整えなければならない。言葉を整えようとして、全ての単語を一日二日で急に直すことはできない。したがって、金日成が明らかにした通り、まず、我々が生活で使っている言葉から一つずつ整えなければならない。

「大部分(대부분)」→「ほとんど(거의)」 「ほとんどすべて(거의다)」

「所要量(소요량)」→「所用される量(소요되는 량)」 「ひつような量(필요한 량)」

「用途(용도)」→「つかいどころ(쓰이는데)」 「つかい(쓰임)」 【第 301 回】

- ひとつの言葉もそれが使われる様々な場合と条件によって、異なる意味をもつ場合が多い。大衆は、様々な部門で働きながら生活をしているほど、大衆の意見を広く集めると、実際その言葉が使われる全ての場合に合わせてよく整えられると思う。

「代金(대금)」 「代価(대가)」→「ねうち(값)」

「金銭(금전)」→「おかね(돈)」

「残高(잔고)」→「あまり(나머지)」、「あまったおかね(남은 돈)」

「残額(잔액)」→「あまり(나머지)」、「あまったおかね(남은 돈)」 【第 21 回】

- 通例、贈り物として送る壁時計や鏡、または本などに「寄贈(기증)」と書いてあるが、これも整えた方がよい。贈り物として差し上げるという意味で「さしあげ(드림)」にした方がよいと思う。(これと共に「贈(증)」と使っていることも考え直す必要があると思う。実際、話し言葉では使わないし、若者たちにとって分からない漢字音を書くことには何の意味もないと思う。「贈(증)」を書くところに、「さしあげ(드림)」にした方がよいと

思う。「贈呈する(증정하다)」という言葉は、「さしあげる(드리다)」にした方が良いと思う。【第 204 回】

- 「名称(명칭)」、「名義(명의)」の場合、すべて「なまえ(이름)」に整えられると思う。
「区域名称(구역명칭)」、「企業所名称(기업소명칭)は、「区域のなまえ(구역이름)」、「企業所のなまえ(기업소이름)」にすることができる。「学校長の名義で(학교장의 명의로)」、「支配人の名義で(지배인의 명의로)」のような言葉は、すべて「なまえ(이름)」にした方が良いと思う。【第 204 回】

* 動詞・形容詞の整えについて

- 「言葉はなるべく労働者、農民が理解できる彼ら自身が使うやさしい言葉にしなければならない」金日成は、この教示からなるべく難しい言葉を使わず、労働者・農民が分かりやすい我々の言葉を使わなければならないと教えた。

「賦課される(부과되다) → 「せおわされる(맡겨지다)⁷⁶」

「守護する(수호하다) → 「まもる(지키다)」

「巡回する(순회하다) → 「まわる(돌다)」【第 302 回】

- 「当然だ(당연하다)」は「彼が表彰されるのは当然だ(그가 표창을 받는것은 당연하다)」のように、「しかるべき(마땅하다)」と意味がほぼ同じである。また、時によって「ただしい(옳다)」と同じである。したがって、「あたりまえだ(당연하다)」や、「ただしい(옳다)」にすると、だいたい通じると思う。「至当だ(지당하다)」は、ただ単に、ただしいかあたりまえなことではないので、「とても(아주)」を必ず入れて使わなければならない。「至当だ(지당하다)」は「当然だ(당연하다)」より強調されることばであるから使い分けることができる。【第 130 回】

⁷⁶ 「맡겨지다」は「だれかからまかせられる」という意を汲んで「せおわされる」と日本語訳した。

- 「消費する(소비하다)」は「つかう(쓰다)」、「つかってしま(써버리다)」または、「なくす(없애다)」に整えることができる。「消費する(소비하다)」と似ている言葉である「消耗する(소모하다)」も「なくす(없애다)」にすることができる。【第 121 回】
- 「崩壊する(붕괴되다)」は、物や計画が破られたり、社会制度が崩れる時使う言葉である。したがって、「くずれる(무너지다)」、「こわれる(망가지다)」などにした方が良いと思う。【第 121 回】
- 「蹂躪する(유린하다)」はおもに権利・人格などに関して話す時の「ふみにじる(짓밟는다)」という意味である。書き言葉にはまだ少なく使われているが、これも固有語の「ふみにじる(짓밟다)」をそのまま使った方が良いと思う。【第 116 回】

*外来語への対処

- 「デザイン(디자인)」は、主に産業美術で使われている言葉であるが⁷⁷、絵の形態として対象の実際や案を見せる言葉であるので、この言葉を「えのもと(그림본)」もしくは、「えの設計(그림설계)」に整えるのはどうかと思う。【第 534 回】
- 走る競技をする時履く、靴の裏に釘のようなものがついている靴を「スパイク(스파이크)」というが、この靴は、「くぎくつ(못신)」にしようとする意見と「サガルくつ(사갈신)」にしようとする意見がある。「サガル(사갈)」とは、滑らないように靴の裏につける釘のようなものをいう⁷⁸。【第 273 回】

⁷⁷ 「デザイン(디자인)」という用語は幅広い意味で使われる言葉であるが、「えのもと(그림본)」、「えの設計(그림설계)」からすると、北朝鮮で「デザイン」とは主にグラフィックを指す用語に限定されて理解されていたと推測しうる。

⁷⁸ 「サガル(사갈)」とは、氷雪地で用いる「アイゼン」の朝鮮における古称である。

- 「ナンバリング(남바링)」も難しい外来語なので「番号機(번호기)」に整えたこともあるが、今回出した「番号押し(번호찍개)」の方がさらに分かりやすいと思う⁷⁹。【第 277 回】
- 「バレーボール(배구)」で「ドリブル(드리블)」は連続的に 2 回以上ボールを叩いたり打ったりすることを意味する。したがって、「ドリブル(드리블)」は 2 度叩くという意味で「にどボール(두번볼)」にするか「にどうち(두번치기)」にした方が良い。【第 113 回】
- 「ナイフ(나이프)」は主に西洋の食べ物を食べる時、膳において使う包丁をいう。したがって、「膳ほうちょう(상칼)」に整えるのはどうかと思う。【第 86 回】
- 「エピソード(에피소드)」とは、作品の基本的なすじがきと直接な関係はないが、それと関連している短い話をいう。まわりの話という意味で「まわりばなし(겉얘기)」に整えようとの意見がある。【第 74 回】
- 「カーブ(카브)」は「まがりくねり(굽이돌이)」、「くねり(굽이)」という我々の言葉をそのまま見だして使えば良いと思う。「カーブ道(카브길)」は「まがりくねりみち(굽이돌이길)」または「くねりみち(굽이길)」に、「カーブ線(카브선)」は「まがりくねり線(굽이돌이선)」または「くねり線(굽이선)」にすることができる。【第 36 回】
- 「ハンドル(핸들)」はやさしい我々のことばそのまま「とって(손잡이)」にかえて使える。例えば、「自動車ハンドル(자동차핸들)」は「自動車とって(자동차손잡이)」にすることができる⁸⁰。一方、「とって(손잡이)」の意味は広いのでハンドルが方向をとる役割をすぐる特徴を活かして、「方向かじ(방향잡이)」にしようとする意見もあった。これにしたが

⁷⁹ 言葉としては「製品」の特性をよく活かした言葉であると判断されるが、どこに使う機械または道具かが明確に分かりにくい。この「製品」が使われなくなったせいかも知れないが、「ナンバリング(남바링)」も「番号押し(번호찍개)」も1986年以降に廃語となる。

⁸⁰ 自動車のステアリングを指して「ハンドル」と呼ぶ呼び方自体は、いわゆる「和製英語」の慣習が朝鮮語に借用された用法であった。

って、「自動車ハンドル(자동차핸들)」は「自動車方向かじ(자동차방향잡이)」、「自転車ハンドル(자전거핸들)」は「自転車方向かじ(자전거방향잡이)」にすることができる。

【第 36 回】

*日本語の発音そのままに使われた語彙への対処⁸¹

- 「ベントー(벤또)」とは、二つの意味がある。一つは^{かく}檪の形の器を意味し、もう一つは器に盛られたご飯と器を合わせて意味する。したがって、この言葉は「ごはんかく(밥곽)」、「かくごはん(곽밥)」にすることができると思う。【第 40 回】
- 「テンブラ(뎀뿌라)」は油であげたものなので「あぶらあげもの(기름튀기)」と呼ばれている。そのまま「あぶらあげもの(기름튀기)」にした方が良いと思う。【第 98 回】
- 「アジノモト(아지노모토)」⁸²は、もともと我々の言葉ではない。したがって、固有の我々の言葉に整えようとする様々な意見があった。「アジノモト(아지노모토)」は、おかずや汁に入れると味が出るものなので、「あじのだし(맛난이)」にすることができる。また、味を出す材料であるので、「あじもの(맛감)」にしようとする案もある。【第 29 回】

(2) 医薬学用語分科の事例

- 医学部門で使われている言葉の中には、固有語と漢字語がふたつの体系があって、大衆が使う言葉と医者を使う言葉が異なるだけでなく、大衆が聞いても全然分からないく

⁸¹ 『整えられた言葉(다듬은말)』(1986年10月)の変動分析をした資料によると、日本語の発音そのまま呼ばれた言葉は全てが廃棄され、「紙上討論」で扱われた言葉に整えられた。北朝鮮と同じく日本語の残滓を清算しようとする目的からスタートした韓国では、今日までも日本語の残滓が存在している。そして、他の外来語が復活したことと比べると北朝鮮では日本語に対する「国語醇化運動」がさらに積極的で、厳しく行われたと思われる。次の文献を参照せよ。김민수(1997)『김정일 시대의 북한언어』태학사, pp.330-560.

⁸² 味の素本舗・株式会社鈴木商店(現在は味の素株式会社)の商品名「味の素」のことを指すが、北朝鮮において「うま味調味料」の総称は日本語商品名の発音そのままに「アジノモト(아지노모토)」と呼ばれていた。

らいややこしい漢字語が少なくない。このような言葉は、一日でも早く美しい我々の言葉に整えなければならない。【第 241 回】

- 入院室で医者が患者を見回しながら、一人ずつ診察をし、治療をすることを「回診(회진)」という。それで「やまいみまわり(병돌아보기)」に整えようではないか。「回診にでる(회진을나갔다)」と言う場合は、「やまいみまわりにでる(병돌아보러나갔다)」と使えば良い。医者が病院の外で患者を診て治療をするのを「往診(왕진)」というが、この言葉は、「でむきやまいみまわり(가서병보기)」と整えられると思う。しかし、病気を診に行く時必要な医療器具や薬品を入れる「往診かばん(왕진가방)」は、「医者かばん(의사가방)」に整えた方が良い。【第 242 回】

- 「脊椎骨(척추골)」は、「せぼね(등뼈)」にしようとしたが、[我々の整えられた言葉として]「サドオンピョ(사등뼈)」という言葉が採用された理由は、それが方言であったためだと思われる。もちろん、方言は、全人民的に広くは通用されないけれども、地方に少なくない人民たちが昔から使ってきた言葉である。そのため、方言だとしてもそれが正確で語感が良いものであれば、我々の人民が一人も使ったこともない新しい言葉を作るより、その方言を使った方が良い。なるべく新しい言葉を作らず、ある言葉を見つけて死んでいる言葉を生かして使おう。【第 3 回・第 22 回】

- 「血液循環(혈액순환)」は血が心臓から出てまた心臓に戻ってくる生理的な現象を意味する。「血液(혈액)」を「ち(피)」に整えると、「ちの循環(피순환)」に整えられると思うが、「ちのめぐり(피돌기)」に整えた方が良いと思う。また次のような言葉も整えられると思う。

「大循環(대순환)」→「おおきな(ちの)めぐり(큰(피)돌기)」

「小循環(소순환)」→「ちいさな(ちの)めぐり(작은 (피)돌기)」

「体循環(체순환)」→「からだの(ちの)めぐり(몸(피)돌기)」

「肺循環(폐순환)」→「肺⁸³の(ちの)めぐり(폐(피)돌기)」【第 352 回】

- 病気になった時期を意味する言葉の一つとして、「先天性(선천성)」は生まれる前から持っていた病気を、「後天性(후천성)」は、生まれた後にできた病気を意味する。したがって、「先天性(선천성)」は「うまれつき(타고난)」にし、「後天性(후천성)」は「うまれあと(난뒤)」に整えよう。こうすると、「先天性疾患(선천성질환)」は、「うまれつきの疾患(타고난질환)」に、また「疾患(질환)」を「やまい(병)」にすると、「うまれつきのやまい(타고난병)」になる。「合併症(합병증)」は「つきてきたやまい(따라난병)」、「後遺症(후유증)」は「のこったやまい(남은병)」に整えよう。【第 162 回】
- 一般的に「肥大する(비대하다)」といえは、体に肉がついて、大きくなることを意味するが、医学で「心臓肥大(심장비대)」のように使う場合の「肥大(비대)」は心臓の壁や肉が厚くなりながら、大きくなることをいみする。そして、「拡張(확장)」とは、「胃の拡張(위확장 0)のように壁は厚くならず、むしろ薄くなりながら伸びることを意味する。したがって、「肥大(비대)」と「拡張(확장)」を「おおきくなること(커지기)」、「のびること(늘어나기)」にしよう。【第 136 回】
- 「頭痛(두통)」は頭が痛い症状をいうが、おなかやみ(배앓이)、みみやみ(귀앓이)のように「あたまやみ(머리앓이)」に整えよう。【第 34 回】
- 「初産(초산)」は婦人が子供をはじめて産むことを意味するが、これを「はつこどもうみ(첫애낳이)」に整えよう。しかし具体的な文脈によってこれ以外の表現も使える。「初産を順調にした(초산을 순조롭게 했다)」は「はつこどもうみを順調にした(첫애낳이를 순조롭게 했다)」ともいえる。また、「初産だった(초산이었다)」は「はつこどもだった

⁸³ 身体の臓器名称は、漢字語がそのまま使用され続けた。

(첫아이였다)」ともいい、「初産した(초산했다)」は「はつこどもをうんだ(첫아이를 낳았다)」という。獣の場合、「初産(초산)」を使うのは間違いだ。この場合には「はつばら(첫배)」、「はつばらこ(첫배새끼)」、「はつばらをうむ(첫배를 낳다)」などにしなければならない。【第 34 回】

(3) 農学用語分科の事例

- 「言葉はなるべく労働者、農民が分かりやすい彼らが使うやさしい言葉を使わなければ成らない」という敬愛する首領金日成の教示に従い、農学用語を農民たちがよく知っている立派な我々の言葉に整えるために良い意見をたくさん送ってほしい。【第 176 回】
- 農業で収穫をたくさん得るためには、新たな良い種を得ることが重要だ。今回には、肉種および採種に関連している用語を討論しよう。敬愛する首領の金日成同志の偉大な 10 大政綱と全国農業従事者大会での教示にしたがって、穀類を 500 キログラムずつ多く収穫するための闘争に全国の協同農民とともに農学用語を人民たち気に入るように整えることに積極的に参加してほしい。【第 175 回】
- 「産卵(산란)」を「たまごうみ(알낳이)」(鳥の場合)に整えたので、「産卵鶏(산란계)」は「たまごうみにわとり(알낳이닭)」にすることができる。「たまごうむにわとり(알낳는 닭)」にしようとする意見もあった。【第 181 回】
- 育種部門でよくつかう「授粉(수분)」とは、めしべがおしべの花粉をもらうことを意味する。したがって、「かふんうけ(꽃가루받이)」に整えられると思う。「人工授粉(인공수분)」は「かふんづけ(꽃가루묻히기)」、「人口補修授粉(인공보충수분)」は「かふんかさねづけ(꽃가루덧묻히기)」、「混合花粉授粉(혼합화분수분)」は「まぜかふんづけ(섞인 꽃가루묻히기)」にする。【第 176 回】

(4) 自然科学用語分科の事例

- 難しくてよそよそしい漢字語を捨てて、分かりやすく美しい我々の言葉を見つけて使うことは、誰でもみんな関心を持つべき切実な問題のひとつだと思う。さらに、漢字を使わない状況で、漢字語に作られた科学用語を使い続けることによって、生じる様々な不便さと混乱を考えると我々の言葉を整えることは誰でも疎かにしてはいけない。【第 41 回】
- 討論された言葉のような自然科学の基礎的な用語は、若い学生から使わなければいけない言葉であるほど、この部門の教員たちが教授事業の実践課程を通じて、さらに良く整えるはずだ。それでこそ、我々の言葉を主体性のあるように発達させるための 4 千万の朝鮮人民の偉大な首領である金日成同志の教示を徹底的に貫くことができるのだ。【第 22 回】
- 中学校と技術学校の多くの教員たちが今回の紙上討論に掲載された数学用語に対して、様々な意見を送ってきた。彼らは、今回の討論に出された数学用語がほとんどよく整えられたので実際学生たちに数学の科目を教えるときに使ってみた結果、よく理解が進んだとし、「代入する(대입하다)」を「いれかえる(갈아넣다)」(あるいは「いれる(넣다)」)、「逆数(역수)」を「さかさま数(거꾸로수)」、「側稜(측릉)」を「となりふち(옆모서리)」にした言葉を例に挙げている。【第 222 回】
- 等式に対して使う「右辺(우변)」、「左辺(좌변)」という言葉は、「みぎがわ(오른쪽)」、「ひだりがわ(왼쪽)」に整えよう⁸⁴。項の符号を代えて一つの辺から他の辺に移すことを「移項する(이항한다)」とするが、これは「項を移す(항을 옮긴다)」に整えよう。「項(항)」を「ふし(마디)」⁸⁵に整えると、「ふしを移す(마디를 옮긴다)」になる。【第 282 回】
- 「視角(시각)」は、「みる角(보는각)」に、「明視距離(명시거리)」は「よくみえる距離(잘보임거리)」に整えよう。人の片方の目と対象の両側の端っこを繋ぐ二つの直線が接す

⁸⁴ 「入れ替える(갈아넣다)」、「みぎがわ(오른쪽)」、「ひだりがわ(왼쪽)」などは、日常生活で使われる言葉そのままであるため、数学に用いられている言葉としてはまったく聞こえない。

⁸⁵ この「ふし」とは、ひとつのまとまりを表す朝鮮語の固有語「마디」を日本語に置き換えると、「節」を該当するために用いた。

る角を「視角(시각)」というが、その対象の大きさは視角の大きさによって判断されるのでこれは、結局のところ対象をみる角である。また、対象を一番はっきり見るためには、それを目からちょうどいい距離に置かなければならないが、これを「明視距離(명시거리)」と使ってきたので、これは「よくみえる距離(잘보임거리)」に整えることができると思う。

【第 198 回】

- 天文学で使っている「蝕(식)」という言葉は、「かくし(가림)」にしようとする意見がある。「蝕(식)」という言葉は、二つの意味として使われる。一つは、太陽や恒星が陰るように天体の光の道に他の天体、つまり、月や遊星のようなものがはさまれるので太陽や恒星の全体、または一部分が陰られるのを意味する。「蝕(식)」と呼ばれるもう一つの意味は、月蝕のように、太陽から月までの光の道に地球が挟まれて起きる現象である。しかし、月蝕の場合、月が隠れるのではなく、月が地球の影の中に入って、光を与えられなくて暗くなるだけなので、地球から見るときは、月が隠れるのではなく、実は月への太陽の光が地球によって、防がれることである。このように「蝕(식)」を「かくし(가림)」に整えるのであれば、「日蝕(일식)は「ひかくし(해가림)」に、「月蝕(월식)」は「つきかくし(달가림)」にすることができる。そして、「部分蝕(부분식)」は片方だけが陰られる現象を意味するので、「かたがわかくし(한쪽가림)」にしようとする意見がある。「部分日蝕(부분일식)」は「ひかたがわかくし(해한쪽가림)」、「部分月蝕(부분월식)」は「つきかたがわかくし(달한쪽가림)」にすることができる。これと対照する現象を指す言葉として「完全蝕(완전식)」または、「皆既蝕(개기식)」という言葉があるが、これはあ片方だけではなく、すべてがかげられるという意味なので、「みなかくし(다가림)」に整えようとする意見がある。【第 101 回】

(5) 軽工業用語分科の事例

- 技術水準を高めるための技術学習をするのに、分かりやすくやさしい言葉にするのはとても必要である。したがって、我々の言葉を良く整える問題は技術文化革命をするのに重要な意義がある。【第 231 回】

- 「油(기름)」や「脂肪(지방)」を一般的に「あぶら(기름)」に使い、この言葉を分けて使わなければならない場合は、「油(기름)」は「みずあぶら(물기름)」、「脂肪(지방)」は「かたまりあぶら(덩이기름)」に整えた方が良いと思う。「脂質(지질)」はあぶら成分の物質を指すので「あぶら物質(기름물질)」に整えよう。【第 376 回】
- 「女性の家事を減らすために一番重要な課業は、食料加工工業で新たな革新をおこすことである」と敬愛する首領の金日成同志が教えられたように食料加工工業は、3大技術革命の一つである女性たちを家事という重い負担から抜け出すようにするのに重要である。言語は、国の科学と技術を発展させる力のある武器であるほど、食料加工工業で新たな革新をおこすためには、この部門の用語を整えるにも深い関心を持たなければならない。【第 375 回】
- 「果肉果汁(과육과즙)、混濁汁(혼탁즙)」は、果物の肉まで押し潰して、汁に混ぜたものである。「押し潰したくだもの汁(으깬과일즙)」にしようとする意見に対して「押し潰す(으깨다)」という言葉が広く使われていなかったため、「濁ったくだもの汁(흐린과일즙)」にしようとする意見もあったが、そうするとまるで質が悪くように感じられる不足点がある。読者の意見を待つ。【第 375 回】
- 数分間で、簡単にご飯や麺が食べられるように、あらかじめ炊いて技術的に乾した米や麺をそれぞれ「即席ごはん(즉석밥)」、「即席麺(즉석국수)」のような、よそよそしい漢字語を作って使っている。そして、このように技術的に処理した食料品一般を「即席食品(즉석식품)」としている。このような言葉は、もっと広く使われる前によく整えなければならない。このような食品は、簡単に食べられるように、あらかじめ炊いておいたことと、長く保管することができるように乾しておいたところが特徴であり、また、まだ食べ物自体ではなく食べ物を作る直前の「もの」というのが特徴である。広く討論して、この言葉を良い言葉に作ってほしい⁸⁶。【第 375 回】

⁸⁶ しかしながら、これ以降の紙上討論に「良い言葉」は登場しなかった。

(6) 地質鉱業用語分科の事例

• 科学技術用語で難しくて難い漢字語を分かりやすく整える問題は、我々の言葉を主体性のあるように発展させることとともに、科学技術の普及と発展にも大きな意義がある。漢字語とは、表意文字なので漢字が分からないとその概念を正しく理解することはできない。例えば、地質部門用語で、「試片(시편)」、「磨片(마편)」、「薄片(박편)」のような言葉は似ているので、その意味が紛れやすい。したがって、漢字語をなるべく固有の我々の言葉に整えて、誰にでも分かりやすく紛れないようにするのが非常に重要なことである。【第218回】

• 「火山(화산)」とは、土から噴き出す溶岩、火山灰、ガスなどの物質となった山を意味するが、その物質を噴く現象がまるで火を噴き出すことのような場合が多いので、「ひのやま(불산)」に整えよう。「活火山(활화산)」は、噴く現象が進行中である火山をいうので、「いきたひのやま(산불산)」といえる。「休火山(휴화산)」は、過去のある時期、噴き出したり、爆発したりしたことがあったが、今は噴き出さないし、これからまた噴き出せない火山をいうので、「やすむひのやま(쉬는산)」にしよう。白頭山⁸⁷がこれに属する。「死火山(사화산)」は火山活動が完全に終わった火山を意味するので、「しんだひのやま(죽은불산)」にすることができるだろう。【第218回】

• 「浸蝕(침식)」にたいして、すでに「みずけずり(물깎이)」にしてはどうかとの意見が討論された。「浸蝕(침식)」には、雨や川などによるだけでなく、風・氷河または、科学的な作用などによって、浸蝕現象が起きる場合も多い。「雨蝕(우식)」とは、雨が降る時、流れるあまみずの力によって、地球の表が削られる現象を意味するので、「あまみずけずり(비물깎이)」という意見がある。「風蝕(풍식)」とは、風が吹いて、地球の表を削ったり、壊す現象を意味するので「かぜけずり(바람깎이)」にしよう。「氷蝕(빙식)」は、

⁸⁷ 白頭山(ハクトウサン、백두산)は、中国吉林省と北朝鮮両江道の国境地帯にある標高2,744mの火山で、朝鮮半島の最高峰である。

氷河が流れるとき、地層を削る現像を意味するので「こおりけずり(얼음깎이)」にすることができる。【第 218 回】

- 「凝灰岩(응회암)」は火山が爆発する時、噴き出た灰が積もって固まった石をいう。「凝灰岩(응회암)」は火山灰なので、「はいの石(재돌)」に整えようとする意見があった。我々は、「凝灰岩(응회암)」という漢字語がどれだけ難しくて紛れやすいのか分かることができた。「凝灰岩(응회암)」を文字そのまま解釈すると、「灰がかたまった岩(재가 엉킨 바위)」という意味でもあり、「石灰がかたまった石(석회가 엉킨 바위)」という意味とも見られる。「灰(회)」という、「もえかす(재)」という意味もあり、「石灰(석회)」という意味もあるからだ。したがって、漢字語を我々の固有語に整えるのは、我々の言葉を主体性のあるように発達させることだけではなく、多角面に見ても実に意義が大きいだらう【第 219】

(7) 運輸用語分科の事例

- 鉄道運輸部門で使われている少なくない言葉を美しくてやさしい我々の言葉に整えるのが、理解するのにも良いだけではなく、我々の言葉を主体的に発達させるのに大きな意義がある。我々は、この部門でいたずらに使っている漢字語や外来語を一日でも早く整えて、この部門でも我々の言葉が満開の花を咲かせるようにしなければならないと思う。【第 160 回】
- 車に乗ることを「乗車(승차)」といい、鉄道で働く人が車に乗って勤務することを「乗務(승무)」というが、これらはすべて「車乗り(차타기)」と整えた方が良いと思う。【第 236 回】
- 「入場券(입장권)」は一般的に「入る切符(들어가는표)」とも言えるが、鉄道部門ではお客さんを迎え、送るために駅の中に入る時使う切符を意味する。この言葉を「駅なか切符」역안표)に整えるのはどうかという案がある。【第 236 回】

- 「～駅発(～역발)」、 「～駅着(～역착)」 の場合は、「～駅から(～역부터)」、 「～駅まで(～역까지)」 に整えられると思う。たとえば「平壤駅発(평양역발)」は「平壤駅から(평양역부터)」のように。【第 350 回】
- 「携帯品(휴대품)」というよそよそしくて難しい漢字語は「フィデブun(휘대품)」と間違えて発音してしまうこともあるが、我々の言葉にして、分かりやすく「もちもの(몸짐)」にすることができるとおもう。【第 236 回】

(8) 生物学用語分科の事例

- 「鳥類(조류)」は「とり類(새류)」に整えられる。「鳥類(조류)」という言葉は、植物の「藻類(조류)」や海の流れを意味する「潮流(조류)」と紛れやすい言葉であるので、我々の言葉を活かして、飛ぶ鳥を意味する「鳥類(조류)」は、「とり類(새류)」にした方が良いと思う。分かりやすく言いやすい我々の良い言葉があるのに、どうして難しい漢字語を使うのか。「魚類(어류)」は、「さかな類(물고기류)」にすることができる。【第 224 回】

(9) 体育用語分科の事例

- 体育部門用語を分かりやすい固有の我々の言葉に整えるのは、体育を大衆化し、生活化するのに良い影響を与えると思う。【第 271 回】
- 陸上競技では走ることを「100メートル疾走(100 메터질주)」、「最終疾走(최종질주)」のように「疾走(질주)」というが、これは内容そのままに「はしること(달리기)」へ整えた方が良いと思う。「最終疾走(최종질주)」とは、一定の距離を走る時、しめくりに思いつき走り終ることを意味する。この言葉は「しめのはしり(마감달리기)」に整えよう。【第 273 回】

(10) 金属用語分科の事例

- 金属部門の用語も一日も早く我々の言葉に整え、全体の人民たちがこの部門に簡単に(たやすく、容易に)近づくことができるようにしなければならないし、また我々の言葉をこの部門でも満開に花を咲かせなければならないのだ。【第 96 回】
- 学術用語といえば、その部門の専門家たちのみが知っている神秘的な言葉のように考えた昔の誤った見解を我々はすっかり忘れて、簡単でやわらかい固有の我々の言葉に学術用語を大胆に整えなければならぬと改めて感じるようになった。【第 211 回】
- 「冷却(냉각)」は、すぐ「ひやす(식히다)」ことであるから、「ひやし(식힘)」にしよう。したがって、冷却方法として使われている「徐冷(서랭)」、「急冷(급랭)」も整えなければならない。遅くひやすのが「徐冷(서랭)」であり、早くひやすのが「急冷(급랭)」である。「徐冷(서랭)」は、「おそひやし(느린식힘)」、「急冷(급랭)」は「はやひやし(빨리식힘)」に整えよう。「急冷装置(급랭장치)」は「はやひやし装置(빨리식힘장치)」になる。しかし、「急冷する(급랭하다)」は、「はやひやしをする(빨리식힘하다)」ではなく、「はやくひやす(빨리 식히다)」にしなければならない。【第 4 回】
- 「加炭(가탄)」とは、鋼鉄に入っている炭素が要求される量より少ないとき、炭素をもっと入れることを意味するので、「炭素いれ(탄소넣기)」に整えよう。「加炭剤(가탄제)」とは、加炭するとき炭素をもっと入れるためのものを意味するので「もっと炭素いれ(더탄감)」にするのは、どうかと思う。また、「加炭(가탄)」を「炭素いれ(탄소넣기)」にすると、「加炭剤(가탄제)」もこれと同じ体系として、「炭素いれもの(탄소넣기감)」に整えた方が良く思う。【第 188 回】

(11) 機械用語分科の事例

- 人民たちが代々に使ってきた美しい我々の言葉を使わず、難くてよそよそしい新たな漢字語を作る必要があるのか？我々はなるべく固有の我々の言葉の語幹で語彙を作って、我々の言葉を主体性のあるように発展させなければならない。【第 117 回】
- 「撒布機(살포기)」は、堆肥や水薬、粉薬⁸⁸なんかを田畑にまく機械をいう。したがって、「ふりまけもの(뿌리개)」に整えるのはどうだろうか。【第 117 回】
- 田畑で秋の取り入れをする「収穫機(수확기)」は、穀物を取り入れる機械なので「とりいれ(거둠기)」にすることができる⁸⁹。それで、「じゃがいも収穫機(감자수확기)」、「亜麻収穫機(아마수확기)」、「麦類収穫機(맥류수확기)」などは、それぞれ「じゃがいもとりいれ(감자거둠기)」、「亜麻とりいれ(아마거둠기)」、「こむぎとりいれ(밀보리거둠기)」にしよう。【第 117 回】

(12) 建設水利用語分科の事例

- 経済建設と国防建設の並進しながら、7 ヶ年計画を成果的に遂行するため、基礎建設部門で膨大な課業を遂行する。我々は、荣誉あるこの課業を立派に成し遂げなければならないし、必ず成功させるのだ。このように、基礎建設の過程からこの部門の用語ももっと良く、もっと立派に、もっと美しく整えて、我々の党の言語政策をこの部門でも輝かせるため、貫徹しなければならない。【第 151 回】

(13) 社会科学用語分科の事例

- 我々が普通に話す時は、「学校へいく(학교에 가다)」、「学校にくる(학교에 오다)」、「いえにいく(집에 가다)」、「学校にかよう(학교에 다니다)」という。ところで、これ

⁸⁸ ここでは粉末状の農薬を意味している。

⁸⁹ 「撒布機(살포기)」と「収穫機(수확기)」という機械の機能を活かし言葉であるが、「ふりまけもの(뿌리개)」、「とりいれ(거둠기)」にすると機械というイメージより小さい道具を指す言葉のように思われる。また、農業で使われる言葉としては考えられない。

を学校では「登校する(등교하다)」、「下校する(하교하다)」のように漢字語を使う場合が少なくない。このような言葉を使っているので、「登校生(등교생)」、「未登校生(미등교생)」などの言葉が使われている。我々は何のためにこんな言葉をずっと使わなければならないのか。このような言葉を分かりやすい我々の言葉に整えなければならないと思う。

「登校する(등교하다)」→「学校に行く、学校に来る(학교에 가다, 학교에 오다)」

「下校する(하교하다)」→「家に行く(집에 가다)」

「登下校する(등하교하다)」→「学校に通う(학교에 다니다)」

「登下校時(등하교시)」→「学校に通う時(학교에 다닐 때)」

学校で使っている言葉として「登校生(등교생)」、「未登校生(미등교생)」のような言葉のように、単語の最後に「～生(～생)」をつけた言葉が何個ある。このような言葉もなるべく我々の言葉に整えなければならない。まず、次のような言葉に対する整える案を討論に出す。

「登校生(등교생)」→「(学校)きた学生((학교)온 학생)」

「未登校生(미등교생)」→「(学校)こなかった学生((학교)아니 온 학생)」

「転入生(전입생)」→「(移して)もらった⁹⁰学生((옮겨)받은 학생)」

「転出生(전출생)」→「(移して)おくれた学生((옮겨)보낸 학생)」

「通学生(통학생)」→「いえからかよう学生(집에서 다니는 학생)」

「新入生(신입생)」→「あらたな学生(새 학생)」【第 296 回】

⁹⁰ 「(移して)もらった学生((옮겨)받은 학생)」の中で、「받은」は「もらう」という意味であるが、朝鮮語において通常の語用では違和感がある。日本語の「～してもらう」の語用に近いが、「받은(もらう)」という言葉使いたいが日本語的な語用に影響されているかも知れない。

- 我々の学校では、新聞に掲載された「我々の言葉の整え方」を実際生活と学生教養事業に使っています。全体の教員たちが、分かりやすい我々の言葉を選んで使うようにした結果、教員の説明がさらに分かりやすくなったと学生たちもとても喜んでいますが。特に、「我々の言葉の整え方」は、国語教員たちにとっても役に立ちました。【第 87 回】

(14) 水産海洋用語分科の事例

- 「寒流(한류)」は、冷たい水が水平方向に流れることを意味するので、「冷たい水の流れ(찬물흐름)」に整えられると思う。この言葉を「冷たい流れ(찬흐름)」にしようとする意見もあった。海がいろんな力の作用によって生じる「重力流(중력류)」は、粒子の重さが作用して生じる流れを意味するので、「おもさながれ(무게흐름)」に整えられると思う。

【第 268 回】

- 「洪水(홍수)」は「おおみず(큰물)」という我々の言葉を見いだして使おうとする。それは、洪水という言葉のかわりにおおみず(큰물)がすでに広く使われているため、変えてつかっても意味は変わらないと思う。【第 30 回】

- 「河川流(하천류)」は、「かわながれ(강흐름)」に整えよう。その内容から見ると、川で水が流れている現象を意味するので、「かわみずながれ(강물흐름)」にすることもできるが、普通は「かわがながれる(강이흐른다)」というので、「みず(물)」を入れないで、「かわながれ(강흐름)」にした方が短くて良いと思う。これに関する言葉である「年流量(년류량)」は「ひととせのながれ量(한해흐름량)」、「実流量(실류량)」は「じつのながれ量(실지흐름량)」にすることができよう。【第 30 回】

- 海の深さを見せる地図を「水深図(수심도)」にするので、これを「みずのふかさずめん(물깊이지도)」にする。【第 267 回】

(15) 文学芸術用語分科の事例

- 「音区(음구)」は音域のある部分、つまり高くて低い音が占める部分を意味するので「おとのど(소리목)」にしようとする。これは「おとの幅から占めるところ(소리너비에서 차지하는 대목)」という意味で整えたのである。楽器の音や人の声には、「高音区・中音

区・低音区(고음구 중음구 저음구)」があるが、これは、「たかいのど・なかのど・ひくい
のど(높은목 가운데목 낮은목)」にしようとする。【第 10 回】

- 「打楽器(타악기)」を「打つ楽器(칠악기)」にするよりは、棒で叩きながら音を出すので「ぼう楽器(채악기)」にしよう。【第 274 回】
- 「水中撮影(수중촬영)」は、人が映写機に潜水装置をして、水の中に入って撮ることを意味するので、「みずなかどり(물속찍기)」に整えられると思う。【第 534 回】

(16) 電気通信用語分科の事例

- 「保護被覆(보호피복)」とは、電線やそこにかぶせたものを保護するため、かぶせた物質を意味する。例をあげると、電力ケーブルに鉛の皮と鋼鉄の帯を保護するため、黄麻にピッチを塗るかぶせたものである。したがって、これは「保護かぶせ(보호씌우개)」にするのはどうかと思う⁹¹。【第 539 回】
- どんな導体に十分に流すことができるもっとも強い電流を「許容電流(허용전류)」という。これは、結局、その導体が十分に耐えられるもっとも大きい電流であるほど「たえられ電流(견딜전류)」に整えるのはどうかと思う。【第 539 回】

(17) 商品名用語分科の事例

- 「方眼紙(방안지)」の場合、「ますめ紙(모눈종이)」にするのも良いけれども、より意味をはっきりするため、「四方ますめ用紙(네모눈종이)」にした方が分かりやすく良い。【第 277 回】

⁹¹ 「保護被覆(보호피복)」という言葉は電気部門で使われる用語であるが、「被覆」という言葉を「かぶせ」という固有語に整え、「保護かぶせ(보호씌우개)」にすると、どのような分野で使われる言葉であるのかの見当がつかなくなる。

- 「いろ(색)」という言葉と「いろ(빛)」という言葉は、最初に提起したように両方使うのも良いけれど、学生たちが使うクレヨンには一つに統一して使った方が良いと思う。たとえば「朱色(적색)」を「^{あか}紅いろ(붉은색)」にするか、「赤いろ(빨간색)」にするか、クレヨンの色を書く場合は、美術部門とも連携して、全国的にどこの工場に作っても統一するようにしたほうが良いという意見があった。【第216回】

(18) 林学用語分科の事例

- 「落葉(낙엽)」は主に「おちたは(떨어진잎)」を表すので、「おちたは(떨어진잎)」にすることができるが、木の葉や花に対しては「ちる(지다)」という言葉がもっと似合うので「ちったは(진잎)」に使っても良いと思う。「^{らくよう}落葉がちる(낙엽지다)」という言葉は時によっては「かれはがちる(가랑잎이 지다)」ともいえる。【第32回】
- 林学部門では、生きている木を「樹木(수목)」という。「樹木(수목)」は、我々の言葉で「木(나무)」に整えられると思う。しかし、「樹木(수목)」を「き(나무)」にすると、山に生きている木と、切られた木と区分することはできないという意見がある。実際の生活では、両方「き(나무)」と言っているし、話や文章の前後関係でその違いはすぐ分かると思う。また、我々は「樹木を切る(수목을 베다)」や「樹木をつちかう(수목을 가꾼다)」、「樹木を植える(수목을 심는다)」とは言わないし、この時にも「き(나무)」という。これをみると、漢字語をそのまま使うのは、我々の言葉の発達を防ぐだけである。木の種類を意味している「樹種(수종)」を「きの種(나무종)」または、「きの種類(나무종류)」にした方が良いと思う。【第122回】
- 冷たい風や雨風が吹くところで一定の施設物を保護する森を「防風林(방풍림)」といい、冬に風に吹かれる雪から鉄道や車道などを保護する森を「防雪林(방설림)」という。これらを「かぜふせぎもり(바람막이숲)」、「ゆきふせぎもり(눈막이숲)」に整えよう。山林を害するマツケムシのような虫を防ぐための方法の一つとして該当の虫が食べられない

木を植えるが、この森を「防虫林(방충림)」といい、山火事を防ぐために火にあまり燃えないあずさの木のような木の種類を植えるのを「防火林(방화림)」という。これらも「むしふせぎもり(벌레막이숲)」、「やまかじふせぎもり(산불막이숲)」に整えよう。【第 26 回】

3.4 《我々の言葉の整え方についての紙上討論》の意図

以上のような事例の列挙を通じて痛感できるのは、各事例で採りあげられる言葉へ飽くことなく繰り返される「わかりやすさ」の追求である。あたかも「わかりやすさ」は朝鮮語に借用されている漢字語に隠されていると訴えるように、ひとつひとつの語彙が腑分けされ、そこに「良い」か「良くない」かの価値判断が下される。「我々の言葉」を整えることとは、わかりやすさの過剰な追求であり、この譲りがたい執着を金日成は第2次教示のなかで「殲滅戦」と喩えている。

この事業は人民全体の日常的な言語生活と関連しているので、主観的な欲望だけをもち、キャンペーン的にすることは絶対にいけません。漢字語や外来語を一挙にたくさん直そうとせずの一つ一つ直していくような殲滅戦の方法で漸次的に直していかなければなりません⁹²。

このように国家行政の指導部から「漸次的な殲滅戦」が仕掛けられているおかげで、北朝鮮の国語醇化運動の現場には、社会のさまざまな階層の人びとがきわめて個人的な言語世界を持ち寄る多声的な議論の空間ができあがることになった。そこで生み出されたのは徹底した言語的平等の理念である。「我々の言語」が北朝鮮に生きるすべての人びとにとって「平等」で「わかりやすい」言語であることは、やはり金日成の教示によって絶対的的使命として「事前に」定式化されていた。

言葉を少しずつ計画的に直して、すべての人びとが必ずそれを使うようにしなければなりません。そして言葉に磨きをかけて意義ある用語を作りあげなければなりません。そうせずに理解ができないものを作るならば、人びとがそれを受け入れずに元の言葉をそのまま使うこととなります。したがって、この事業は大変慎重にしなければなりません⁹³。

しかし北朝鮮の徹底した言語的平等の理念が、たんなる「上から」のお仕着せであったと結論を急ぐわけにはいかない。軽工業用語分科の各事例を見たとおりに、それは北朝鮮社会における家庭と女性との関係を根本から変えようとする先進性を垣間見ることができるからである。それは当時の社会整備と同調関係にあった。「女性の家事を減らすために一

⁹² 「第2次金日成教示」：203.

⁹³ 同前.

番重要な課業は、食料加工工業で新たな革新をおこすことである」との指導部の建国理念は、法的整備でも言語的整備でも平等だったのである。北朝鮮では、1946年7月30日「男女平等法令(남녀평등법령)」が制定されている。この法令は、男女間の封建的な性役割の区分を廃止し、平等な男女関係を規定する内容をもっていた。これを通じて、北朝鮮で女性は男性と同じく、平等に社会に参加するだけでなく、政治・法律的にも同等な権利を持つことになる。また、1947年1月には、強制的な結婚や重婚の禁止のように封建的な家族制度を革新するため「北朝鮮の封建遺習慣残滓を退治する法令(북조선의 봉건유습잔재를 퇴치하는 법령)」が公布されている⁹⁴。女性の社会的な参加を保障するため全国的に託児所が設立され、北朝鮮の女性労働力は飛躍的に増加し、1953年には、全体労働力人口の26%、1961年には32%にもものぼっていた⁹⁵。1960年代の後半に入ってから女性の政策として、「家庭の革命化」・「女性の革命化」・「労働階級化」の三大革命課業が与えられる。初期の女性は、新たな国家と社会主義を建設するため、すでに労働階級の一員として平等な立場として位置づけられていたのである。1960年代に入ってから、金日成の「主体思想」を確立するため動員させなければならない重要な役割となる。北朝鮮の女性は、男性と平等な労働をするとともに、家庭の中では、子供を共産主義的に武装させる教育の役割を担当し、女性の役割が新たに浮かび上がるようになっていく。

しかし分析をもう一步進めて、《我々の言葉の整え方についての紙上討論》で模索された「平等」で「わかりやすい」言語とは、現実的にどのような働きをもたらすのかを考えなければならないだろう。第204回の「贈呈」の整え方の事例にて、「実際、話し言葉では使わないし、若者たちにとって分からない漢字音を書くことに何の意味もない」と断言されたように、漢字語や外来語がなにゆえにわからないものであるのかとの問いには、聞いてもわからないという自己撞着的な答えしか求められなかった。それは朝鮮語に借用された(おもに)漢字語の音声と意味との乖離が、漢字表記の廃止のために決定的になってしまっていたからに他ならない。漢字語とは漢字の「表意文字」の機能を前景化した語彙であり、字体を表記し読むことに言語的な役割が割り振られていた。解放後の言語政策の結果、北朝鮮における朝鮮語表記法が「理想的な表音文字」と広められた「我々の文字(우리글)」専用に定められたとき、「わかりやすさ」の規準は「発せられた言葉の音声の意味を伝達しうるか」否かの一点に集約された。この「紙上討論」のテキストを分析するとき頻りに遭遇するのは、「耳になれない」とか「耳障りになる」という表現である。その

⁹⁴ 박현선 (1988) 『북한 여성의 지위와 역할에 관한 연구』 이화여자대학교 사회학과 석사논문.

⁹⁵ 이태영 (1987) 『북한여성』 서울:실천문학사.

聞く耳にとっての「わかりやすさ」をもっとも裏切るのは「わからない漢字音」を響かせる漢字語だったのである。

朝鮮語における漢字語の解剖と固有語への置き換えは、副次的に学術的専門用語の壁を解体させ、広範囲な分野で《我々の言葉》をもちいる人びとに「聞こえ」を中心とした「わかりやすさ」と「平等」をもたらした。しかし、そこに見え隠れするのは言語標準化の裏面に必ず姿を表す枷の存在である。みずからの用いる言葉のひとつひとつに国家機関から「聞こえるか、聞こえやすいか」を問われる「整え方」とは、応答というかたちの服従を余儀なくされる。長年にわたる「紙上討論」とそこに個人的な言語感覚を持ち寄った「人民」たちは、あたかも受信機の調整のように、言語を調整されていったと考えることも可能であろう。

北朝鮮の「国語醇化運動」は、大衆を「主体」として自発的な参加を大々的に要求してきた。しかしそれはある意味において「下から」の言語運動を装った統治体制の「下支え」であったのかもしれない。「文字を読む言葉」である漢字語ではなく、「話を聞く言葉」である固有語を使うことに重点を置いた言語の醇化政策は、リテラシー獲得の場において「書き取り」より「読み取り」に焦点を当ててきた「文盲退治」の方針と同様であると判断される。すなわち北朝鮮の国語醇化運動において、人びとは言語使用の「主体」でありながら、言語政策の「客体」として必要とされていたのである。

4. おわりに

第2章では、第1章の北朝鮮における言語政策史の中で最も特徴とみられる「言語醇化」に焦点を当ててアプローチした。

北朝鮮の文献によると、「言語醇化」を1945~1953年、1954~1963年、そして1964年以降の時期に分けられる。本章では1964年以前、すなわち金日成教示が発表される前に行われた「言語醇化」は脱植民地化のために止むを得ず、設けた言語政策の一つであると捉えた。1964年以降に行われた「言語醇化」は「紙上討論」の内容を分析することで説明することができる。

北朝鮮における「国語醇化運動」とは、漢字語をなるべく簡素な固有語に「整えること」を意味すると同時に、日本語から借用された言葉を排除することであった。しかし、「朝鮮語抹殺政策」の記憶が歴史的経験というよりも個人の体験として記憶されていた1960年代にあたっては、「固有語と同じ意味を持つ外来語的な語彙が存在するのは、言語発展の必然的な要求に応じて生まれた言葉ではなく、日本植民地によって作られた作為的なもの

である」ゆえに「古い社会の遺物を清算するのは、時代の切迫な要求である」と断定する金日成の発言に、計測しがたい社会的共感が付帯していたことは容易に推測しうる。共通の時代経験（「朝鮮語抹殺政策」）から生じた一種の言語的なナショナリズムを刺激しつつ、人々の自発的な参加を促す『労働新聞』の「紙上討論」に爆発的とも表現しうる一般読者からの反響が踊るさまは、新しい社会主義国家を建設する新しい「人民」を言語的に創造しようとする「上から」の意志と、誰もが識字能力を獲得し、自分たちの社会生活に、自分たちの言葉を、自分たちのために用いることについて本質的な自由を感じていた人々による「下から」の意志が組み合わさり形成された言語的ユートピア誕生の瞬間であったとも把握しうるだろう。

しかし、なおもこの「紙上討論」が「すべての人々に理解すること」を不断に要求しつづける「文化語」を創造する重要な契機であった点を強調せざるをえない。すべての人々に「平等」にもたらされる「聞いてわかりやすい」言語の創造は、「理解できない」選択肢をあらかじめ封鎖されたうえで「使わないことが許されない」言語の誕生だったのである。主体としての「人民」が成立する以前の段階から「人民」が国家の主体と位置づけられた北朝鮮の社会にあっては、政治原理的に「為政者と非為政者」という枠組みじたいがすでに無効であり、「使わないことが許されない」言語の誕生とはあらゆる人々がそれぞれに政治の最前線に「自発的に」動員されてしまう社会の誕生と同義であった。

1960年代の「国語醇化運動」および《我々の言葉の整え方についての紙上討論》では、固有語への「整え」は、日常生活でよく使われている漢字語や外来語からなされるべきであると提案された。しかし、2005年に出版された『조선어 어휘 통계학（朝鮮語語彙統計学）』⁹⁶では、依然として「我々の高頻度名詞構成に含まれている漢字語は人民たちの日常言語生活でもっともたくさん使われる語彙であり、我々の人民の一般的な生活面貌つまり、生活世態的なもの、社会政治的なもの、経済文化的なものをそのまま反映している」と分析している。

高頻度出現名詞に属する20個の語彙を順番どおり並ぶと、「もの、人民、ひと、ことば、党、革命、くに、こと、闘争、とき、うえ、しごと、まえ、ちから、め、生活、やつ、建設、どんむ⁹⁷、いえ」である。この中で「人民、党、革命、闘争、生活、建設、どんむ」であるが、語源的には漢字語であるが、完全に土着化された言葉であるため、人民の生活

⁹⁶ 사회과학출판사 (2005) 『조선어 어휘 통계학』, p. 193.

⁹⁷ 「どんむ」とは「동모(同謀)」のことで、「平等」を重視する社会主義体制のなかでもおもに連帯意識や朋友関係に重きをおいて使われる対人呼称である。

の中に馴染んだ言葉であるとの分析がなされている。つまり、人民の生活の中に「なじみ」、「土着化」された漢字語の場合、名詞としてそのまま使うことに「整え」の力は波及しなかったというのだ。しかし、本論文の「紙上討論」の過程を検証でも明らかなように、多くの読者が自分の語感を披露しあい、一見すると滑稽にも思えてしまうほどに奇抜な代替案を持ち寄って作り上げられた「我々の言葉」とは、ほんらい「なじみ」や「土着化」などという安易な分析語を寄せ付けられない言語的な崇高さを希求する努力だったはずである。

「我々の言葉」の創造に邁進する『労働新聞』には、「我々の言葉」を指導する金日成を称するために「親愛する金日成同志」、「偉大なる金日成同志」、「敬愛する金日成同志」など無数の言葉が文書に踊っていた。その「紙上討論」に飛び交う人々の熱意をくみ取るならば、「親愛する」は「いとしい」にしてもいいし、「偉大なる」という言葉は「すぐれた」に「整えられた」方が自然だったはずである。彼が「教示なさった」言語とは、かれが「おしえてくださった」ことばの方が「良い言葉」であったのかもしれない。人々の言葉はひとつのこらず「平等」に朝鮮語の本来のかたちに「整え」られながらも、なおも残された漢字語の聖域とは、「偉大なる」社会主義建設の領域であった。金日成の言葉は、この現実の本質をよく表現している。

仮に「地下闘争(지하투쟁)」という言葉をも「つちのなか闘争(땅속투쟁)」と直すこと〔……〕はいけません。このような漢字語までなくしてしまうと、我々の言語生活に、大きな混乱が起きることになります⁹⁸。

北朝鮮の「言語醇化」における最大の問題は、このような語彙選択における「平等のなかの不平等」にほかならない。人々を民族言語への情熱に駆りたてた崇高な「ウリマル(우리말)」、つまり「我々の言葉」の探求とは、逆説的なことに、まさに社会主義国家の政治的中心に置換不能な漢字語を温存させるための言語的統制のひとつだったとも捉えられるであろう。

⁹⁸ 「第2次金日成教示」：200.

【『文化語学習』の資料的性格】

1. 『文化語学習』の概観

『文化語学習』とは、創刊年である1968年から現在(2019年)に至るまで年に4回発行される語学雑誌である⁹⁹。この雑誌は、北朝鮮の標準語である「文化語(문화어)」が登場した1966年以来、「文化語」を普及させるために発行されたものであるとされている¹⁰⁰。創刊号によると、『文化語学習』には「文化語」に関する知識や語彙資料及び豊富な資料を様々な形式として掲載し、「文化語」普及と言語生活の中で起こりうる実践的な問題を分かりやすく書いたものであるとしている。

創刊30年を迎えた1998年の1号によると、『文化語学習』について以下のように評価している。

「...『文化語学習』は、全ての人民学校の学生から労働者、農民、知識人、家庭婦人に至るまで各階各層の広範な大衆に「文化語」についての知識を与え、彼ら皆が我々の言葉と文字を正しく使えるように「文化語」の宣伝普及者としての任務を成果的に遂行してきたとしている。...¹⁰¹」

『文化語学習』は、他の語学雑誌に比べて語学専門学術誌としての性格は薄く、言語生活における実践的な役割を果たしてきたテキストである。この雑誌の主な執筆者としては、言語学者及び学校教員・新聞記者・学生・俳優・放送員・工場や農場などの労働者等々である。また、各階各層の大衆誰もが読むことができる一般大衆誌に近い雑誌とも言えるだろう。

⁹⁹ 『文化語学習』が創刊された1968年1号から号数を数えてみると、実際の累計190号になるが、2015年9月に発行された『文化語学習』には「累計262号」と書かれている。これは、『文化語学習』という雑誌名で発行されたのは1968年であるが、『文化語学習』の前身とも言われている『말과 글(ことばと文字)』の発行部数も含まれた数であると判断される。

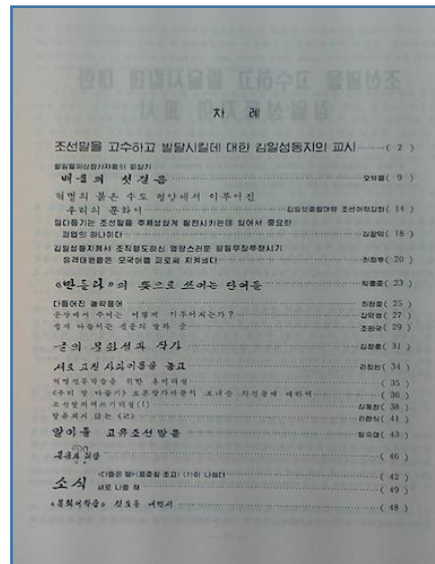
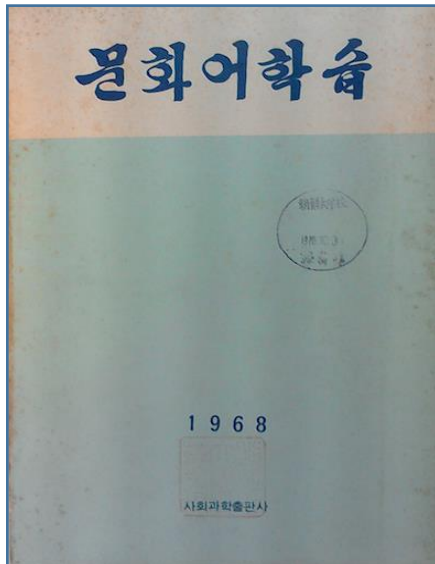
¹⁰⁰ 『文化語学習』1973年第1号によると、金日成が1968年2月22日に『文化語学習』を創刊することを教示したとしている。

¹⁰¹ 『朝鮮語文(조선어문)』1998年1号 p.34、ちなみに、1998年1号から2000年までは『朝鮮語文(조선어문)』と合併本として発行される。

2. 『文化語学習』の構成

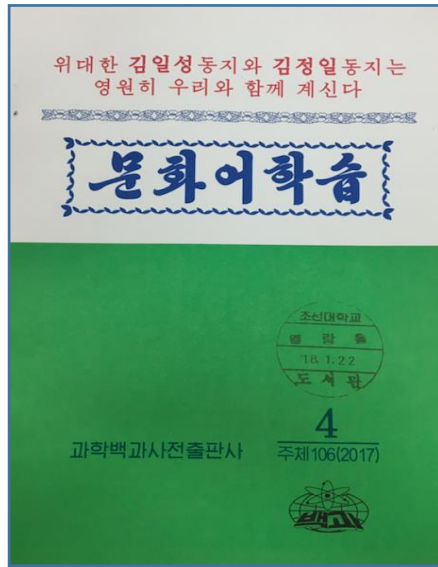
『文化語学習』は、北朝鮮で一般的に発行される学術雑誌と同じサイズである判型が B5 用紙(257mm*182 mm)の大きさである。ページ数は、1968年から1980年までは48ページ、1981年から2013年までは、64ページ、2015年から2019年現在は56ページで構成されている¹⁰²。記事数は時期によって異なるが、平均するとおおよそ30~40件である。

内容構成としては、1~2 ページには目次、3 ページからは金日成・金正日及び金正恩の教示がまずは掲載されている。指導者の教示や労働党の言語政策に関する記事や論文などは、目次の次のページに固定して掲載されているのが北朝鮮の雑誌ではよく見られる形式である。その次のページからは「学校での言語礼節」、「言葉の整え方」、「生活と言語」、「朝鮮語教育」、「文化語知識」、「問いと答え」、「文学芸術と言語」、「新書の紹介」などの言語に関する様々な分野の論文や記事が掲載されている。これまで長期間にわたり発行されている出版物であるため、時期によってその内容の構成も少しずつ異なっている。以下は、参考として創刊号(1968)と最近号(2017)の表紙と目次を図として記す。



【創刊号(1968年1号)の表紙と目次】

¹⁰² 2014年1~4号の『文化語学習』は入手できなかったもので、2015年から56ページであると記載した。



모두다 당 제7차대회 결정판월례모!

문화어학 주제106(2017)년 제4호 (무계 제271호)

차례

우리 문자의 우수성을 빛내어주신 위대한 수완 김철성동지님 부교수 안순남(3)
 18세기 말부터 19세기 초까지 김철성동지님 박승철(4)
 언어생활을 고상하고 문명하게 하는것이 우리 사회의 최고인 목표로 되게 하는데는 무엇이 우리의 문제 박사 부교수 정태준(7)

문학예술과 언어학

남을 따라 말하지 않 말중들의 울타는 신념과 의지를 노래한 거대한 언어학상 박사 부교수 정태준(10)
 - 가요 《향수송가》의 언어형상을 두고 -

문화어교육

국어교육에서 언어의 표현적특성을강조할 기초적논제에 통영필(12)
 나서는 말가지 문제 부교수 장영남(13)
 풍부한 언어자료와 직관력을 위유하여 교수된 언어교육 함철순(29)
 놓이기 위한 말가지 문제 통영필(16)
 학령전어린이의 언어습득과정 김승철(18)

우리 생활과 언어의경

어린 자녀들에 대한 언어교육과 송용준(19)
 어조들에서 지켜야 할 언어례절 김명철(21)
 순진외음에서 지켜야 할 언어례절 김명호(22)

우리말 지식

언어용법의 인지와 관련된 문제 교수 박사 양하서(23)
 문법에 대한 이해를 위한 사인에서의 뜻풀이문제 교수 박사 최영수(25)
 가문의 축에서 문 중용문과 그 유형 부교수 장영남(27)
 문장에서 감정표와 수평표의 언어현상에 대한 이해 함철순(29)
 조선어문장해석에서 전치어에 할 말가지 원칙 김은희(30)
 표준어표준에서 나서는 말가지 문제 김명철(32)
 조선어명령문의 문장론적특성 임태일(34)
 조선말 맞춤법의 원칙과 관련된 문제 강명세(38)

최초의법칙의 발견과 관련된 문제 이필(38)
 조선에서 다용어법언어학 안숙영(40)
 문명주의의 일관적특성 김성남(42)
 조선어의 계층문제 최영호(43)
 아동사에서 문학예술을 특색있게 창조하기 위한 방법 김성필(45)
 혁명적조선의 문체론적수업 한지향(47)
 구호의추진에서 온 우리 말 활용사적 통찰에 대한 이해 송수희(49)
 원각의기 다른 어휘표현의 가려서 최은정(51)
 지체의 관점에서 온 필수성문과 필수지에 대한 이해 김원길(52)

한자말에서 기원한 일부 어휘들의 어원 박준혁(54)

시상 부교수 박영호(11)
 어휘의 정확한 의미와 우리 생활 정일혁(39)
 《오로연어》 윤호정(41)

작가와 일화 부교수 최학(55)
 김희

가문의 축에서 우리의 어휘인가 (6)

표지 2면 가사 《장군님은 관양으로 영생하신다》
 표지 3면 예술영토 《구룡령일기》의 대사가운데서

【最新号(2017年4号)の表紙と目次】

2017 年 4 号 の 目 次 を 見 る と 、 「 文 学 芸 術 と 言 語 形 象 (문 학 예 술 과 언 어 형 상) 」 、 「 文 化 語 教 育 (문 화 어 교 육) 」 、 「 我 々 の 生 活 と 言 語 礼 節 (우리 생활과 언어례절) 」 、 「 我 々 の 言 葉 知 識 (우리말 지식) 」 、 「 語 源 と 由 来 (어 원 과 유 래) 」 、 「 常 識 (상 식) 」 、 「 作 家 と 一 話 (작 가 와 일 화) 」 、 「 ユ ー モ ア (유 모 아) 」 、 「 何 だ け 聞 い て く だ さ い (무 엇 이 든 지 물 어 보 십 시 오) 」 나 どのカテゴリー

一に 36 件の掲載文のタイトルが書かれている。目次の最後に、表紙 2 面と 3 面には北朝鮮の歌と芸術映画の台詞一部が書かれている。

発行部数については、どこにも掲載されておらず、他の文献においてもその情報は見当たらないので正確な部数を把握することはできない。しかし、「『文化語学習』創刊 30 年に当たって¹⁰³⁾によると、金日成が『文化語学習』を学校に一部ずつ配布しなければならない、と強調していること及び読者が「人民学校の学生から労働者・農民・知識人・家庭婦人に至るまで各階各層の広範な大衆」であること、さらに 1968 年から現在に至るまで欠号なく発行されている点から見ると、語学雑誌としてはかなり影響がある雑誌であることは間違いない。

3. 先行研究と『文化語学習』分析の意義

ホン・ヨンスク (1989)¹⁰⁴⁾は、『文化語学習』が北朝鮮の言語政策を収斂し、北朝鮮の言語変化を研究するのに最も役に立つ刊行物であると評価している。コ・ヨングン (2006)¹⁰⁵⁾は、『文化語学習』を創刊してから言語構造に関する研究は排撃され、「文化語運動」を展開することによって民族語の民族的特性を生かすため、大衆に普及する実用的な研究に力を注いでいるとしている。

北朝鮮における言語研究の中で『文化語学習』について言及している資料は多いが、実際『文化語学習』そのものを分析対象とした研究はチェ・ヨンラン (2010)、竹下 (2003) 以外ほとんどなかったと言っても過言ではない。

チェ・ヨンラン (2010)¹⁰⁶⁾は、1970 年代から 2000 年代まで『文化語学習』に掲載された国語教育及び文法教育に関連している論文形式の掲載文を分析することで、北朝鮮における文法教育の実態、文法教授に関する学習方法を明らかにした。これまでの北朝鮮における文法教育に関する研究は主に教科書を分析対象にしたが、『文化語学習』という語学雑誌を分析した点に意義があると思われる。しかし、「学校での朝鮮語教育」というカテゴリーの内容部分の分析だけでは『文化語学習』の全体の内容を分析したとは言い難い。また、分析期間の資料がかなり抜けていることで資料の限界を克服することはできなかったと思われる。

¹⁰³⁾ 『조선어문(朝鮮語文)』1998年1号, p.35.

¹⁰⁴⁾ 홍연숙 (1989) 「북한의 문화어와 언어정책」 『한국세계지역학회 학술발표논문집』.

¹⁰⁵⁾ 고영근 (2006) 「통일언어철학의 탐색방향」 『어문학』.

¹⁰⁶⁾ 최영란 (2010) 「『문화어학습』으로 본 북한의 문법 교육」 『국어교육연구』 25.

竹下（2003）¹⁰⁷は、『文化語学習』を1960年代半ばの政治的動向を背景として創刊された「偉大性教養」、「肯定感化教養」のための一雑誌であると分析し、北朝鮮における言語政策の変遷を「教化」という側面からとらえた。

竹下の分析でもあったように『文化語学習』は、1960年代半ばから政治的動向を背景として創刊された雑誌である。北朝鮮のすべての政策がその指導者及び朝鮮労働党が関与している点から見ると、「文化語」の登場が『文化語学習』という雑誌を誕生させたとも言えるだろう。したがって、1960年代半ばから「文化語運動」（北では、「語学革命」）とも呼ばれている言語運動において宣伝普及者としての役割を果たしてきた『文化語学習』の内容分析を通して、北朝鮮の言語を社会言語学的なアプローチをすることができると判断した。

¹⁰⁷ 竹下真一郎 (2003) 「北朝鮮における言語政策の変遷—雑誌『文化語学習』を中心に—」 『東アジア地域研究学会』 (10), pp.77-92.

第3章 言語醇化の視点から見た北朝鮮の地名-『文化語学習』の内容を中心として-

1. はじめに

本章は、北朝鮮の地名を言語醇化の視点からアプローチしたものである。北朝鮮における言語醇化は、解放直後から朝鮮語に残っていた日本語をなくすために始まった。北朝鮮の文献で、地名は整理しなければならない特殊語彙に該当し¹⁰⁸、言語醇化の対象となった語彙に当たる。しかし、これまで言語醇化の対象となる語彙を分析した研究を見ると、主に一般用語と専門用語のみに焦点が当てられ、地名が分析対象となったことはなかった。

北朝鮮の地名は、言語醇化と非常に密接な関係があると言えるが、その理由は以下のものを上げることができる。まずは、地名調査事業とマルダドムギ運動（言語醇化運動）が同じ時期に行われた点である。北朝鮮における言語醇化運動は解放直後から始まったと言えるが、全国的に最も活発に行われた時期は 1966 年以降からである。（第 1 章参照）また、地名調査事業も同時期に行われたので、本格的な地名の醇化が始まる時期とも言えよう。つぎは、一般的な言語醇化の原理が地名の醇化においても同一に作用しているという点である。

この二つの理由から、本章では北朝鮮における地名の醇化は 1960 年代半ばに行われた北朝鮮の言語醇化運動の一環として、換えなければならない地名と、新しく作った地名について言語醇化の観点から考察しようとするものである。分析対象となる資料としては、当時の北朝鮮における言語醇化運動を裏付けしてくれる語学雑誌『文化語学習』に掲載された地名に関する文を分析対象とする。

2. 先行研究

朝鮮半島で初めて地名研究についてその必要性を提起したのは、イ・ヒスン(1932)の「地名研究の必要」である¹⁰⁹。国語学者であるイ・ヒスは、古語を最も充実かつ豊富に提供するのには地名であるとした。彼は、地名は土地との固着性が強く、すぐ変わるもので

¹⁰⁸ 박상훈, 리근영, 고신숙 (1986) 『우리나라에서의 어휘정리』によれば、特殊な語彙としては、地名・(子供の) 人名・品種名がある。

¹⁰⁹ 이희승 (1932) 「지명 연구의 필요」 『한글』 第 2 号.

はないとして、これは地名の歴史性・有縁性・保守性という地名の特性を表すものである言及した。また、『삼국사기 (三國史記)』地理志に出た一部の地名から朝鮮語の語源を追跡し、地名研究の必要性についても提起している。

地名は、国語学・言語学・地理学・歴史学など様々な分野で研究されているが、朝鮮半島では特に国語学分野で最も活発にその研究が行われてきた¹¹⁰。その理由についてチュ・ソンジェ(2011:443)は、地名生成の由来と変化の過程、そして朝鮮語において漢字語の借用などを言語学的に追跡・整理し一般化及び理論化することが重要な研究対象となったためであると分析した¹¹¹。ト・スヒ(1994:23)は、地名も厳然たる言語であるため、地名研究の最適な者は言語学者であり、韓国の地名について研究することができる基本的能力を備えた人も国語学者しかないと述べた。このような理由から、韓国における地名研究は国語学での言語的アプローチから始まり、次第に文化政治的な事例研究¹¹²、地名の変化を政治地理学的に解釈するなど¹¹³、地理学分野でも多様な研究が行われるようになった。

韓国国内で、北朝鮮の地名研究はそれほど多いとはいえないが、これも主に国語学や地理学会で行われている。北朝鮮における行政区域改編とその地名の特徴について分析した研究としては、キム・ヨンベ(1994)、イ・ヨンテク(1994)がある。彼らは、固有語の行政地名について紹介し、これはとても特徴的であると分析した。北朝鮮を正しく理解するための案として北朝鮮の地名を分析したチェ・ソクジュ(2003)は、北朝鮮の教科書に出る地名を学年別・領域別・地域別に区分し、地名分布頻度を調査し、ここに表れる北朝鮮の地名の特色と変化について考察した。他に、開城地域を事例とし、北朝鮮地名の文化的な特性について分析したイ・ヨンヒ(2006)がある。キム・キヒョク(2013:28)は、南北分断以降の北朝鮮の地名政策について調べ、北朝鮮国内の学界で地名研究の動向を分析することで、北朝鮮体制の中で、政治イデオロギーの変化によって、地名がどのように変化し、解釈されているかについて明らかにした。彼は、北朝鮮の雑誌及び論文などの資料を分析し、地名研究が主に北朝鮮の言語学者によって研究されていると把握した。1990年代から地名を

¹¹⁰ イ・ドンジュ (1998:164)によれば、地名を研究対象とする地名学(toponymy)は、研究者の関心と観点によっては方言学他に地理学・歴史学・考古学・民族学・民俗学・社会学・政治経済学・説話文学などの研究者に至るまで欠かせない補助学問の資料となる。ここに地名の価値があり、研究の必要性があると述べた。

¹¹¹ ジュ・ソンジェ (2011)は、1990年代以降行われた韓国における地理学分野の研究動向についてまとめた。

¹¹² 김순배, 류제현 (2008) 「한국 지명의 문화정치적 연구를 위한 이론의 구성」 『대한지리학회지』 43(4).

¹¹³ 지상현 (2012) 「지명의 정치지리학: 행정구역 개편으로 인한 시 명칭 결정을 사례로」 『한국지역지리학회지』 18(3).

テーマにした学位論文が発表されつつあり、地名研究は過去とは異なる様相を見せているが、まだその影響力は少ないと指摘している。また、地名研究が主に言語学者によって行われていることについて言及し、そのために地名の由来が単純に吏読などの言語学的なアプローチしかなく、地理学的な特性については見逃しているという批判が提起され注目しているとした。

チェ・ジンム外(2017)は、過去と現在の北朝鮮地名の比較を分析し、北朝鮮式地名を固有地名に復元する方案について提示した。平星市（ピョンソン市）を分析対象としたが、約30%は旧韓末地名に復元することができると予想した。

ビョン・ヨンス(2017, 2018)は『겨레말큰사전 (キョレマル大辞典)』第25次南北共同会議¹¹⁴の論議以降に北朝鮮の両江道地域の地名形態素の意味論的な特性を明らかにしつつ、北朝鮮の地名の後部要素の類型について分析した。

これまでの先行研究では、韓国国内で北朝鮮の地名が様々な観点から研究されていることがわかった。本章では、北朝鮮の地名を言語醇化の観点からアプローチする。前述したとおり北朝鮮で言語醇化が最も活発に行われた1960年代半ばから現在まで発行されている語学雑誌『文化語学習』の内容分析を通して、北朝鮮の地名がどのように醇化されたかについて分析するのである。

3. 北朝鮮の行政区域改編と地名調査事業

3.1 行政区域改編

北朝鮮の地名について分析する前に、解放直後から行われた行政区域改編について述べる。北朝鮮では、解放以降から日本植民地の残滓を清算するために日本式の行政区域を改編し、日本語の発音で呼ばれた漢字地名を朝鮮語に換える方法をとった。当時日本は、行政区域を日本式にし、朝鮮の地名を日本式の漢字音読みで読んでいた。北朝鮮は1946年9月5日、北朝鮮臨時人民委員会の決定第71号を採択し、平壤の行政区域を区・里に区画

¹¹⁴ ビョン・ヨンス (2017:55)によれば、第25次南北共同会議は2015年12月7日から13日まで中国の大連で行われ、地名要素についての論議は初めてであるとした。その後、南北共同会議は行われていないので、地名要素についての論議もこれ以上行われていないといい、従って、両江道地域の地名だけを研究対象としたと述べた。「량강도 지명의 의미론적 연구-『겨레말큰사전』 제25차 남북공동회의 논의 대상을 중심으로-」 『겨레어문학』 59.

し、同年 9 月 16 日の北朝鮮臨時人民委員会の決定第 70 号である「平壤特別市の旧制度実施に関する決定書」を採択し、地名に残っていた日本語をなくすための政策をひろげた。

1947 年 4 月と 11 月、1948 年 7 月には北朝鮮人民委員会法令で江原道と平安南道の郡にある面の行政区域を改編し、地方の行政区域を構築した。1949 年 1 月の最高人民会議の法令によって、平安北道の 6 つの郡と咸鏡南道の一部を分離し、新しく慈江道と羅津郡を新設した¹¹⁵。

その後、1952 年 12 月 22 日の最高人民会議の常任委員会政令第 236 号を發表し、行政区域を改編するが、郡は従来の 91 箇所から 168 箇所に、里は 10,120 箇所から 3,659 箇所に整備され、郡の中心には 168 箇所の邑と 41 箇所の労働者区が新設され、これと同時に従来あった面が全て廃止された¹¹⁶。

1954 年 10 月には、最高人民会議の常任委員会の法令によって、一部の行政区域の統合と分離が行われる。主な内容としては、黄海道を南と北に分離し、新しく両江道を新設し、京畿道の開豊郡と板門郡を黄海北道に編入した。1955 年 2 月には、都市内の里を洞に変更し、1956 年 9 月から 1963 年 11 月 28 日まで 13 次にかけて地方の行政区域を改編した¹¹⁷。

このように解放以降から行われた北朝鮮の行政区域改編は、おそらく日本植民地支配の清算と朝鮮戦争のような特殊な歴史的状況と関連していると思われる。北朝鮮の行政区域において、最も大きな改編があったのは 1952 年だが、おおよそ 1960 年代半ばまでに行政区域が整理された。もちろん地域によっては今日に至るまで、一部の統合及び分離などの改編は続いている¹¹⁸。

3.2 地名調査事業

一般的に、行政区域改編は一つの地域が二つ以上に分離されたり、もしくは二つ以上の地域が一つの地域として合併したりすることをいう。このような改編によって、地名も変化することになるが、北朝鮮もそれは同様である。北朝鮮の文献によると、行政区域改編

¹¹⁵ 박명훈 (2005) 『조선지명학』 조선어학전서 35 평양: 사회출판사, pp.147-148の内容をまとめた。

¹¹⁶ 「故障の名称(地名)の主体的な発展のための懸命な 領導」 『文化語学習』 2005 年 3 号。

¹¹⁷ 박명훈 (2005) 『조선지명학』 조선어학전서 35 평양: 사회출판사, pp.149-150の内容をまとめた。

¹¹⁸ 一つの例として、咸鏡北道の1960年代以降の行政区域改編は、1960年1月、1961年12月、1963年11月、1967年8・10月、1970年7月、1973年8月、1974年5月、1977年9・11月、1981年10月、1985年7・12月、1991年7月、1993年1・9月、1994年3月、2002年2月まで全18回にかけて行われた。(『조선지명편람: 함경북도・라선시 (朝鮮地名編覽: 咸鏡北道・羅先市)』 参照)

は1946年から1983年まで約37年間110回も行われた¹¹⁹。特に、この中でも1952年の行政区域改編は「行政区域自体の変動からも大きな契機であっただけではなく、北朝鮮の地名の変遷においても事變的なきっかけである¹²⁰」と分析されている¹²¹。

1952年の行政区域改変は非常に画期的であったため、これによって新しく名付けしなくてはならない地名が多く出現した。次は、『조선지명학(朝鮮地名学)』(2005:149-150)に紹介された平安北道に新設された一部の郡名で、1952年の行政区域改編によってできた地名である。

【表1】1952年新しくできた地名『조선지명학(朝鮮地名学)』参照。

ピヒョン郡(ピヒョン面の名を使う)	デグアン郡(里の名を使う)
ウシ郡(ウシ面の名を使う)	チョンソン郡(里の名を使う)
チョンマ郡(チョンマ面の名を使う)	ウンジョン郡(野原の名を使う)
グァクサン郡(グァクサン面の名を使う)	ヒャンサン郡(ミョウヒャン山の名を使う)
ブクジン郡(ブクジン面の名を使う)	ドンリン郡(山城の名を使う)
ドンチャン郡(ドンチャン面の名を使う)	塩州郡(塩の産地として有名であるため、つけられた名前)
クジャン郡(里の名を使う)	

【表1】の事例を見ると、1952年当時新しくできた「郡名」を既存に使用していた「面」や「里」の名をそのまま使ったり、自然地形もしくはその地域の特徴と関連づけて名付けたりした。これは地名の特徴である「有縁性」が見られる地名で、一般的な地名の命名とあまり異ならない。ここで、地名の有縁性とは、地名が発生する根拠となる特定な事実と現象が地名に含まれていることを意味する¹²²。その当時新しく名付けた北朝鮮の地名を見ると、北朝鮮のみの特殊な命名というよりは、特殊語彙といえる地名の一般的な命名法とそう異ならないということがわかる。

しかし、「地名調査事業」が始まると、北朝鮮ならではの特殊な命名法が存在するようになる。その命名法については後述することにし、まず「地名調査事業」について記述する。

¹¹⁹ 조창선 (2005) 『조선지명연구』 조선어학전서 37 평양 : 사회과학출판사, p.320.

¹²⁰ 박명훈 (2005) 『조선지명학』 조선어학전서 35 평양 : 사회과학출판사.

¹²¹ 『文化語学習』 2005年 3号、ちなみに、北朝鮮文献では、地名を「코잔의名」と表現したりもする。これは、おそらく行政区域の地名を意味する言葉であると思われる。北朝鮮の代表的な辞書である『조선말대사전(朝鮮語大辞典)』の「코잔의名 : 고장이름」は、「一定の行政区域や個別的な地方の村、街、山、江、地形、地物などについての名。[=]地名」と定義している。

¹²² 김순배, 류제현 (2008) pp.599-619.

1960年半ば、大まかな行政区域体制が構築され、1966年からは本格的な地名調査事業が始まる。この事業に関する内容については『文化語学習』の2008年2号に具体的に言及されている¹²³。

その内容について簡単にまとめると、1966年9月27日内閣令第13号の「固有な朝鮮語地名を調査することについて」を採択したが、これを執行するための機構として党中央には全国地名事情委員会を、それぞれの道と市及び郡には地名調査委員会を、里には地名調査組を組織し、地名調査員のための政治実習を行い、各道に2人ずつ指導員を派遣した。地方においても地名調査事業と関連する実務講習を行い、2回にかけて方式上學と経験交換会を組織した¹²⁴。具体的に、実務講習には言語学者との談話と呼ばれる2回の金日成教示¹²⁵と1964年1月25日党中央委員会の政治委員会決定「朝鮮語をさらに発達させ、人民の言語生活に文化性を高めるために」と、1966年10月朝鮮労働党の代表者会決定書に地名調査事業と関連する部分を伝え、内閣令第13号の内容と意義、そして「地名調査事業と指導要綱」、「地名調査要綱」を解説した。この実務講習が終わった以降には新しい地名案について討議及び決定するため方式上學を組織し、官内の一つの里を決めて、それを一般化するための経験交換会を行った。他方、各道、市、郡では、地名調査事業が全人民的な事業になるようにし、この事業が人民大衆を呼び起こすために様々な形態の公演、解説談話及び放送を通してその必要性和調査方法について広く宣伝したという¹²⁶。これによって、地名の実態を調査し、その地名の由来、新しい地名案について人民と具体的に討議し、『地名調査報告書』を作ったという¹²⁷。

『文化語学習』に掲載された上記のような内容を見ると、地名調査事業はすでに以前からこの事業のための準備があったので、比較的短期間かつそして体系的に行われたと思われる。したがって、およそ1年半という決して長くない期間の間、「全国の全ての行政

¹²³ 「위대한 수령 김일성동지의 현명한 지도하에 우리 나라에서 성과적으로 이룩한 전국적인 지명조사사업」『文化語学習』2008年2号 pp. 6-7.

¹²⁴ 「方式上學」と「経験交換会」辞典的意味は次のようである。(『조선말대사전(朝鮮語大辭典)』参照)

【방식상학: 方式上學】: 一つの単位で模範を創造し、それを見本にして、労働者たちに政治事業方法や方式、先進技術の草案や導入などを教え、彼らの政治実務水準を高めることで全ての単位でもその模範を見習うようにする上學。

【경험교환회: 経験交換会】: 事業の発展のため、何らかの仕事をする過程から得られる成果と経験を相互に交換し、一般化するために集まる会。

¹²⁵ 金日成の第一次教示「朝鮮語を發展させるためのいくつかの問題」(1964年1月3日)、金日成の第二次教示「朝鮮語の民族的特性を正しく行かせるために」(1966年5月14日)。

¹²⁶ 『文化語学習』2008年2号 pp. 6-7.

¹²⁷ 『文化語学習』2008年2号 pp. 6-7.

地名と村、谷、川、河川、洞窟、岩、丘などの自然地名とその名の由来と意味、変遷過程について調査¹²⁸」することができたと思われる。

当時の地名調査事業を通して調査された地名は、約 50 万箇所であるがその実態は以下のようだ¹²⁹。

① 行政地名

郡レベルの地名の総数 214 箇所、里レベルの地名総数 4,508 箇所

行政地名には、固有語地名が 57 箇所であるが、この中の 36 箇所は内閣命令第 13 号¹³⁰を執行する過程で改正されたもので、残りの 21 箇所はもともと固有語地名であるが漢字表記によって漢字語地名として認識されたものである。

② 自然地名

自然地名 476,760 箇所

その中で、固有語地名 257,242 箇所

漢字語や、その他の外来語地名 199,385 箇所

固有語と漢字語が両方とも使われている地名 20,133 箇所

この調査では行政地名と自然地名に分けて、それぞれ固有語と漢字語、そして外来語となっている地名の数を数えたものである。おそらく、この調査が終わる頃の 1967 年 10 月 2 日最高人民会議常任委員会政令「朝鮮民主主義人民共和国における北半部の行政区域を直すのについて」が採択されるが、これに従って、地名を「固有語」に名付けることを優先したと思われる。

これは当時の北朝鮮における言語政策とも非常に密接な関係がある。すなわち、1960 年代半ば、北朝鮮では「我々の言葉の整え方についての紙上討論」という一種の言語醇化運動が全国的に活発に行われている時期である。日本語や外来語を固有語に置き換え、漢字語もできれば分かりやすい朝鮮語に整えることが北朝鮮における「言語醇化」の基本方針であり地名でもその方針は同様であった。

¹²⁸ 『文化語学習』 2011年2号 pp. 5-6.

¹²⁹ 조창선 (2005) pp.328-329を参考にした。

¹³⁰ 1966年9月27日、共和国内閣命令第13号「고유한 조선어지명을 조사할데 대하여(固有な朝鮮語地名を調査するのについて)」。

言語醇化でも基本方針とする金日成教示が、北朝鮮における地名の醇化についても基本方針となっているのである。

「...固有語を積極的に探して故郷の名前も我々の言葉で呼ぶようにしなければなりません。我々の言葉で呼ぶ方が漢字語で呼ぶよりもっと上品です。例えば、《赤い岩(붉은바위)》を《赤岩(적암)》という言い方のような漢字語に替えて置かならば、より良くなるのではなく、むしろつまらないものになります。現在、故郷の名前を漢字語と固有語の二通りで呼んでいるものが少なくありません。《石の橋の村(돌다리골)》を《石橋洞(석교동)》という呼び方がその実例です。固有語でできている地名を全部調査してできるだけ漢字語を使わないようにしなければなりません。我々が既に社会科学院に地名の調査を依頼しておりますが、その事業がどうなっているのか分かりません。これから固有語で呼ばれる地名の調査を全部行い、固有語についてはそのまま使い、地図ももう一度刷ればいいのです。行政区域の名前も内閣の決定で直すようにすればいいのです。」

-1966年5月14日の金日成第2次教示の一部-

地名でも漢字語の代わりに朝鮮固有語を使わなければならないし、漢字語と固有語が共存する地名である場合には、漢字語を使わないようにするということである。そうするためには、まず地名の実態を調査し、このためには内閣も積極的に参加することを指示している。北朝鮮では、金日成教示は非常に強力な政治的な影響力を持っているため、この教示以降に徹底的に地名調査事業が行われたと思われる。

4. 『文化語学習』の内容分析

『文化語学習』の本格的な内容分析に入る前に、地名の概念について調べた。北朝鮮で、辞典的な意味としては「地名=コジャン名(지명=고장이름)」である。地名の同義語である「コジャン名」は、「一定の行政区域や個別的な地方の村、街、山、川、地形、地物などの名¹³¹⁾」を意味する。韓国の辞書で「地名」は、「村や地方、山川、地域などの名」を意味するが、これに比べると北朝鮮の地名の意味の範囲が広い。北朝鮮の学者であるパク・ミョンフン(2005:11)は、地名の概念について以下のように定義した。

「地名とは、人々を囲んでいる地理的対象につけた名を意味する。言い換えれば、人が暮らしつつ、活動する周囲世界の地理的対象物として具体的には山、峠、峯、谷、丘、盆地、高原、野原、干潟、江、湖、堤、池、泉(薬水、温泉)、瀬、曲流、湾、半島、島などの全ての自然地理的対象と道、市、郡、区域、洞、里、労働者区、地区、区、邑など過去にあった全ての行政区域単位(別称、異称、別号)、村、広場、街、公園、遊園地、遊び場などのような名である。」

実は、北朝鮮の地名研究において、地名の範囲をどこまで規定しなければならないのかについて悩みがなかったわけではない。パク・ミョンフン(2005:13)によると、地名研究者たちの見解は主に二つの側面で議論されているとようである。つまり、地理的対象の名と行政区域によって区画した地域名だけが地名となるという見解と、地表面に存在する全ての自然地理的対象とともに人間が建てた建築物を全て含めて地名とする見解である。

本研究では、後者の見解に従って、広い意味としての地名の概念をとることにする。その理由は、『文化語学習』では地名だけではなく、自然地名と橋・街・建物などの名前をどのように名付けるかという文がありこれは単純な命名に留まらず、行政地名が橋・街・建物などに、もしくは自然地名が他の行政地名を名付ける際に影響を与えると判断したためである。したがって、行政地名と自然地名だけではなく、橋・街・建物などのような地物の名も分析対象とした。

¹³¹⁾ 『조선어대사전(朝鮮語大辞典)』によると、「地物」とは、「地表面に自然と存在し、または人工的に施設した全てのもの、すなわち森、江、道、池のようなもの」を意味する。

『文化語学習』に地名に関する文は全部で 105 件である¹³²。『文化語学習』が一般大衆を讀者とするので、地名に関する文も様々な形式で書かれているが、本研究では内容を中心として 1)地名の命名、2)地名の由来、3)外国の地名（韓国地名を含む）に分類した。次の【表 2】は、便宜上 10 年単位に区分し、掲載された文の数を表したものである。

【表 2】『文化語学習』の地名に関する文

年度区分	1) 地名の命名	2) 地名の由来	3) 外国の地名	合計
1968-1977	10	0	1	11
1978-1987	22	0	4	26
1988-1997	11	4	0	15
1998-2007	8	28	2	38
2008-2017	6	9	0	15
合計	57	41	7	105

【表 2】を見ると、地名の命名が 57 件、地名の由来 41 件、外国の地名が 7 件ある。『文化語学習』が創刊された 1968 年から現在（2019 年）に至るまで、地名に関わる文は続けて掲載されているようだ。

時期別の特徴としては、初期には、地名の命名と関係する文が大部分であった。新しくできた地名や橋、街、建物などの名をどのように名付けなければならないのかという悩みが含まれる文、固有語地名に対する愛着が見られる文が主に掲載されている。換えなければならない地名と、新しくできた地名についての具体的な内容は後述する。2000 年代に入ってから、地名の由来と関わる文が増加したが、内容としては主に由来・伝説あるいは、歴史的な事実によって作られた地名の紹介があった。外国の地名には、外来語表記に関する内容が主であった。

¹³² 1968 年から 2017 年までの『文化語学習』の総 199 券の中で資料収集することができなかった 1997 年 3 号、2003 年 2 号、2012 年 1~4 号、2013 年 1、3、4 号、2014 年 1~4 号、2015 年 1、4 号は除外した。

4.1 地名の命名

次の【表 3】には、地名の命名と関連する文のタイトルをまとめたものである。本研究では、自然地名、行政地名だけではなく、街・橋・建物などの地物まで地名の範囲としたため、地名をあえて区分しないで、換えなければならない地名と新しく作った地名を類型に分けて分析した。

【表 3】 地名の命名と関連する文のタイトルと年度及び号数.

	タイトル	年-号
1	美しい我々の国の固有語地名	1968-2
2	人民たちに馴染みのある固有語地名	1970-4
3	固有語で名付けた地名	1971-1
4	偉大な首領が自ら名付けた名前-玉流橋	1975-2
5	平壤市の地名にこもっている慈父の愛	1975-3
6	偉大な首領が自ら名付けてくださった名前-黄金山	1975-3
7	祖国の地図を広げて-地名にこもっている大きな恩情(平安南道)	1976-4
8	地名は、労働階級の志向にしたがって発展させなければならない。	1977-1
9	祖国の地図を広げて-永遠な愛の名	1977-2
10	橋の名について	1977-3
11	偉大な首領が自ら名付けてくださった名前-満豊湖	1978-1
12	名前をどのように名付けるのか? 地名	1979-2
13	名前をどのように名付けるのか? 街の名	1980-3
14	名前をどのように名付けるのか? 橋の名	1980-4
15	名前をどのように名付けるのか? 建物の名	1981-1
16	地下駅の名前を呼ぶたびに(随筆)	1981-1
17	固有語となっている地名	1981-3
18	新しく築く橋の名前をつける時は、《다리: 다리》と名付けなければならない。	1982-2
19	首都の旅館の名について	1983-1
20	紋繡(ムンス)街、その名の本当の意味について(随筆)	1983-2
21	慈父の首領が自ら名付けてくださった名前-チルゴルダリ、パルゴルダリ	1983-3
22	栄光の名前-青年公園	1984-2
23	栄光の名前-人民大学習堂	1984-3
24	新しく決めた金剛山の一部の名勝及び、解説対象物の名前	1984-4
25	橋の名前を分かりやすく、呼びやすく名付けるためには	1984-4
26	栄光の名-平壤と元山の間的高速道路を沿って	1985-1
27	随筆-橋名についての考え	1985-1
28	偉大な首領のお名前で輝く栄光の名	1985-2
29	金剛山に咲いた新しい名前	1985-4

30	栄光の名-延豊湖(ヨンブンホ)	1986-1
31	慈父の愛の中で日々に新しくなる地名	1987-2
32	固有語に名付けた新しい地名	1987-3
33	栄光の名-アンサンテク街	1988-1
34	祖国の歴史に永遠に輝く地名	1988-4
35	恩恵のある愛の中で咲いた地名	1989-2
36	栄光の名前-柳京ホテル	1989-4
37	不滅の名前《將軍峰》	1991-2
38	主体的に発展した我々の国の地名	1991-2
39	解放後、我々の国の江河川の名前から起きた変化	1991-2
40	我々の人民の民族的感情と時代的な要求にしたがって発展した地名	1992-3
41	恩恵のある愛の中で永生する名-ボブ里	1993-3
42	その名、妙香山ミョウヒャン山のサムキョントよ！(詩)	1994-1
43	牡丹峰亭閣の名について	1997-4
44	偉大な太陽の射光を抱いて永生する名前-ジュンヒョク里	1998-2
45	偉大な領導者金正日が自ら名付けてくださった地名は、我々の時代の志向と美学的な要求を最も完璧に具現した見本の地名	2002-4
46	偉大な首領と敬愛なる將軍の恩恵のある愛の中で毎日開花満開した地名	2003-1
47	地名にこもっている恩情深い愛	2003-3
48	我々の国における地名の単語造成的特性	2004-2
49	地名をどのように名付ければいいのか。	2005-1
50	地名の主体的発展のための懸命な領導	2005-3
51	偉大な首領と敬愛なる將軍の懸命な領導下において地名発展が成し遂げた自慢の成果	2007-2
52	偉大な首領金日成同士の懸命な領導下に我々の国で成果的に行われた全国的な地名調査事業	2008-2
53	先軍時代に新たに生まれた名前-《ガムサルグむら》	2008-4
54	地名の主体的発展にこもっている敬愛なる首領金日成同士と偉大な領導者金正日同士の不滅な領導	2009-2
55	我々の人民の民族的感情と時代的要求に合わせて発展した清津市の中の地名をおいて	2009-3
56	地名の社会的役割	2010-2
57	主体的な地名発展の新たな歴史を広げて	2011-2

1) 換えなければならない地名

第一、外来的要素

① 女真語地名

「독로강, 서수라리, 아롱천, 아롱성리, 아오지, 니망지리, 오로군, 옹기군, 주을」

「禿魯江、西水羅里、我弄川、我弄城里、阿吾地、泥望只里、五老郡、雄基郡、朱乙」

② 日本語地名

「대정봉」

「大正峰」

北朝鮮地名の中で、外来的要素というのは女真語、日本語地名である。『文化語学習』に紹介された地名だけを分析対象としたため制限的ではあるが、外来的要素としては女真語地名が主であった。『文化語学習』2007年2号と2008年2号によると、1966年に行われた地名調査事業期間に地名の由来を調査した結果、当時確認された女真語地名は10箇所あまりである¹³³。朝鮮語を表記する文字がなかった時期に漢字を借りて、その音だけを借用した地名がそのまま伝承されたのだ。漢字の意味とは関係なく、音だけを借用したもので、朝鮮固有語として扱われた可能性がある。

ちなみに、女真族の言葉である女真語は満州語もしくは満州語の祖語に近い言語であると知られている。現在は死語となっているが、解放当時に女真族村が存在していたことから見て、北朝鮮の北部方言にも影響を与えたと思われる。文献や資料として女真語の痕跡が見られるのは地名である。

¹³³ チョ・チャンソン(2005)は、全国地名調査資料によると、女真語地名は18箇所あったという。以下は、チョ・チャンソン(2005)と「偉大な首領と敬愛する将軍の懸命な領導下に地名発展における自慢の成果」『文化語学習』2007年2号「偉大な首領である金日成同志の懸命な領導下に我々の国で成果的行われた全国的な地名調査事業」『文化語学習』2008年2号を参考にした女真語地名である。
禿魯江→將子江、潼關里→長安里、斗彦洞→海岸洞、西水羅里→恩恵里、雙浦1洞→製鋼1洞、雙浦2洞→製鋼2洞、我弄城里→藥水里、我弄川→藥水川、阿吾地→鶴松里、泥望只里→樂園里、五老郡→榮光軍、梧毛老里→新清里、雄基郡→先鋒郡(現在、羅先市)、朱乙→溫堡里。

当時、明らかになった女真語地名をすぐ改称したところもあるが、最終的には1985年7月に全面的に整理された¹³⁴。女真語地名は、女真族が居住していた咸鏡北道と咸鏡南道、そして慈江道のような北部地域に分布されていた。

日本語地名には大正峯があるが、これは白頭山で最も高い峯の名で、日本植民地時代に当時の年号からつけられたものであると言われている。『文化語学習』1991年2号によると、いつからか「兵士峯」と呼ばれたが、1963年8月初め「兵士峯」は正しくないと、「将軍峯」と呼ぶほうが正しいとした¹³⁵。「将軍峯」の「将軍」は、金日成を意味する言葉である。

北朝鮮で醇化しなければならない語彙の中の 하나가 外来語であったが、地名においても同じく女真語地名と日本語地名を駆逐するのは当然のことで、比較的早い時期に改称された。

第二、「封建儒教的・宗教迷信的¹³⁶」

「경원군, 길상리, 궁서동, 당현리, 령무동, 룡마동, 령호동, 룡흥강, 룡흥동(리), 반룡산, 봉황리, 본궁동, 사인정, 사직동, 생왕리, 어궁로동자구, 영흥군(읍), 운룡리, 장안리, 중량리, 청룡리, 치마동, 탑동, 한왕리, 향교리」

「慶源郡、吉祥里、宮西洞、堂峴里、靈巫洞、龍馬洞、龍湖洞、龍興江、龍興洞（里）、盤龍山、鳳凰里、本宮洞、舍人亭、社稷洞、生旺里、御宮労働者区、永興郡（邑）、雲龍里、長安里、中陽里、青龍里、馳馬洞、塔洞、漢王里、郷校里」

朝鮮時代の王あるいは、封建社会と関連している地名、もしくは迷信と関連している地名は全て排除しなければならない対象であるが、北朝鮮では「封建儒教的・宗教迷信的」と表現している。詳細に区分なく使用しているので、本章でもそのまま引用した。

ここに属する地名としては、例えば、「吉祥里」は、「吉祥寺」というお寺があるところで、「永興郡（邑）」は朝鮮王朝を初代王であった李成桂が生まれたところだそうだ。

¹³⁴ 박명훈 (2005)によると、女真語地名は1981年6月と10月、1985年7月に全面に改称されたと言われる。

¹³⁵ 「불멸의 이름-《장군봉》」, 『文化語学習』1991年2号.

¹³⁶ 『文化語学習』で何回も言及されたため、本研究でもそのまま引用した。

また、「雲龍里」は龍が雲に乗って天に昇るという伝説に根拠があるし、「塔洞」は塔を立てて祈雨祭を行ったところだと言われている。

堂峴里、龍馬洞、龍興洞、鳳凰里、社稷洞、長安里、中陽里、青龍里、郷校里などのような地名は、韓国にもあるが、韓国では換えずにそのまま使っている。これに比べて北朝鮮では、換えなければならない対象であったので韓国とは対照的であるといえるし、北朝鮮では地名に積極的に介入し、改称しようとした。なぜなら、北朝鮮で新しく志向する統治イデオロギーに反する地名であるためである。

第三、非優美性

「북천강, 알봉, 어둔골, 적굴동, 집선포, 퇴조군(읍), 황초평, 105 층호텔」

「北川江、アル峰、オドオンゴル、赤窟洞、ジプソンポ、退潮郡(邑)、黄草平、105 層ホテル」

言語醇化の基本原則の一つは「美しさ」、すなわち「美化」ともいえる。「美しい我々の言葉を花咲かせよう！」という言葉は、北朝鮮の言語醇化においてよく見受けられる文であり地名においても同じである。「オドオンゴル、赤窟洞、アル峰、退潮郡(邑)、黄草平」のような地名は、「名が良くない」もしくは「意味がよくない」という理由で換えなければならない対象の地名である。つまり、語感が良くなく、肯定的な意味ではない場合である。

ここには、「ジプソンポ」のように地名をつけるようになった根拠や理由がわからず換えたケースもあるし、現在「北川」に改称した「北川江」のように意味が重なり換えたケースもあった。「黄草平」と「105 層ホテル」をそれぞれ「黄金平」と「柳京ホテル」に改称したが、これについてはより意味のある美しい名付けをしようとしたと思われる。ここに該当する「非優美性」についての価値判断は、次の第四「首領性」と関係がある。

第四、首領性

「보통강역전가로, 정개골(정가골), 제 2 대동교, 제 3 보통교, 팔동교, 형제폭포」

「普通川駅前街路、ジョンゲゴル（ジョンガゴル）、第二大同橋、第三普通橋、八洞橋、兄弟瀑布」

北朝鮮で最高指導者の言葉は、法のような効力を持つといっても過言ではない。本章で「首領性」という言葉は言語醇化の基本原理に適用されないすなわち、最高指導者の言葉と文によって排除され、受入れなければならないなどの決定が下されることを意味する言葉として使った。ここで、最高指導者とは、金日成、金正日をさし、「首領性」に該当する地名は理由一切に関わらずで、排除され、もしくは受け入れなければならないものである。

金日成の言語学者との談話、つまり、金日成教示で「교:橋」は「다리:はし」に換えなければならないと明示している。したがって、「八洞橋」で「八洞」は固有語である「パルゴル」に、「교:橋」は「다리:はし」[ダリ]にして、「パルゴルダリ」にしなければならないということである。「普通駅前街路」は「あかいまち」に、「ジョンゲゴル(ジョンガゴル)」は、「バムナムゴル(栗のきの村)」に換えることを指示したそうだ。「兄弟瀑布」も金正日政権の時期に「二仙男瀑布」にすることを指示したそうだ。したがって、理由を問わず改称された。「第二大同橋」、「第三普通橋」も換えなければならない地名として、それぞれ「玉流橋」と「萬壽橋」に改称した。

2) 新しく名付けた地名

『文化語学習』1981年3号には、固有語地名を積極的に生かして使うことについての文が掲載された。固有語地名を使わなければならない理由は、「民族的特性をさらに生かし、発展させていくことになるため」であるといい、漢字語地名は「固有語地名が活発に使われることを妨害し、言語性格において複雑性をもたらす」といった。「漢字語地名は、あくまでも朝鮮語の中に染み込んだ外来的要素」と言いながら、漢字語地名を徹底に検討し、正しく直さなければならないと指摘した。

また、ある地域について固有語と漢字語がある場合には、固有語を基本とし、新しく名付ける場合には三つの点に注意しなければならないとした。第一、現代性の要求を徹底的に貫くこと、第二、民族的な特性をよく生かすこと、第三、言語の文化性を保証することである¹³⁷。これは、地名を名付ける時だけでなく、一般語彙を命名するときも、言語生活で守らなければならない礼儀にも該当するものである¹³⁸。

¹³⁷ 「고유어로 된 지명」 『文化語学習』 1981年3号.

¹³⁸ 「女性たちの礼儀のある儉朴な言葉遣い」 『文化語学習』 1976年 3号によると、北朝鮮の女性の言語礼儀においても、守らなければならないことについて言及されているが、第一、礼儀のある言葉遣い(言

本章では、新しく名付けた地名を民族的要素、統治イデオロギーに関する地名、首領性に分類した。該当する内容に重複はあるが、最も特徴的部分が現れたと判断し以下のように分類した。

語の文化性)、第二、民族的な情緒が溢れる言葉遣い、第三、現代の要求に合わせて洗練された言葉遣い、となっており地名の名付けとそう変わらない。

第一、民族的要素

地名を「固有語」に名付けることを意味するが、主にその地域が位置している所の特性、特産物などの名及び該当するところの地域方言や自然地名をそのまま使う場合が多い。ここに該当する地名には、「民族的要素」が最も顕著に現れるといえる。

① 行政地名

「갈골동, 갈림길동, 강안동, 검은금동, 고개동, 과일군(동), 금바위동, 긴골리, 긴마을동, 긴재리(동), 네길동, 논벌리, 능금동, 단풍리, 독골동, 동안동, 두루동, 두무동, 등매동, 대동문동, 련못동, 매봉동, 삼골동, 샘물리(동), 선바위동, 섬안리, 세거리동, 세골리(동), 세길동, 새우물리, 소나무동, 솔모루동, 솔밭리, 앞새동, 옷매동, 한우물리」

「カルゴル洞、カルリムキル洞、カンアン洞、コムウクム洞、コゲ洞、くだもの郡(洞)、クムバウイ洞、キンコル里、キンマウル洞、キンジェ里、ネキル洞、ノンボル里、ヌンクム洞、ダンブン里、ドッコル洞、ドンアン洞、ドウル洞、ドウム洞、ドゥンメ洞、デドンムン洞、リョンモツ洞、メボン洞、サムコル洞、セムムル里(洞)、ソンバウイ洞、ソムアン里、セコ리洞、セコル里(洞)、セキ르洞、세우ムル里、まつのき洞、솔몰리洞、솔밭리、아프세洞、우쯔메洞、한우물리」

② 自然地名

「가리폭포, 거품소, 곧은폭포, 바리폭포, 방울폭포, 복숭아소, 비단폭포, 신타래폭포, 세갈래폭포, 은실폭포, 고래등바위, 곰바위, 무대바위, 붓끝바위, 비둘기바위, 오리바위, 천리마바위, 책바위, 초대바위, 피바위」

「カリ瀑布、あわ沼、ゴドゥン瀑布、バリ瀑布、バンウル瀑布、もも沼、비단瀑布、카세이트瀑布、세칼레瀑布、운실瀑布、코레드ゥン岩、コム岩、ム데岩、브ク쯔岩、비드ゥ르기岩、오리岩、쵸논리마岩、첼크岩、쵸예岩、피岩」

『文化語学習』に地名に関する文が掲載され始めたのは「美しい我々の国の固有な朝鮮語地名」(1968年2号)である。ほぼ創刊時点から固有語地名を見出して、新しく名付けることについての悩みを垣間見ることができる。これは一般語彙から固有語を見出し、新し

く名付けることについての基本方針と同様の現象である。語彙の種類が異なるだけで、固有語語彙への愛着あるいは執着は地名においても見られるのであろう。

解放直後には、朝鮮語の特性上、自然地名には固有語地名がたくさん残っていたが、行政地名には固有語地名がなかった。韓国では、最近になってから地名を固有語地名に名付けようとする動きはあるが、北朝鮮に比べるとまだ不十分な状況である。北朝鮮で自然地名だけではなく、行政地名においても固有語地名を積極的に受け入れているのは、韓国とは違う様相を見せていると言えるが、この点に対して韓国の学者たちは肯定的な評価をしている¹³⁹。

第二、統治イデオロギーに関する地名

ここに該当する地名は、北朝鮮における統治イデオロギーに関するもので、人名地名と北朝鮮社会主義に関する地名に区分した。

① 人名地名

a. 「김정숙군, 김형권군, 김형직군, 김책군(시), 김제원리, 룡진구, 리수덕리, 보부리, 수복동, 안길리, 영웅리¹⁴⁰, 원진리, 준혁리, 학송리, 경신리¹⁴¹」

「金正淑郡、金亨權郡、金亨稷郡、金策郡(市)、金濟元里、龍津区、李壽德里、寶富里、スボク洞、安吉里、英雄里、ウォンジン里、ジュンヒョク里、ハクソン里、慶新里」

b. 「강건거리, 안길거리, 안상택거리」

「姜健通り、安吉通り、安尙澤通り」

¹³⁹ 이영택 (1994)は、韓国には「ソウル」以外の邑レベル以上の都市は全て漢字地名であるのに比べて、北朝鮮には朝鮮固有語地名が多いのは長所であるといい、김영배 (1994)は、北朝鮮における地名の一番大きな特徴は、固有語地名があることであるといいながらこれは朝鮮半島における地名の歴史において大きな事件であると述べた。

¹⁴⁰ 『조선지명편람(朝鮮地名編覧)』によると、共和国英雄として呼ばれたアン・ホンジュン飛行士の故郷であるそうだ。

¹⁴¹ 「慶新里」は、金日成の父親である金亨稷が設立した「慶新学校」があるところなのでつけた地名である。人名地名ではないが、人物に関する地名であるため、人名地名と判断した。

② 北朝鮮社会主義に関する地名

a. 「새거리동, 새골동, 새길리(동), 새날리(동), 새마을리(동), 새살림리(동)」

「セコリ洞、セコル洞、セキル里(洞)、セナル里(洞)、セマウル里(洞)、セサルリム里(洞)」

b. 「개혁동, 금골로동자구(동), 광명리(동), 꽃핀동, 대풍리, 락원군(리, 읍, 동), 로동자동, 류벌리, 만풍리, 문화리(동), 부윤동, 붉은거리동, 붉은별리, 선구자동 승리동, 신흥리(동), 평화동, 풍년리, 풍어동, 혁신리, 해빛리(동)」

「改革洞、金骨労働者区(洞)、光名里(洞)、コッピン洞、樂園郡(里、邑、洞)、労働者洞、流筏里、萬豊里、文化里(洞)、豊潤洞、赤い街洞、赤い星里、先駆者洞、勝利洞、新興里(洞)、平和洞、豊年里、豊魚洞、革新里、へビッ里(洞)」

c. 「락원거리, 인민군거리, 천리마거리」

「樂園通り、人民軍通り、千里馬通り」

①の人名地名には、金日成の一家に関連する人物と北朝鮮のいわゆる「革命英雄」の名前から名付けた地名である。北朝鮮の偉人と人民の模範になる人物の名前で名付けているが、a は金日成の一家と北朝鮮政権において重要な役割をはたした人物は「郡」に、その他の人物には生まれた「区」や「里」に名前をつけたのが特徴的である。実際の名前からつけた地名もあるし、「英雄里」や「慶新里」のようにその人物と関連したものからつけた地名もある。bのように行政地名以外に街名にも人名地名が使われた¹⁴²。

②は、北朝鮮社会主義に関する地名として、aのように接頭辞「새-:세-」（「新しい-」）がつく地名と、bとcのように北朝鮮社会主義で願っている願いや希望などを込めた地名である。「새-:세-」がつく地名には固有語の前につく場合がほとんどで、その他の地名にはすでに北朝鮮で固着化された漢字語語彙を用いることが多かった。主に肯定的な意味

¹⁴² 박명훈(2005)によると、以前にもすでに人名地名は使われていた。平安南道肅川郡の「基隱里」、平安北道博川郡の「亨八里」、黄海北道谷山郡の「基春里」、兩江道三水郡の「リエチュン里」、兩江道甲山郡の「金化里」、兩江道雲興郡の「長彦里」がある。このように、人名地名は主に「里」に使われた。具体的にどんな人物なのかは確認することはできなかったが、換えなければならない地名としてのちに改称された。

として見られる地名が多いのが特徴的であった。ソン・ソンキル(2009)は、このような地名は「時代的要求を素晴らしく具現していること」であると分析した¹⁴³。

第三、首領性

換えなければならない地名に「首領性」に当たる地名があるのであれば、新しく名付けた地名にも「首領性」に当たる地名があるのは当然であろう。これまでの言語醇化の方針及び地名の命名に反するとしても最高指導者の言葉と文から出た地名であれば、受け入れなければならないのである。第四では、指導者に関する地名として、記念性、指導者が名付けた地名、指導者に対する忠誠に区分した。

① 記念性

a. 「구오동, 구월동, 칠팔동¹⁴⁴」

「九五洞、九月洞、七八洞」

b. 「정일봉, 장군봉, 금성동¹⁴⁵」

「正日峰、將軍峰、金星洞」

c. 「김일성거리, 김일성국제소년단야영소, 김일성농업과학연구소, 김일성도서관,

김일성부대, 김일성서점」

「金日成通り、金日成国際少年団野營所、金日成農業化学研究所、金日成図書館、

金日成部隊、金日成書店」

¹⁴³ 「우리 인민의 민족적감정과 시대적 요구에 따라 발전시킨 청진시의 지명에 대하여」 『文化語學習』 2009年 3号.

¹⁴⁴ 『文化語學習』には、「칠팔동 : 七八洞」に表記しているが、『조선지명편람 (朝鮮地名編覽)』には「7월8일동 : 7月8日洞」に表記されている。

¹⁴⁵ 「금성동 : 金星洞」は、金日成が生まれたところをさす。

② 指導者が名付けた地名¹⁴⁶

- a. 「칠골다리, 팔골다리, 네갈림다리, 송신다리, 청천다리, 충성다리, 옥류교, 만수교, 무용교」
「チルゴル다리、팔골다리、네갈림다리、송신다리、청천다리、충성다리、옥류교、만수교、무용교」
- b. 「금수산거리, 문수거리, 봉화거리, 붉은거리, 청년거리」
「錦繡山通り、紋繡通り、烽火通り、赤い通り、青年通り」
- c. 「류경호텔, 모란봉려관, 서평양려관, 창관산려관, 인민대학습당, 청년공원」
「柳京ホテル、牡丹峰旅館、西平壤旅館、蒼光山旅館、人民大學習堂、青年公園」
- d. 「평화정, 승리각, 애련정, 온달루, 감찬정」
「平和亭、勝利閣、愛蓮亭、溫達樓、邯贊亭」
- e. 「기관차바위, 대장군바위, 탱크바위, 병사바위, 사수바위, 어뢰정바위, 포바위」
「機關車岩、大將軍岩、タンク岩、兵士岩、射手岩、魚雷艇岩、砲岩」
- f. 「황금산, 만풍호, 연풍호, 무지개동굴, 2 선남폭포, 주림폭포, 진달래터, 목란터, 감살구마을, 황금평리, 금야군(읍)」
「黄金山、萬豊湖、延豊湖、ムジゲ洞窟（虹洞窟）、二仙男瀑布、珠簾瀑布、ツツジト、木蓮ト、カムサルグ村、黄金平里、金野郡（邑）」

¹⁴⁶ b. 多くの人名地名は、指導者が名付けた地名に属するが、前述した内容に重複するので省略することにした。また、行政地名も省略した。

③ 指導者に対する忠誠

a. 「개선동, 덕성동, 문화동, 상봉동, 선봉군, 셋별군(리,동), 영광군(동), 은덕동, 은빛동, 은정구역(리, 동), 은혜리, 장자동, 정성동, 충성동」

「凱旋洞、徳成洞、文化洞、相逢洞、先鋒郡、セビョル郡（里・洞）、栄光郡（洞）、恩徳洞、ウンビッ洞（銀光洞）、恩情区域（里・洞）、恩恵里、長者洞、情誠洞、忠誠洞」

b. 「장군대, 정성대, 충성대, 효성샘, 회상대, 회상다리」

「將軍臺、情誠臺、忠誠臺、孝誠泉、回想臺、回想다리（回想はし）」

①の記念性には、aのように指導者が現地指導をした日付を記念するための地名と、bのように金正日の名前からとった「正日峰」、金日成を意味する「將軍峰」。金日成を指す「金星」からとって「金星洞」と名付けた地名がある。cは、ソマリア、レバノン、ナイジェリア、モザンビーク、ギニア、ザンビアなどのアフリカにある建物や場所名であるが、全て「金日成」の名前をつけた地名である。

②の指導者が名付けた地名は『文化語学習』の「偉大な首領が自らつけてくださった名前」、「栄光の名前」、「不滅の名前」、「恩恵な愛の中に永生する名前」、「偉大な領導者金正日が自らつけてくださった地名とは…」などのタイトルの文ですく見つけることができる。

ここで、特に目立つのは「橋」に関する文である。地名の命名に関する文の57件の中で「橋」を内容とするのは7件もある。おそらく「橋：교」の代わりに「はし：다리」を使おうとする金日成教示と関係があると思われる。『文化語学習』には、金日成が1968年7月に新しく建てている橋について、「칠골다리：チルゴル다리¹⁴⁷」と名付けた。これにしたがって、「八洞橋：팔동교」と呼ばれた橋を「팔골다리：パルゴル다리」に直さなければならぬといった¹⁴⁸。金日成教示に「石橋」という言葉も「이시하리：돌다리」に直した方がよいといったが、これに適用されたようだ。以降、「네갈림다리：ネガルリム다리」「송신다리：松新다리（ソンシン다리）」、「청천다리：清川다리（チョンチョン다리）」、「충성다리：忠誠다리（チュンソン다리）」などのような橋名ができた。

¹⁴⁷ ちなみに、「칠골다리：チルゴル다리」がある「칠골동：チルゴル洞」は、金日成の母親であるカン・パンソクとその家族が住んでいる故郷である。

¹⁴⁸ 「어머이수령님께서 몸소 지어주신 이름 칠골다리, 팔골다리」『文化語学習』1983年3号。

しかし、『文化語学習』の1975年2号「偉大な首領が自ら名付けてくださった名前—玉流橋」の場合には、上のような金日成教示の内容に反するものである。つまり、地名の命名において、例外の場合だと言えるが、本研究では、このようなケースを「首領性」と称することにした。指導者が決めたことには、絶対的に服従をするしかないということである。金日成教示が言語規範の指針書のような役割をはたすものであれば、「-다리：-ダリ」に換えなければならないはずであるが、「玉流橋（オクリュキョ）」、「萬壽橋（マンスキョ）」、「舞踊橋（ムヨンキョ）」のように「-교：-橋」を使ったのである。これについてどのように説明することができるのだろうか。

1960年5月30日、ある橋の建設現場を訪問した金日成が橋の名前を「玉流橋（オクリュキョ）」¹⁴⁹に名付けたという時期が金日成教示が発表される前である1960年だったということがその答えになるかは定かではない。金日成教示発表以降に新しく建てられた橋のみに適用されるものであれば、「第三普通橋（ジェサムボトンキョ）」と呼ばれた橋を「萬壽橋（マンスキョ）」に改称したのはどのように説明すればいいのだろうか。

答えになるかどうか分からないが、2019年8月に行われた「第14次 KOREA 学国際学術討論会」に参加された北朝鮮の社会科学院に所属しているある先生によると、「玉流橋（オクリュキョ）」、「萬壽橋（マンスキョ）」以外の橋は全て「橋：ダリ」に変わったという。その根拠としては、上の二つの橋名は指導者が自ら名付けた名であるためであると述べていた¹⁵⁰。

②の b と②の c はそれぞれの街名と、建物名で、②の d は牡丹峰にある亭閣の名前で、全て平壤市に所在している。特徴的な点は、「柳京ホテル」の場合、高麗時代には高句麗の首都である平壤を「柳京（リュキョン）」に呼ばれたということで名付け、高句麗時代の伝説人物である「温達將軍：オンダルジャンゲン」の名前からとって「温達楼：オンダール」と名付けたと言われている。また、「邯贊亭：ガムチャンジョン」は高麗時代の將軍である「姜邯贊：カン・ガムチャン」の名前からとって名付けたという。

②の e の場合、金剛山にある岩の名であるが、これは軍事用語として名付けられたのが特徴である。②の f は、山、貯水池、洞窟、滝などのような自然地名に該当するが、金剛山の岩名とは違って、お花や果物、そして明るいイメージの語彙を用いたのが特徴である。

¹⁴⁹ 「위대한 수령이 몸소 지어주신 이름—옥류교」、『文化語学習』1975年2号。

¹⁵⁰ 「第14次 KOREA 学国際学術討論会」は2019年8月18日から20日までチェコ・プラハで開催された。その先生は、島名においても「島」という漢字の訓読み（「섬：ソム」）と音読み（「도：ド」）があるが、これまでは両方使われていたが最近音読み（「도：ド」）で全て変わったと述べていた。

③の指導者に対する忠誠を表す地名には、aのように指導者が現地指導に行ったところか、あるいは、恩恵を被った地域などでも指導者への忠誠を表現するために名付けた地名である。

また、③のbは金剛山の一部地名を新しく名付けた地名であるが、同じく指導者への忠誠が見られる地名である。③に該当する地名は全て漢字語地名であるのが特徴といえる。

これまで、新しく名付けた北朝鮮の地名について「民俗的要素」、「統治イデオロギーに関する地名」、「首領性」に分類した。これは、北朝鮮の地名において最も特徴で有ると言える。だからといって、全ての地名がこのように名付けられたとは言えない。固有名詞で有る地名の一般的な特徴である「有縁性」がよく見られる地名もある。

以下は、『文化語学習』で紹介された地名の中で「有縁性」がよく見られる地名をまとめたものである。

① 北朝鮮の産業に関する地名

「강철동, 금빛동, 금실동, 방직동, 비단리(동), 산업동, 서항동, 선광동, 어항동, 은실동, 자원리, 제강동, 제철동, 탄소동, 탐사동, 흰실동」

「鋼鉄洞、クムビツ洞（金光洞）、金糸洞、紡織洞、緋緞里（洞）、産業洞、西港洞、選鑛洞、漁港洞、ウンシル洞（銀糸洞）、資源里、製鋼洞、製鉄洞、炭素洞、探查洞、ヒンシル洞（白糸洞）」

② 「松」を用いた地名

「송곡리, 송림동, 송평구역(동), 청송동」

「松谷里、松林洞、松平区域（洞）、青松洞」

③ 地物及び自然地名に関する地名

a. 「남문거리, 보통문거리, 서문거리」

「南門通り、普通門通り、西門通り」

b. 「대동강동, 보통강동, 대동강구역, 보통강구역, 성천강구역, 압강동¹⁵¹, 두만강로동자구, 리명수로동자구¹⁵², 삼지강리, 만경대동, 승전동, 전승동」

「大同江洞、普通江洞、大同江流域、普通江流域、城川江流域、鴨江洞、豆満江労働者区、鯉明水労働者区、三支江里、萬景臺洞、勝戦洞、戦勝洞」

¹⁵¹ 「鴨綠江：アプロクガン」を略した地名である。

¹⁵² 「鯉明水：リミョンス」は、三池淵群にある川の名前である。

c. 「약수리, 역전동, 온포리」

「薬水里、駅前洞、温堡里」

d. 「평성」

「平星」

①は、主に北朝鮮の産業に関する地名で、軽工業及び中化学工業に関する工場が多い場所である。例えば、鋼鉄工場、製糸工場、紡織工場があるところの地名が鋼鉄洞、金糸洞、紡織洞である。また、産業地区があるところは産業洞で、漁港があるところは漁港洞であるのだ。

「金光洞、選鋼洞、製鋼洞、炭素洞」は、製錬所や選鉱場、製鋼所、炭素工場がある地域ということが簡単に推測できる。

②は、「松」を用いた地名にはあえて固有語を使わず漢字をそのまま使った。『文化語学習』には、漢字表記はほとんどないが、②のような地名については、「全て《松》(松まつ、松)を用いて、名付けた地名として、松の木を植え育てきた人民たちの生活情緒をよく見せている¹⁵³」とした。

③の a は、以前平壤城にあった城門の名を生かして街の名前をつけたもので、b は、江と山などの自然地名から名付けた行政地名である。c の場合には、薬水が出る場所なので薬水里、駅前に位置しているので駅前洞、温かい水が出る場所に堡(ボ)を設置したので「温堡里：オンポリ」と名付けたので、歴史的な事実に基づいた地名である。d の「平星」は、「平壤の衛星都市」という意味である。

③に該当する地名は、北朝鮮ならではの命名というよりは、一般の地名の命名法であるといえる事例である。

¹⁵³ 「우리 인민의 민족적감정과 시대적요구에 따라 발전시킨 청진시의 지명에 대하여」 『文化語学習』 2009年3号.

4.2 地名の由来

地名の大きな特徴としては、有縁性をもつ固有名詞である点である。これは、一般語彙の命名と最も大きな違いであるといえる。キム・ユンハク(1996)は、歴史的・社会的背景や土地の形や位置などによって名付けられた地名を「有縁性によって名付けた地名」、様々な理由によって改称された地名を「再生成された地名」と定義し、次のように分類した¹⁵⁴。

1) 有縁性によって名付けた地名

- ① 位置による地名
- ② 形による地名
- ③ 伝説による地名
- ④ 擬声語・擬態語による地名
- ⑤ 人物に関して名付けた地名
- ⑥ 動・植物に関して名付けた地名
- ⑦ 風水による地名

2) 再生成された地名

- ① 音韻変化によって変わった地名
- ② 形態変化によって変わった地名
- ③ 移しかえて変わった地名¹⁵⁵
- ④ 同じ意味の言葉を重ねてつけた地名
- ⑤ 間違いにより変わった地名
- ⑥ その他

キム・ユンハクによると、「有縁性によって名付けた地名」は、つまり原初的な地名の生成要因であり、のちに様々な要因によって変化して作られた地名を「再生成された地名」と称したものと見られる。地名も他の一般語彙と同じく時間の経過に従って、自然な変化を経験することになるが、これを朝鮮語地名の状況に合わせて分類したものである。イ・ドンジュ(1998)は、朝鮮語において地名が変化する要因としては、発音の不正確性と

¹⁵⁴ 김윤학 (1996)は、「땅이름 : 地の名前」としたが、本章では「地名」にした。

¹⁵⁵ ③には意味を移しかえた地名、音を移しかえた地名、意味と音の両方を移しかえた地名がある。

音韻の交代、表記漢字の交替、行政区改編による改称地名、同音牽引による地名における意味の変化などを挙げた¹⁵⁶。

本章では、上記のキム・ユンハクとイ・ドンジュの分類基準に基づいて【表 4】の地名の由来に関する文の中で、「有縁性によって名付けた地名」と「再生成した地名」に分けてその特徴について調べてみた。まず、行政地名から見てみよう。

【表 4】 地名の由来に関連する文のタイトルと年及び号数

	タイトル	年-号
1	《長淵湖》の由来	1989-4
2	檀君と関連しているいくつかの地名	1994-2
3	シルメの由来	1994-4
4	地下絶景に似合う意味深い名前	1996-4
5	《大紅湍》の名前の由来	2001-3
6	五峰山の由来	2002-2
7	別倉村の由来と革命伝説	2002-3
8	長島の由来	2002-3
9	白頭山の名前の由来	2003-1
10	二鴨里の由来と革命伝説	2003-1
11	黄海南道の特異な地名とその由来	2003-3
12	《新增東國輿地勝覽》を通して見た我々の先祖の自然地物についてのいくつかの名付け方	2004-2
13	《薬山東臺》の語源	2004-2
14	《普徳庵》の由来	2004-2
15	黄海南道の地名話	2005-1
16	《降仙》の由来	2005-1
17	《平安道》の由来	2005-2
18	平安道地名の特性	2005-2
19	平安北道の特異な地名とその由来	2005-3
20	《先軍 8 景》の地名の由来	2005-4
21	朝鮮の島名の主な特性	2005-4
22	伝説-三龍山の名前と伝説	2005-4
23	白頭山地区における一部地名の由来	2006-1
24	兩江道の特異な地名とその由来	2006-1
25	《三池淵》の由来	2006-1
26	咸鏡北道の特異な地名とその由来	2006-2
27	高句麗行政地名において表記手段の統計的考察	2006-3

¹⁵⁶ 이돈주 (1998) 「땅이름(지명)의 자료와 우리말 연구」 『지명학』 1.

28	咸鏡南道の特異な地名とその由来	2006-3
29	慈江道の特異な地名とその由来	2006-4
30	江原道の特異な地名とその由来	2007-1
31	黄海南道の碧城地方における民間地名の特徴	2007-2
32	倭人が呼んできた《まつしま》(竹島)の名称の由来とその非科学性	2007-4
33	平安南道の特異な地名とその由来	2008-2
34	四郡六鎮の設置と地名	2008-4
35	先軍時代に新しく生まれた名前-《カムサルグ村》	2008-4
36	金剛山の四季別名前	2008-4
37	《鯉明水》の由来	2008-4
38	地名由来- 投甲淵	2009-1
39	朝鮮の道名の由来	2009-3
40	地名由来- 本来の意味が変わった開城地方のいくつかの地名由来	2015-2
41	白頭山の獅子岩	2016-1
42	大同江区域の衣岩洞	2017-2

1) 有縁性による地名

① 地域の特性に関する地名

a-1. 「메물리 : 메물里」 : 「메물 : 메물」とは、山から流れる小川という固有語であり、山から流れる水が通る村という意味である。

a-2. 「고성군 : 高城郡」 : 高い城がある村である。高句麗時代には「달홀 : ダルフル」を使っていた。「달 : ダル」は「高い」、「홀 : フル」は「城」や「村」を意味する古語である。

a-3. 「원산시 : 元山市」 : ニンニクのように丸い形となっている山がある村といういみに由来する。高句麗時代には、「매시달 : 메シダル」と呼ばれた。「매시 : 메シ」はニンニク、「달 : ダル」は山の古語である。

a-4. 「구성시 : 龜城市」 : 龜山の麓に築いた城がある村という意味で名付けられた。

a-5. 「의암동 : 衣岩洞」 : 衣の岩がある村なので名付けられた。

a-6. 「청진시 : 淸津市」 : 青い岩があるといつて、「青岩山」と呼ばれる山の前に位置し、ふなつきば(津)がある村だということから由来している。最初は、「青」を使っていたが、のちに「淸」に変わった。

a-7. 「장연호 : 長淵湖」 : ハスの花と似ていて、「ヨン호 : ハスの湖」と呼ばれたが、「長津」という地域にあったので「長」がついて、作られた地名である。

a-8. 「약산동대 : 薬山東臺」 : 薬草が多くて、薬水が流れる山が「薬山」、薬山が東の方にある高い臺が「東臺」である。この二つが合わさって作られた名前である。

a-9. 「삼지연 : 三池淵」 : 三つの池が並んでいるので呼ばれている名前である。

a-10. 「리명수 : 鯉明水」 : ヤマメを「鯉明水 : 리명수」と呼んでいる地域で、川の名も「리명수」と名付けた。魚名が川名に影響を与えたケースである。

a-11. 「베개봉 : 베개봉 (まくら峰)」 : まくらの形をしている峰である。漢字語では「枕峰 : チムボン」と書く。まくらの方言とみられる「벼개봉 : ビョゲ峰」とも呼んでいる。

a-1、a-2、a-3 は固有語や古語から名付けられた地名である。地名も時代によって変わるといふ歴史性がよく表れるものとして古語研究のためにも役に立つ事例である。a-4、a-5、a-6 のように地名の形や特性などにしたがって名付けられた行政地名もある。a-6 の場合は、「青」が「清」に変わったことからみて再生産された地名としてみることもできるだろう。a-7、a-8、a-9、a-10、a-11 はそれぞれ特性がみられる自然地名である。

② 伝説及び由来に関わる地名

b-1. 「오만동(五万洞)」 : 昔、5万人の外来侵略者を倒した場所である。

b-2. 「강선 (降仙)」 : 「仙女が降りた」という伝説がある地名である。

b-3. 「만포시 (満浦市)」 : 「船でいっぱいになった港」という意味から作られた。

b-4. 「후지리 (厚地里)」 : 「土が良くて、人の心も豊かなまち」という意味である。

b-5. 「식여리 (食餘里)」 : 「食べ物をあつて、余裕のある行動をしたところ」という意味である。

b-6. 「이압리 (二鴨里)」 : 二匹のアヒルに似ている「二鴨島」という島名からとってきた地名。

b-7. 「장도 (獐島)」 : ある島で獐のために死んでしまったお父さんの名が「ジャン」氏であり、「ジャン」が朝鮮の漢字音「獐」とも同じであるので名付けられたという由来がある。

b-8. 「별창마을 (別倉村)」 : 昔、租税倉庫があつて租税を納めるために行ったり来たりする人が多い村であつた。人が集まったり、別れたりする姿がまるで離別をするようで名付けられた名前だという説がある。

b-9. 「오봉산 (五峰山)」 : 北朝鮮における「五峰山」という名前をもつ山は約 200 箇所あると推定される¹⁵⁷。名の通り、おおむね五つの峰がある山に名付けられているが、そうでない場合にも名付けられたことがある。「陰陽五行説」や「三綱五輪」のような儒教教理で使われた数字を山名として名付ける時に使われたという説がある。

b-10. 「삼룡산 (三龍山)」 : 昔からの伝説として、三匹の龍が住んでいたところなので名付けられた。

b-11. 「시루메 (シルメ)」 : 「甌岳山 (ズンアク山)」の旧名。シルメという未婚の女性の伝説がある。

b-12. 「보덕암 (普徳庵)」 : 「普徳」という未婚の女性が暮らしていた洞窟を「普徳窟」といい、窟の前にお寺を建てて「普徳庵」と名付けた。

b-13. 「사자바위 (獅子岩)」 : 白頭山を守る獅子が石になったという伝説から名付けられた。

b-14. 「투갑연 (投甲淵)」 : 濟州島の海の真ん中にある池の名前。

②では、地名の伝説及び由来に関わる地名の文から取り上げたものである。地名の特性によって名付けられたものもあるが、伝説や由来に関する文に書いてあった文であることから、②に当たると判断した。

b-1 と b-2 は、昔の伝説から作られた地名である。b-3、b-4、b-5 は地名に由来するものもあるが、地名に念願や希望などを込めた地名として見受けられる。b-6 のように島名からとってきた地名もあるし、島に由来があつて獐の漢字を用いた b-7 のような地名もある。b-8 は、地名由来にその地域の出身である金日成の革命伝説が付け加えられた地名である。b-9 では、数字 5 は儒教教理で使われたと説明している。「地名の命名」によると、「封建儒教的」な要素は排除しようとしてつとめたが、自然地名ではそれを無理に換えようとはしなかったことがうかがえる。b-10、b-11、b-12、b-13 は昔の伝説から名付けられた地名である。b-14 は今までほぼなかった、韓国地名である「濟州島」にある由来する地名である。

¹⁵⁷ 「오봉산의 유래」 『文化語學習』 2002年2号, pp. 38-39.

③ 歴史的事実と関わる地名

c-1. 「보천군 (普天郡)」：「보천보 (普天堡)」から由来した。1790年に北方外敵の侵入を防ぐために設置した堡の名前である。朝鮮半島で最も高い地帯に広い面積をとって設置したという意味がある。また、「普天堡」は金日成が1937年6月4日歴史的な「普天堡戦闘」を組織して輝く勝利をした栄光の革命戦跡地であると言われている。

c-2. 「과말리 (把撥里)」：1896年に初めて新設された。朝鮮時代に公文を送る人を指す「把撥」であり、かれらが休憩する駅があったので名付けられた。1930年8月に朝鮮革命軍の武装グループを武装小組を導いて、国内に進出した不撓不屈の革命闘士である金亨權が「把撥里」警察官駐在所を襲撃し、我々の人民に勝利を収めた不滅の史跡が遺ったところであるとも言われている。

c-3. 「훈용리 (訓戎里)」：1953年に新設した里名であるが、朝鮮時代の「訓戎寺」から由来している。「訓戎」とは、「女真族を納める、戒める」という意味である。朝鮮初期に女真族の侵入を防ぐために1428年ごろに城を築いたが、その名が「훈용진성 : 訓戎鎭城」である。

c-4. 「자성군 (慈城郡)」：「자작리 : ジャジャク里」という地域に城を築いて郡を新設した。「ジャジャク」というのはシラカバの朝鮮語であるが、その最初の音である「자 : ジャ」を用いて漢字をつけたのである。

c-1 と c-2 は、北朝鮮という国家が形成される前にすでに名付けられた地名である。歴史的な事実について叙述し、のちにいわゆる抗日革命時期の革命話が付け加えられた地名である。c-3 と c-4 は、地名の特性に関する地名としても見られるが、城を築いたという歴史的な事実が加わった事例としてとりあげた。

④ 人物に関連する地名

d-1. 「문덕군 (文徳郡)」：1952年に新設した郡で、高句麗時代の愛国名将「을지문덕 : 乙支文徳」が生まれ、武術を修めたところであるため名付けられたと言われている。

d-2. 「장군봉 (將軍峰)」：白頭山が生んだ將軍 (首領) と称し、名付けた名前。最も高い峰で、「대장봉 (大將峰)」、「병사봉 (兵士峰)」、「백두봉 (白頭峰)」、「대정봉 (大正峰)」と呼ばれたりもした。

d-3. 「향도봉（嚮導峰）」：白頭山で二番目に高い峰、金正日を称する。昔は「천황봉（天皇峰）」と呼ばれたが、ここで「天皇」は天の皇帝という意味として檀君を指すことばである。

人物に関連する地名の行政地名としては d-1 が、自然地名としては d-2 と d-3 がある。前述した「地名の命名」の「新しく名付けた地名」でも人物地名について取り上げたが、新しく名付けられた地名に人物名が使われたのは金日成の一家と北朝鮮の「革命英雄」の名前のみであった。1952 年新設された郡に、つまり行政地名に高句麗時代の將軍名が使われているのは、素晴らしい業績のある人物より高句麗時代の將軍を高く評価していることがわかる。ちなみに、北朝鮮では 2003 年に 3 種類の記念鑄貨を製作したが、全て高句麗時代の 3 人の將軍であり、この中の 1 人が「乙支文徳」であった¹⁵⁸。

自然地名の「장군봉（將軍峰）」と「향도봉（嚮導峰）」は、北朝鮮の誇り高きの白頭山で最高峰と第二高峰として、それぞれ北朝鮮における最高指導者を指す意味として名付けられた。

2) 再生成した地名

① 音韻変化によって変化した地名

e-1. 「화대군：ファデ郡（花臺郡）」：1952 年に新設した郡。朝鮮時代に海岸地帯であるここを「하대：ハデ」と呼んでいたが、「하대：ハデ」が「하대：ハデ」に変わり、また「화대：ファデ」のように変遷したとみられる。

e-2. 「해운동：ヘウン洞」：「해운루（ヘオンル）」に語源をおいている。「해운루（ヘオンル）」という名には、この楼閣に上がると、周りの美しい景色に魅了され、怒り心頭に発するが、自然と治ったという意味から名付けられたと言われている。時間が経つとともに「해운루（ヘオンル）」が「해운루（ヘウンル）」、「헬레（ヘルレ）」のように間違えて呼ばれたりもしたが、そのまま地名として固着してしまった。結局、「ヘオンル」が「ヘウンル」に変わり、「ヘウンル」がある村という意味で「ヘウン洞」となった。

e-3. 「만월동：マンウォル洞（満月洞）」：高麗時代、宮殿の中で月見をする場所である「망월대：望月臺：マンウォルデ」があったが、のちに「만월대：マンウォルデ」という

¹⁵⁸ あと2人は、「姜邯贊：カンカムチャン」と「淵蓋蘇文：ヨンゲソムン」である。

名に間違って伝えられて、宮殿名も「만월대：マンウォルデ」、その近くの村名も「만월동：マンウォル洞」に定着した。

e-4. 「울림폭포 (ウリム瀑布) : 朝鮮末期から 1952 年 12 月まで 「운림면 (ウンリム面)」 にある瀑布という意味で 「ウンリム瀑布」と呼ばれたところが語音変化によって表記も変更された。

e-5. 「회령시 (會寧市) 」 : 1434 年、「오음회 (吾音會) 」の「會」と「녕북진 (寧北鎭) 」の「寧」を使って名付けられた地名が、のちに語音変化により「회령」になったと言われている。

e-6. 「바리산 (バリ山) 」 : 「바오라기산 (バオラギ山) 」という旧名が語音変化によって変わった山名である。

② 固有語を漢字語に換えた地名

f-1. 「문봉리 (文峰里) 」 : 元の名前が「キル峰」が「クル峰」に誤って伝わったものがある。昔、この地域には山の下に書堂があったが、この山には筆のような形の「문필봉 (文筆峰) 」という峰があった。「文筆峰」は「글봉：クル峰」とも呼ばれたが、この名が村名として使われた。今日に至っては、元の名前であった「キル」が文字を意味する朝鮮語の「クル」の漢字語である「文」を用いて「文峰里」となった。

f-2. 「장진군 (長津郡) 」 : 朝鮮中期から呼ばれた「ハガル」という名から由来している。「ハガル」とは、大きな江という古語として、大きな江、大きな津があるこの地域の特性を反映した固有語地名である。

漢字語に表記すると、「長」と「津」を用いて「長津」となった。

f-3. 「무수단리 (舞水端里) 」 : 里の中心地域にあった「무수단：舞水端」の名前から名付けられた。「舞水端」は、「무쇠골：ムセゴル」と呼ばれた地域を漢字語で表記したものである。

f-4. 「증산군 (甌山郡) 」 : 「시루메：シルメ」と呼ばれたものを漢字語表記することによって「甌山」となった。甌に似ている山がある村として、甌で何かを蒸すときの匂いがしたという伝説がある。

f-5. 「신포시 (新浦市) 」 : 昔、梅雨で小川が溢れてこの地域一帯が洗われて「시신개：シシンゲ」村と呼んでいたところを、漢字の訓と意味を借りて「신포시 (新浦)」と表記した。「시신：シシン」は「洗う・洗われる」という古語である「씻다：シッタ」から出た言葉で、「개：ゲ」は「小川」を意味する言葉である。

f-6. 「함흥시 (咸興市)」 : 1416 年「咸州」という地名の「咸」と、繁栄し興るという意味から「咸興」となった。高麗時期には「함주목 : 咸州牧」もしくは「함평 : 咸平」と呼ばれたが、これは「大きな原」という朝鮮語を漢字で表記したものである。

f-7. 「대홍단군 (大紅湍)」 : 「大」は「소홍단 (小紅湍)」という小さな村に対照するという意味として使われ、「紅」はお花で紅いということで「湍」は早瀬の狭くなった部分が切れてしまったという意味である。

f-8. 「병무리 (竝武里)」 : 1952 年ズンサンリと竝伊武只里を併せて作った。竝伊武只里の縮語。かつて、大きな水に流れてきた砂が横に積もったとして「横武只」としていたのを漢字に換え竝伊武只里と呼ばれるようになった。

③ 旧名に戻った地名

g-1. 「속후리 (俗厚里)」 : 「속구미 (ソックグミ)」、「속후미 (ソクフミ)」という村名から由来した。「谷の中の隈」という意味である。朝鮮時代「俗厚寺」ができて、「ソクフ」という名前と呼ばれたが、1952 年の改編で「俗厚面」が廃止され、「중흥리 (中興里)」となった。のちに 1986 年に「중흥리 (中興里)」を「속후리 (ソクフ里)」に改称した。

g-2. 「가진로동자구 (加進労働者区)」 : 1963 年新設した労働者区。「가진 : カジン」は「더날기 : トナルギ」という朝鮮語地名を吏讀で書いたもので「徳がある津」という意味である。「가진 : カジン」は朝鮮末期から里名として使われたが、ある時期に「고녕리 : コニョン里」と呼ばれ、労働者区に変更されることによって旧名に戻った。

④ 行政区域改編によって変わった地名

h-1. 「벽동군 (碧潼郡)」 : 「碧團」と「陰潼」という地域を併せて郡を作ったので名付けた地名。

h-2. 「자강도 (慈江道)」 : 「慈城」と「江界」を合わせて名付けた地名。(1949 年新設)

h-3. 「량강도 (兩江道)」 : 北朝鮮で最も大きい二つの江である「鴨綠江」と「豆滿江」がある地域。(1954 年新設)

再生成した地名には、上記のように①音韻変化によって変化した地名、②固有語を漢字語に換えた地名、③旧名に戻った地名、④行政区域改編によって変わった地名に区分した。

上記の①は、朝鮮語の音韻変化がよくみられるケースである。母音である「ㅓ(e)」が「ㅏ(ae)」に、「ㅜ(o)」が「ㅜ(u)」変わる母音変化、もしくはバッチムの「ㅇ(n g)」が「ㄴ(n)」に、「ㄴ(n)」が「ㄹ(l)」に変化し、そのまま固着してしまった地名である。e-6の場合は、旧名から縮約されて語音変化によって再生成した地名である。のちに食器の一つである「バリ」を伏せた形と似ているため名付けられたという説もある。②の場合は、固有語として呼ばれた地名を漢字語に換えた地名である。文字がなかった時代漢字を借用して表記する際に、固有語の音とは関係なく、その意味に基づいて漢字を借用して表記したものである。

③は旧名に戻った地名で、④は二つの地域が一つになることでその地名もそれぞれの名前から1文字ずつとってきて名付けた地名である。h-3は、二つの江があるという道という特性を生かして名付けた地名である。

4.3 外国の地名

【表5】は外国の地名に関わる文である。

【表5】外国の地名 (韓国地名を含む)

	タイトル	年-号
1	お知らせ-新しく整えた世界の国名と首都名	1972-1
2	世界常識-国名の由来	1982-1
3	世界常識-大陸の名称	1983-1
4	世界知識-いくつかの地域名	1983-4
5	南朝鮮傀儡の行政区域名を正す遊劇	1987-2
6	お知らせ-新しく直した国名	1998-4
7	大陸の名とその由来	2001-3

地名と関連している文の中で外国の地名に関わる文は7件である。【表5】の7件の文は『文化語学習』で「常識」や「知識」などのコーナーに掲載されているもので、外国の地名について取り上げている。この中には、外来語表記に関わる文が2件、大陸と国及び地域に関する由来¹⁵⁹が4件、韓国地名に関する文が1件ある。

¹⁵⁹ 大陸や国及びある地域の語源や由来についての紹介している。

言語醇化の視点から注目されるのは、外来語表記に関する文である。

【表 6】 「お知らせ-新しく直した国名」 (『文化語学習』 1998 年 4 号)

本来の名	直した名	本来の名	直した名
1. 독일 (獨逸)	도이칠란드	6. 화란 (和蘭)	네대를란드
2. 체르노고리아	쯔르나고라	7. 오지리 (奧地利)	오스트리아
3. 토이기 (土耳其)	튀르끼예	8. 인도 (印度)	인디아
4. 호르바찌아	호르바쯔까	9. 애급 (埃及)	에짚트
5. 희랍 (希臘)	그리스	10. 웅그리아	마자르

(前の数字は筆者)

前から使っていた外国地名を北朝鮮の表記法に従って直したものである。本来の名を見ると、以前から使っていた外国地名と、外国語の音を漢字音に表した音譯語となっている地名である。以前から使っていた外国地名である 2.체르노고리아、4.호르바찌아、10.웅그리아は、現在、南北で互いに異なる外国語表記法に従って、表記が異なる地名である。以外の地名は全て音譯語となっている地名であるが「1.독일：獨逸」と「8.인도：印度」は韓国では前から現在まで使っている地名で、北朝鮮では換えた地名である。「5.희랍：希臘」と「7.오지리：奧地利」は直した地名が南北で同じで、「3.토이기：土耳其」、「6.화란：和蘭」、「9.애급：埃及」は南北において漢字表記が異なる地名である。外国地名は、韓国では英語発音を、北朝鮮ではロシア発音に影響を受けていることがわかる。

1972 年 1 号の一部の事例を挙げると、これまで使っていた地名として、「모나코」、「바티칸」、「쿠알라룸푸르」などがあるが、現在の韓国の表記と同様である。しかし、北朝鮮では、「모나꼬」、「바띠까노」、「꾸알라룸뿌르」に直した。以前、激音で表記したものを濃音に変えたのである。これは、韓国の「外来語表記法」(1986)第 4 項である「破裂音表記には濃音を使わないことが原則」であることに従ったもので、北朝鮮では当時の表記法である「朝鮮語外来語表記法」(1956)の第 1 章の 4 項で「...現代ロシア語の語音論的及び表記法的特性に基づいて表記する」に従ったものである。北朝鮮における外来語表記法で、濃音として表記することにした規定の中で「[p・t・k] は「ㅍ・ㅌ・ㄱ」に表記する。子音である「k・p・t」はそれぞれ「ㄱ・ㅇ、ㅍ・ㅇ、ㄷ・ㅇ」に表記する¹⁶⁰が、これに当たる。

¹⁶⁰ 정동환 (2002) 「통일시대의 외래어 표기법」 『한말연구』 11, p. 248.

また、韓国では「外来語表記法」(1986)の基本原則第1項には、「外来語は国語の現用24字母のみに表記する」が、当時の北朝鮮の表記法(1956)第1章の3項で、外来語表記手段として「漢字ではない朝鮮字母」に明視していることから見て、北朝鮮では、外来語表記においては24字母以外にも、すなわち「ㄱ、ㄷ、ㄹ、ㄴ、ㄷ、ㄹ、ㄴ、ㄷ、ㄹ、ㄴ、ㄷ、ㄹ、ㄴ、ㄷ、ㄹ、ㄴ、ㄷ、ㄹ、ㄴ、ㄷ、ㄹ、ㄴ、ㄷ、ㄹ、ㄴ」でも表記することもできることを意味している。¹⁶¹

最後に、韓国地名に関わる1件¹⁶²(1987年2号)の文では、当時韓国における一部の行政区域を改編したことについて書いてある。1987年、韓国では「리북면：リブク面」、「이북면：イブク面」は、発音上として北朝鮮を意味し、「적곡면：赤谷面」は北朝鮮を連想するので改編したと言われている。これに対して、「祖国を永遠に分け隔て民族の反目と不信を助長しようとする」と批判した。

5. 北朝鮮における地名の政治性

本章では北朝鮮の地名も言語醇化の対象となったという点に注目し、言語的な側面から北朝鮮における地名について分析した。すなわち、特徴別にそれぞれの事例について分析したのである。このような分類をすることによって、北朝鮮における地名政策がソビエト時代のそれと非常に類似していると思われる。本節では、4.1「地名の命名」で取り上げることができなかったソビエト時代の地名政策に触れて、北朝鮮における地名政策もソビエト時代のそれと同様に極めて政治的な意図が明らかである点について考察する。

パーヴェル・イリーイン(1993)によると、ソビエト体制はその出発点の段階から地名を政治化していた。地名の範囲としては、都市・街路・産業施設・その他—さらに山や島の名称までに及ぶ。地名の政治化はソビエト社会全体より広範囲における政治化の中でも、重要な位置を占めていると述べている¹⁶³。

ソビエト時代における都市改称の主な目的としては、共産主義指導者たちや彼らの気に入った人々の名を不滅のものとし、体制にとって不都合な名称を地図から除去していくことであった¹⁶⁴。すなわち、1917年10月革命により、共産党による政権が樹立されてから、

¹⁶¹ 김희진 (1996) 「외래어 표기, 남북한이 어떻게 다른가」 『새국어생활』 6 국립국어연구원, p. 82.

¹⁶² 韓国では1987年に忠清南道瑞山郡の「梨北面」を「梨園面」に、慶尙南道金海郡の「二北面」を「邊山面」に、忠清南道青陽郡の「赤谷面」を「長平面」に改編した。

¹⁶³ パーヴェル・イリーイン著、山田晴通訳 (1995) 「偉人にちなんだ (旧) ソビエト諸都市の改称—地名についての歴史的展望—」 『地図』, p.13.

¹⁶⁴ パーヴェル・イリーイン (1995) p.14.

政治・経済・社会・思想などに徹底した社会主義化(共産主義化)が行われたが、さらに地名においてもその方針が貫かれたのである¹⁶⁵。

社会主義化のために名付けられた地名の特徴としては、「政治用語」や「人名」を地名に活用した。この2種類の地名は、政権確立時期に最大限に活用されたと言われている¹⁶⁶。

「政治用語」を活用した地名としては「赤」、「10月革命」、「メーデー」、「共産主義青年同盟」、「第3インターナショナル」などを使って名付けた地名である。室谷(1994)は、「政治用語」を地名化しその特色を浸透させていくことで、社会主義化は浸透し早く根付いていったと述べた。また、これによって複雑な民族問題からも目を背かせ、ソ連全体を一つの目標に集中される一石二鳥の政策を採ったと分析している¹⁶⁷。

「人名」地名としては、革命指導者や革命に貢献した人物名が地名化されるようになった。これは1922年頃からで、最初は帝政ロシアの王家関係者などに関連した地名を、革命功労者の名に改名したのが始まりだった¹⁶⁸。「人名」地名としては当時権力の象徴的人物である「レーニン」と「スターリン」の名前を活用して名付けられた地名が代表的である。

革命当時は死去した革命家を讃えるために改名したものが、スターリンが権力固めをした1930年代以降は、生存中に権力の象徴として改名されたものが多く、その目的が全く違ってしまったのである¹⁶⁹。

パーヴェル・イリーイン(1993)は、人名が名付けられた地名の改称の流れについて特に注目している¹⁷⁰。西側の観察者たちは当時のソ連が地名を頻々と変えるのを見て、「ソビエトの地名ゲーム」と称しているといい、ソ連の変化する地名は「政治的ゲーム」である、と述べた¹⁷¹。

すなわち、最高権力者に反対したり、権力闘争に敗れたりした場合は、個人の地名も再改名、つまり抹消という運命をたどった¹⁷²。

¹⁶⁵ 室谷 茂 (1994)「政治的意図による地名の研究-その背景と影響について-」兵庫教育大学大学院学校教育研究科 修士論, p.141 参照および再構成

¹⁶⁶ 室谷 茂 (1994), p.120.

¹⁶⁷ 室谷 茂 (1994), p.141.

¹⁶⁸ 室谷 茂 (1994), p.143.

¹⁶⁹ 室谷 茂 (1994), p.144.

¹⁷⁰ パーヴェル・イリーイン (1995), p.13.

¹⁷¹ パーヴェル・イリーイン (1995), p.13彼が注目した地名における改称の波は1)政治的・軍事的指導者を讃えた1920年代から1930年代、2)スターリン色を払拭し、自国の作家・作曲家・詩人を讃え、社会主義圏諸国との友好関係を持ち上げた1950年代、3)共産主義時代の好ましくない痕跡を消し去ろうとする1980年代後半から現在に至る時期のものであった。

¹⁷² 室谷 茂 (1994), pp.139-141.

ソビエト時代における地名は、社会主義化が徹底して行われるように「政治用語」や「人名」をうまく活用するなどの地名政策が繰り返されたのである。

前述した北朝鮮における地名は、言語醇化の対象となった語彙に違いないが、社会主義化を徹底して貫くためのソビエトの地名政策と同様の目的として行われたのは明らかである。

1952年に北朝鮮で出版された『조선지명학 (朝鮮地名学)』によると、新しくできた地名には政治的な意図は全くなかった。しかし、唯一思想である金日成の主体思想の登場とともに「人名地名」や「社会主義に関する地名」が名付けられた点から見て、地名においても政治的な色彩が強くなっていった。地名に政治性を付与するということは、地名が「その場所を歴史に残す方法であり、強力なシンボル¹⁷³」であるためであった。

ソビエト時代における地名には、敗者の痕跡を探ることができないが、北朝鮮では3代続くの世襲権力という政治的状况から見ると、権力闘争による地名抹消は未だ行われていない。むしろ、前述したような北朝鮮ならではの地名がさらにその位置付けを強固とするものであろう。すなわち、北朝鮮で新しく名付けられた地名は勝者と敗者がいる「政治的ゲーム」としては成り立たず、勝者のみを再生産し続けているのである。

6. おわりに

本章では、北朝鮮における地名を言語醇化の視点から考察した。本章の分析対象となる『文化語学習』には地名に関する文が105件で、その内容によって「地名の命名」、「地名の由来」、「外国の地名」のように三つに分けた。時期別に詳細に区分していないが、初期には「地名の命名」に関する文が中心であったが、2000年代には「地名の由来」に関する文が多く掲載される傾向があった。

まず、「地名の命名」からまとめる。

解放直後、言語から朝鮮固有のものを見出そうとした北朝鮮の言語醇化運動は1960年代になって全人民事業となる。このような時期に地名調査事業も行われるが、全国の行政地名及び自然地名の由来を調査し、固有語・漢字語・外来語地名に区分した。以降、朝鮮固有のものではない地名を追い払おうとするが、北朝鮮では換えなければならない地名とい、これに従って新しい地名ができたのである。

¹⁷³ バーヴェル・イリーイン (1995), p.17.

換えなければならない地名としては、1)外来的要素、2)「封建儒教的・宗教迷信的」、3)非優美性、4)首領性に分けた。

言語醇化の対象となった語彙の中の一つが外来語であったことと同じく、地名においても女真語地名と日本語地名を追い払うことは当然のことで、他の語彙に比べて比較的早い時期に直された。2)「封建儒教的・宗教迷信的」という表現は北朝鮮の文献でそのまま引用したものであるが、ここに当たる地名は、北朝鮮で志向する統治イデオロギーに反する地名であるといえよう¹⁷⁴。同じ地名が韓国では未だに使われていることと非常に対照的である。

3)非優美性に属するのは、音や意味があまり良くないと判断される地名である。これに対する価値判断は首領性によって下される傾向にあるので、首領性と関係がある。この章で首領性というのは、最高指導者の言葉と文によって価値判断が下され、これを積極的に受け入れるという意味として使ったが、理由を問わず首領によって換えなければならない対象となった地名は4)首領性に当たる。

新しく名付けた地名には 1)民族的要素、2)統治イデオロギーに関する地名、3)首領性に分類した。1)民族的要素には「固有語」に名付けた地名であるが韓国とは違って、行政地名に固有語地名を積極的に受け入れている点がとても特徴的である。2)統治イデオロギーに関する地名としては、北朝鮮の主要人物の名前からとってきた地名と、北朝鮮社会が追求し志向する社会の姿を込めている語彙として名付けられた。3)首領性に当たる地名には指導者が名付けた、指導者を記念したり、指導者に対する忠誠が見られる地名であった。

最後に、新しく名付けた地名ではあるが、北朝鮮ならではの命名法ではないが、地名という固有名の一般的な特性が見られる地名についてまとめた。ここで一般的な特性というのは、「有縁性」を意味するが、特に注目されるのが北朝鮮の産業に関する地名の中で工場の名前を使った地名が多かった点が印象的であった。

次は、「地名の由来」に関する文である。2000年代にから本格的に掲載され始め、ある地域に対する由来及び伝説のみならず、「～道の特異な地名とその由来」のようにシリーズとして見られる北朝鮮全国の道にある特定な地名の由来について述べている。

前述した「地名の命名」では、北朝鮮ならではの特殊な地名について述べたが、「地名の由来」では、昔・以前時期という時期的には曖昧な表現を使い、過去に使われた地名に

¹⁷⁴ 「封建儒教的・宗教迷信的」という表現は、範囲が広くて具体的な分析を要するが、本章では、包括にしか取り上げることができなく、今後の課題にすることにした。

ついでに由来や伝説について取り上げている。もちろん、高句麗時代・高麗時代などのようにはっきりと時期区分をしたケースもあるが、主に昔の文献から取り上げている。

有縁性による地名は、その地域の特性に基づいて決められるが、伝説及び由来、歴史的な事実、人物に関する地名などのように社会文化的な要因によって決められた。当然のことであるが、行政地名は自然地名に比べて人為的に変化しやすかった。また、自然地名には漢字語より固有語の方が多かったが、その中には方言や古語の痕跡が残っている。

「外国の地名」には多様な形式の文が掲載されたが、外国地名の表記に関する文がほとんどであった。北朝鮮で「朝鮮語外来語表記法」(1956)が発表され、韓国との外来語表記の違いが顕著に現れた。

本章では、『文化語学習』に掲載された文を分析したものである。北朝鮮のすべての地名について分析したものではない。しかし、議論された地名を言語醇化の視点からアプローチすることで北朝鮮の地名は、他の醇化の対象となった語彙と同様、言語醇化が積極的な介入した部分であることは明らかであろう。「地名の命名」では北朝鮮の特殊な命名が「地名の由来」では一般的な地名の命名の特性が見られ、朝鮮語の音韻変化などの変化要因について見ることができた。「外国の地名」では韓国との外来語表記が異なった代表的な事例であるといえる。

第4章 北朝鮮における女性のことば—『文化語学習』の内容を中心として—

1.はじめに

第4章は、第3章の分析対象であった『文化語学習』の内容を異なる角度から分析するものである。『文化語学習』は一般大衆を读者とする語学雑誌であるため、言語実践的な側面を充実に反映しているテキストである。これまで言語政策及び言語醇化に焦点を合わせてきたが、本章では言語実践に関する文について分析を試みる。

『文化語学習』では言語実践的な側面として言語礼節の重要性について述べている。

『조선말례절법 (朝鮮語礼節法)』によると、「언어례절 (言語礼節)」とは「一定の社会制度下で社会的に公認され、守られ、人々の間の社会的関係を反映する言語表現様式」を意味する¹⁷⁵。また、「言語文化の二番目の側面つまり、礼節道徳に従って正しく言うことである¹⁷⁶」と述べている。ちなみに、言語文化の一番目の側面とは、規範的に間違いないように言うことである。すなわち、言語礼節は「言語文化の構成部分であり、言語礼節での基本は、言語礼節手段を正しく使うことである¹⁷⁷」と捉えている。

チョ・テリン(2018)は、これまで言語礼節についての学問的論議は量的にも質的にも十分ではないと指摘し、言語礼節については語用論や社会言語学分野で言語と文化に関連する議論が行われた場合に部分的に取り扱われていると述べている。チョは、言語礼節は「特定社会や集団内で尊敬と丁寧さを表すための言語的行為の順番序や秩序¹⁷⁸」と定義し、このような言語礼節は語彙、形態、文体、抑揚、会話構造、談話戦略などの様々な形式もしくは方式を通して実現される¹⁷⁹としている。また、このような言語礼節では「言語使用の普遍的側面とともに特定の社会や集団、特に近代国民国家の形態として規定される共同体の言語文化に固有の特殊な側面という二重的な特性が見られる¹⁸⁰」としている¹⁸¹。

¹⁷⁵ 『조선말례절법 (朝鮮語礼節法)』 과학백과사전출판사 (1983) p.20.

¹⁷⁶ 『우리말례절법 (我々の言葉礼節法)』 사회과학원 언어학연구소, 사회과학출판사 (2010) p.17.

¹⁷⁷ 『우리말례절법 (我々の言葉礼節法)』の言語礼節手段としては、1)文法的手段、2)語彙表現的手段がある。

¹⁷⁸ 조태린 (2018) 「언어 예절에 대한 언어 정책적 개입에 관한 비판적 고찰」 『국어학』 87, p.150.

¹⁷⁹ 同書, p.150.

¹⁸⁰ 同書, p.150.

¹⁸¹ 조태린 (2018)は、後者の特殊な側面について、言語礼節は近代的国民性を構成する一つの要素、または部分的な要素と見なすことができるという点で、近代国民国家の言語政策及び言語計画とも関連性を持つ可能性が十分にある。しかし、このような可能性があるにもかかわらず、言語礼節の問題が実際に近代国民国家の言語政策及び計画の対象となったのは日本と韓国以外ほとんど例を見ないと述べている。p.150.

『文化語学習』が言語指針書としての役割を果たしている語学雑誌であるため、言語実践的な側面である言語礼節について特に強調している。その内容としては、言語礼節を正しくするための文法もしくは語彙論的な手法、言語生活の中での言語礼節を守らなければならない理由などについて具体的な事例とともに掲載している。

本章では、言語礼節に関する多くの文の中でも「女性の言語礼節」というタイトルに注目した。その理由としては、解放直後から「男女平等」を社会の前面に出した北朝鮮では「女性の言語礼節」というタイトルは相応しくないとされたためである。

世の中の全ての言語共同体には、性別、つまりジェンダーによる言語の特性が見られるのは当然のことであろう。研究方法としては、自然な発話を中心に分析し、言語共同体におけるジェンダーによる言語の異同について明らかにする、また文学作品の中でジェンダーによる言語がどのように表れるのかについて分析する、などがある。

本章では、『文化語学習』に掲載された女性に関する文の中で「女性の言語礼節」と「文学作品の中での女性のことば」に分けて、北朝鮮における女性の言語の特徴と北朝鮮社会が女性に期待する理想の女性のことば及びその女性像について考察することを目的とする。

まず、『文化語学習』が発行される以前の北朝鮮における女性の政策・法律・制度などについて調べておきたい。

北朝鮮は1946年7月30日に「北朝鮮男女平等権についての法令(북조선 남녀평등권에 대한 법령)」を公布した。この法令によると、国家・経済・文化・社会・政治などのすべての領域において女性は男性と同じ平等権を持つという規定をはじめ、女性の選挙及び被選挙権、男性と同等な労働権と同一賃金、社会保険及び教育の権利、男性と同等な自由結婚と離婚の権利、離婚時元の夫に児童養育費を要求する訴訟権、男性と同等な財産及び土地相続権、娘と息子の同等な相続権などが含まれている¹⁸²(박영자:2004)。すなわち、この法令は、男女間の封建的な性役割の区分を廃止し、平等な男女関係を規定する内容をもっていた。これを通じて、北朝鮮で女性は男性と等しく、社会に参加するだけでなく、政治・法律的にも同等な権利を持つことになる。また、1947年1月には、強制的な結婚や重婚の禁止のような封建的な家族制度を革新するため「北朝鮮の封建遺習残滓を退治する法令(북조선의 봉건유습잔재를 퇴치하는 법령)」が公布されている¹⁸³。女性の社会的な参加を保障するため全国的に託児所が設立され、北朝鮮の女性労働力は飛躍的に増加し、1953

¹⁸² 박영자 (2004) 「북한의 남녀평등 정책의 형성과 굴절(1945~70) : 북한여성의 정치사회적지위 변화를 중심으로」 『아시아여성연구』 제43집 제2호, pp.297-330.

¹⁸³ 박현선 (1988) 『북한 여성의 지위와 역할에 관한 연구』 이화여자대학교 사회학과 석사논문.

年には全体労働力人口の 26%、1961 年には 32%にのぼっていた¹⁸⁴。1960 年代の後半に入ってから女性政策として、「家庭の革命化」・「女性の革命化」・「労働階級化」の三大革命課業が与えられる。初期の女性は、新たな国家と社会主義を建設するため、すでに労働階級の一員として平等な立場と位置づけられていたのである。1960 年代に入ってから、金日成の「主体思想」を確立するため動員させられる重要な役割となる。北朝鮮の女性は、外では男性と等しく労働をするとともに、家庭の中では子供が共産主義的に武装するよう教育させる役割を担うという新たな女性の役割が浮かび上がるようになっていく。

2. 「言語とジェンダー」と先行研究

「言語とジェンダー」についての研究としては、性別による語彙・発音・文法の違い、会話スタイル分析などのような言語使用による現象分析が代表的である。これは、社会言語学分野の一つとして言語変異を分析するための計量的なアプローチである。

一つの言語共同体において、ジェンダーによる言語の違いが存在するのは、おそらく言語の「普遍的な現象」かも知れない。人間が属している一つの共同体の中で、ジェンダーによる社会文化的な規範などが言語使用者の言語使用にも影響を及ぼすためである。したがって、言語使用の現象分析を通して、その社会でジェンダーのイメージがどのように構築されているのか把握することができる。

ロビン・レイコフの『言語と女の地位(Language and woman's place)』(Lakoff1975)で「言語使用」の性差別に関する研究が本格的に始まったと言われている。『言語と女の地位』について、直感に基づいた方法論と解釈の問題、分析資料などに対する様々な批判もあったが、「言語とジェンダー」の関係性について多くの例を挙げ、言語体系及び言語使用パターンの分析を始めて試みた点から大きな意義がある。

レイコフは、「女ことば」を「女しか使わないことば」と「女について話すときにだけ用いられることば」に区分した。以下は、前者である「女しか使わないことば」を「言語行動」に結びつけて、レイコフが挙げた「女の言語」の特徴とその解釈について中村(2001)¹⁸⁵がまとめたものである。

¹⁸⁴ 이태영 (1987) 『북한여성』 서울: 실천문화사.

¹⁸⁵ 中村桃子 (2001) 『ことばとジェンダー』 勁草書房, pp.16-17.

① 女は細かい区別の色彩語を使う。これは、色の区別などのつまらない決定のみ女性に任されているからである。

② 女は「くそ！(shit)」などのののしり言葉を避け「まあ！(oh dear)」などを使う。人は、激しく表現する人に耳を傾けるものなので、これは男の立場をさらに強化している。

③ 女は「すてき！(adorable)」のように、言及している概念をくだらなく感じさせる形容詞を使う。

④ 女は、話し手の自信のなさを表す付加疑問文や上昇イントネーションを多く用いる。付加疑問文とは、Mary is here, isn't she? (メアリーはここにいますね?) のような文を指し、断定文と疑問文の中間にあり「話してがある主張をしながらも、その内容の真実性に十分な自信がないときに使われる」。上昇イントネーションは、通常話し手が情報を求める疑問文に使われるが、女性は既知の情報を上昇イントネーションで述べる。これは、断定を避けていることを表している。

⑤ 女は「あの一(well)」「とか(y'know)」「みたいな(sort of)」など述べているないように対して不確かさ示す「垣根表現(hedge)」を使う。

⑥ 女は「非常に(very)」と言う断定的な表現を避け「すごく(so)」という感情を抑えた表現を用いる。

⑦ 女は going の省略形 goin' や am not の短縮形 ain't は使わず過度に正しい使い方をする

⑧ 女は男より丁寧な依頼表現を用いる。これは女の社会的地位が男より低いことを示している。

⑨ 女はジョークを言わない。だから、ユーモアがないといわれる。

⑩ 女は大げさに強調して話す。これは、内心の不安を写している。

レイコフは、上述した「女のことば」の特徴を持った女性は、説得力も自信感も欠如していると述べている。また、自分の意思を表明するのが苦手な、曖昧な表現と丁寧なことばを用いることによって、社会で期待される「女性らしい」女性としての姿を見せていると述べている。これは、男性に比べて社会的な地位が低いためであると主張した。レイコフは、女性の言語使用の分析を通して、性差別的な社会構造が構築されたことを証明した。

このように、ジェンダーによる言語や言語使用の分析によって、その社会で期待する「ジェンダー」のイメージがどのように構築され、どのような役割を要求しているのかがわかる。

韓国語における「言語とジェンダー」に関する研究では、特定の性別だけに使われる「対象語」の側面と特定の性別だけが発話する「発話語」の側面により構成されていると言われている¹⁸⁶。ミン・ヒョンシキ(1995)によると、女性語(women's language)とは、「女性対象語」(女性に使うことば)と「女性発話語」(女性が使うことば)の二つに分けた。これは、レイコフ(1975)が「language descriptive of women alone」と「language restricted in use to women」に区分して女性語について説明したのと同じである。「女性対象語」については、指示語・関連語・描写語に分けた。「女性発話語」の特徴としては、音韻的・文法的・語彙的・語用的特性があり、これらについて分析した¹⁸⁷。

チェ・チュンオク(2009)は、韓国で研究された「女性語」研究の中で、「発話語」の文法的な特徴をまとめた。チェによると、「女性発話語」は「①待遇表現が特異である¹⁸⁸、②疑問文をたくさん使う¹⁸⁹、③勧誘文と感嘆文をたくさん使う¹⁹⁰、④曖昧な話法・協同的な対話をたくさん使う¹⁹¹」という特徴があると分析した。

ソ・ジンスク(2010)¹⁹²は、韓国語における女性語の変化を通時的に考察し、女性語の使用範疇の変化様相を分析した。韓国における女性語が家父長制の原理の中に規定され、分化していると述べ、このような家父長制の変化とともに女性語にも変化があったことを明らかにした。ソによると、韓国における女性語についての研究は、外国語に現れた女性語と性差別語などの影響から始まり、本格的な研究は1980~1990年代にフェミニズムの成長とともに研究された。また、ソは韓国語に適用された女性語と性差別語についての研究は、2000年代に入ってから可視的な成果はあるが、研究史的な視点からはまだ不十分な状況であると指摘した。

¹⁸⁶ 민현식 (1995) 「국어의 여성어 연구」 『아시아여성연구』 34, p.8.

¹⁸⁷ 1)音韻的特性としては、①常態用法、接続語のプロミネンス②標準語の指向性、2)文法的特性としては、①疑問文の多用、②尊敬語の使い方、3)語彙的特性としては、①副詞・感嘆詞の積極的使用、②汚い言葉と禁忌語の消極的使用、③関心語の違い、4)語用的特性としては、①多変性、②協力的な会話、③相槌、④曖昧な言葉、⑤褒め言葉、⑥丁寧語に分けて分析した。

¹⁸⁸ 강정희 (1987) 「여성어의 한 유형에 관한 조사 연구 '-는/ㄴ거 있죠'를 중심으로」 『국어학신연구』 1, 탑출판사.

¹⁸⁹ 민현식 (1995) 「국어의 여성어 연구」 『아시아여성연구』 34, pp.7-64.

¹⁹⁰ 이석규·김선희 (1992) 「남성어·여성어에 관한 연구」 『어문학 연구』 2, 목원대.

¹⁹¹ 김선희 (1991)·민현식 (1995)

¹⁹² 서진숙 (2010) 「국어 여성어 변천 연구」 경희대학교 국어국문학과 박사논문.

北朝鮮における女性語の研究は、これまでにはそれほど研究されてこなかったが、イ・ジョンボク(2007)¹⁹³の北朝鮮の国語辞書に現れた女性差別語を分析した研究がある。内容としては、北朝鮮の国語辞典の標題語・意味・用例から見られる女性差別語の表現について、女性を排除する表現・妻を夫に従属させる表現・女性を主婦や妻などの性役割を規定した表現・女性の品位を損なう表現・女性を男性の下位者として取り扱う表現に分けて分析し、研究者本人がすでに分析した韓国の国語辞書との共通点と相違点について論じたものである。

¹⁹³ 이정복 (2007) 「북한 국어사전에 나타난 여성 차별어 분석-남한 국어사전과의 비교를 중심으로-」 『우리말글』 40, pp.147-174.

3. 『文化語学習』を通して見た北朝鮮における女性のことば

以下の【表 1】は、『文化語学習』の中で「女性の言語」と関係があると判断されるものをまとめたものである。

【表 1】『文化語学習』に掲載された女性の言語に関する掲載文

	タイトル	年-号
1	偉大な革命歴史の足跡をたどり—偉大な首領は抗日武装闘争時期の女性が朝鮮の文字を習うことができるように強く導いてくださった。	1973-2
2	不撓不屈の革命闘士である金正淑同志は女性たちの朝鮮語学習に注いでくださった熱い愛	1975-4
3	女性たちの礼節のある儉朴な言葉遣い	1976-3
4	女性たちの礼節のある儉朴な言葉	1981-2
5	女性たちの言語礼節	1984-3
6	女性たちの言語生活と遠回し	1988-4
7	文学作品と女性たちについての言語形象	1990-2
8	女性を形象した詩文学の言語は女性的な味わいがしないとならない。	1994-4
9	女性たちの美しさとは。	1994-4
10	女性たちの言語礼節—我々の女性たちの美德	1995-2
11	女性たちの言語礼節—奉仕者の日記	1995-2
12	女性たちの言語礼節—愛される人民班長家庭	1995-2
13	朝鮮女性たちの共産主義美德を反映した小説文学の言語形象的な特性	1998-2
14	抗日の女性英雄である金正淑同志がなした革命的な文芸活動の輝く業績	2003-4
15	女性の言語礼節	2008-2
16	抗日女性英雄の金正淑同志に対する熱情的な頌歌の言語形象的な魅力—叙事詩「동지 (同志)」の言語形象について—	2008-4
17	諺から見た人生倫理 (女性と生活)	2010-2
18	先軍時代における女性の生活を反映した詩歌作品の特色のある言語形象	2011-1
19	祖国の未来を抱いてきた抗日女性英雄である金正淑同志の崇高な風貌を見せるのに寄与した生き生きとした言語形象—短編小説「시내물소리(小川のせせらぎ)の言語形象について—	2011-3
20	抗日の女性英雄である金正淑同志の永生の姿に対する感銘深い言語形象—短編小説「오늘도 살아계시다 (今日も生きていらっしゃる)」を読んで—	2011-3

【表 1】の内容によって、「女性の言語礼節」と「文学作品の中での女性の言語」に分類した。

3.1 「女性の言語礼節」

「女性の言語礼節」では、女性が守らなければならない言語礼節について言及している。『文化語学習』の1976年3号には、女性における言語礼節の重要性についていかのように述べている。

「言葉と言葉遣いは、人々の革命的な事業方法と人民的な事業作風、道徳品性などをそのまま表すほど集団主義に基づいた我々の社会の本性に合わせて、美しくて礼節のある言葉遣いをするのはとても重要な問題の一つである。これは、**特に、女性たちの言葉遣いが大きな影響力を及ぼしている**のでさらに重要である。人口の半分を占めている女性たちみんなが社会生活、社会活動をしていること、女性たちが子供たちを自分で育て、教養¹⁹⁴しているというのは女性たちの言葉遣いが今日の社会生活だけではなく今後の社会生活に至るまでどれほど大きな影響力を及ぼしているかをよく表している¹⁹⁵。」

「**特に、女性たちの言葉遣いが大きな影響力を及ぼしている**」というのは、女性が社会活動と家庭生活を両立している主な主体として存在していることの表れである。具体的な例として1981年2号に以下のように書かれている。

- ・女性教員が礼節のある**儉朴な言葉**を話すと、学生はその学ぶ内容をよりよく理解することができるようになるだけでなく高尚な共産主義的道徳品性を一層高めていくことができる。
- ・**勤労女性たちの礼節のある儉朴な言葉**は、人同士の協力と団結を強化することで、さまざまな事業でより多くの成果を収めるようにする。
- ・**特に、家庭でのお母さんの礼節のある儉朴な言葉**は、子供の教養に大きな影響を及ぼす。

社会では集団生活をしている女性社会人として、家庭内では子供の教育を担う母親としての役割が要求されている。ここで特に強調されている言語礼節として「礼節のある儉

¹⁹⁴ 北朝鮮で「教養」の辞書の定義は「人々を社会生活と活動に能動的に参加することができるように資質を備えるために行われる全ての過程」である。上記の内容から見て「教養」は「家庭教養」を意味するが、辞書の定義としては「親をはじめとして家庭の大人たちが日常生活を通して子供に行われる教養である」という意味である。

¹⁹⁵ 『文化語学習』 1976年 3号, pp.41-42 (強調は筆者)。

朴な¹⁹⁶言葉遣い」がある。「礼節のある儉朴な言葉遣い」は、「全ての社会生活で提起される重要な問題であり、社会生活が人々の相互関係の中で行われ、その相互関係は言葉を手段にするためである¹⁹⁷」としている。また、「社会生活において女性たちは集団と個人、及び公的・私的な様々な社会関係を持っているが、この社会関係に成果をもたらせるためには、礼節のある儉朴な言葉はとても重要な意義を持つ¹⁹⁸」としている。

女性の言語礼節の中で最も強調してきたのが「礼節のある儉朴な言葉遣い」であるが、これは女性が社会生活と家庭生活を両立している主な存在であることを断片的に見せているとも言える。

『文化語学習』によると、「礼節のある儉朴な言葉遣い」を使うためには、

- 一、 尊敬語を使用すること、
 - 二、 遠回しの表現(「에두른 표현」)を使うこと、
 - 三、 言葉の文化性を保障すること、
- が大事である。

一、の「尊敬語を使用すること」とは、目上の人に対して正しく敬語を使うことを意味するだけでなく、組織的な指示や集団を対象とする場合に目下の人に対しても敬語を正しく使わなければならないということである。

尊敬語が発達している朝鮮語の場合、言語生活において目上の人に対して言語礼節を正しくすることは大事である。しかし、目上の人だけではなく子供の教育を担当する母親は言葉を学ぶ時期の子供に対しても、常体ではなく敬語または丁寧な終結語尾などを使わなければならないのである。子供の家庭教養(=家庭教育)を非常に重視している北朝鮮では、母親が使う言葉は子供に影響を及ぼすため、母親は言語礼節を正しくしなければならないということである¹⁹⁹。北朝鮮で「子供の一番の教養者は母親」という言

¹⁹⁶ 「儉朴な」という言葉は、「儉素で素朴な」という意味の朝鮮語の漢字表記である。

¹⁹⁷ 『文化語学習』1981年 2号, p.56.

¹⁹⁸ 『文化語学習』1981年 2号, p.56.

¹⁹⁹ 母親が教える言語礼節についての掲載文は以下のようだ。

タイトル	年-号	タイトル	年-号
「家庭で言語礼節についての教養を正しくするためには」	1973-1	「お家でお客を迎える時」	2004-2
「お母さんたちは息子と娘を礼節正しい生徒として育てなければならない」	1978-4	「お母さんは朝鮮語の初教育者」	2008-3
「家庭教養と挨拶」	1982-1	「言語生活も子供の鏡になるように」	2009-3
「礼節を正しくしましょう-家庭で」	1982-2	「家庭教育と挨拶」	2010-1
「小さい頃から言語礼節を正しくするように」	1987-1	「子供たちの言語生活とお母さんの教育教養」	2011-3

葉があるが、子供のことは言うまでもない、衣食住に関する全ての点において母親から教えてもらうためである²⁰⁰。

また、学校の女性教員についても子供に対して尊敬語を使わなければならないと述べている。尊敬語を教えるための目的だけではなく、子供を尊重するという意味として使わなければならない。子供に尊敬語、または丁寧な終結語尾を使うのは、母親と女性教員のみで、父親や男性教員については特に言及していない。

二、の「에두른 표현(遠回しの表現)」というのは、「ある物事の現象を表現するとき、すでにある単語や表現が平凡なものであるため、別の名前や表現で遠回して使うこと」を意味する²⁰¹。「遠回しの表現」としては以下の例が挙げられている。

例) (1) 「그는 남같지 못한 몸이지만, 일에서 뒤떨어지지 않았답니다。」(1984-3)

「彼は人より劣る体だけれど、仕事では劣っていなかったそうです。」

(2) 「아버님, 부디 오래오래 앉아계세요。」(1988-4)

「お父さん、どうか長く長く座っていらしてください。」

(3) 「말씀이 멩니다, 말씀이 먼 것 같아요。」(1988-4)

「お言葉が遠いです。お言葉が遠いようです」

(4) 「지금 바쁘시지 않습니까?」(1981-2)

「今、お忙しくないですか。」

(5) 「일이 좀 있어서...」(1981-2)

「ちょっと、用事があって...」

(6) 「책을 좀 가져다 주겠니?」(1981-2)

「ちょっと本を持ってきてくれる?」

(1)では、「불구(不具)」という言葉を「남같지 못한 몸(人より劣る体)」に変えるのが良い表現で、(2)は「부디 오래오래 사세요(長く長く生きてください)」の遠回し表現であると説明している。(3)も「잘 안 들려요, 무슨 소리인지 도무지 알 수 없어요((通話中)よく聞こえませんが、何を言っているのかとうてい分かりません)」のような遠回しが良い表現であると述べている。聞き手に柔らかい印象を与えることができ、遠回しの表現を柔らか

「お母さんは朝鮮語の初教育者」	1988-4	「小さい子供たちに対する言語礼節教養」	2017-4
-----------------	--------	---------------------	--------

²⁰⁰ 「어머니는 우리말의 첫교육자」 『文化語学習』 1988年 4号, p.41.

²⁰¹ 『文化語学習』 1985年 4号, p.58.

い語調にすることも強調している。(4)では、「지금 만날 수 있습니까?(今、会えますか?)」のような直接的な言い方より、是非お会いして話したいことがあるという気持ちが伝わり、表現においても女性らしさを顕著に見せてくれるとしている。「一緒に行こう」という勧誘についても「行けない」とか「行かない」のような断り表現を(5)のようにいうことで、相手対しての謙遜に対する表現になるという。目下の人に対しても「本を持って来い」のような命令ではなく、(6)のように要求するような表現をするのが女性らしいとしている。

また、「遠回しの表現」は命令形を勧誘形に、勧誘形や命令形を疑問形に語法を変えることもある。このように語法を変えて作られた「遠回し」は特に女性が言語礼節を正しくするためによく使われる言い方であると述べている²⁰²。

上記の例以外にも愛情を表現する時の言葉遣いについても述べている。(1988-4)

- (7) 「둘이 함께 끝까지 혁명하자고 맹세하었어요.
「二人で一緒に最後まで革命しようと誓いました。」
- (8) 「동무의 영원한 길동무가 되겠어요.
「ドンムの永遠な道連れになります。」
- (9) 「동무와 함께 이 땅에 뿌리내리여 청춘을 빛내이겠어요.
「ドンムと共にこの地に根付き、青春を輝かせます」

(7)、(8)、(9)のような例は、未婚の女性が愛を受け入れるという暗示的な意味を表す表現である²⁰³と述べている。もし、愛の告白に「좋아요(いいよ)」、「사랑을 승락해요(愛を承諾します)」などのような直接的な答えは、低俗な文化水準を表すことであり、女性としての謙遜と素朴性を表すどころか、生意気に見える²⁰⁴としている。人のプライベートな部分とも言える愛の告白についても女性は愛の感情を積極的に表現するより、遠回しの表現を使って女性らしい品性を表すことを強調している。

三、の「言葉の文化性を保障する」と言うのは、俗語やなまりを使わないこと、大げさな表現を使わないことである。また、難しい漢字語や外来語を使わないことが重要である。例えば、「몇가지 문의하겠습니다。」(「いくつか問議(문의:「お問い合わせ」)します)」

²⁰² 『文化語学習』 1985年 4号, pp.58-59.

²⁰³ 『文化語学習』 1988年 4号, pp.43-44.

²⁰⁴ 『文化語学習』 1988年 4号, pp.43-44.

より、「몇가지 물어보겠습니다。」（「いくつかうかがいます」）がさらに素朴で、大人しく朝鮮の女性らしい品格をさらに高くすると述べている²⁰⁵。

3.2 「文学作品の中での女性のことば」

① 対話から見られる女性のことば

文学作品の対話で見られる女性の言語の一番目の特徴としては、目上の人だけではなく目下の人との対話においても、丁寧な終結語尾が使われているのである。

女性教員：「일영학생! 학생들이 왜 내 말을 안들을가요?」

「イルヨン学生！生徒さんがどうして私の言うことを聞かないのでしょうか？」

中編小説『나의 교단(私の教壇)』で女性教員が生徒との会話でも朝鮮語の集結語尾である「요:yo」を使って生徒さんを尊重するような丁寧な言葉遣いをした。

二番目の特徴としては、柔らかくて優しい言葉遣いである。次は、短編小説『자기 위치 앞으로(自分の位置の前へ)』の男女登場人物の台詞の一部を取り上げたものである²⁰⁶。

女性：「다람쥐가 회초리같은 나무가지끝에도 자유롭게 오르내릴수 있는것은 긴 꼬리를 가지고 몸의 균형을 옹게 조절하고 있기 때문이에요. 말하자면 다람쥐는 긴 꼬리를 가지고 몸의 중심모멘트를 조절하고 있는거예요. 우리는 25톤 기중기를 팔을 떼지 않고 그 팔을 리용하려고 해요. 다람쥐의 꼬리처럼말이에요.」

女性：「リスがムチのような木の枝先にも自由に登ったり下ったりできるのは、長い尻尾を持って、体の均衡を正しく調節しているからです。言わば、リスは長い尻尾を持って体の中心モメントを調節しているのです。私たちは 25 トン起重機を、腕を離さずその腕を使おうとします。リスの尻尾のように。」

²⁰⁵ 『文化語学習』 1981年 2号, pp.56-57.

²⁰⁶ 『文化語学習』 1990年 2号, p.12.

男性：「지배인동지도 아시겠지만 공병들이 여러척의 작은 도하창(철선)우에 다 널판을 놓고 큰 도선판을 만들어 땅크며 포를 운반하지 않았습니까? 그런 식으로 60 톤건인차 몇대로, 말하자면 자동차도선판을 만들어 신자는것입니다. 공병들이 통로를 개척하듯이 불도젤로 길을 닦으며 그의 뒤를 따라나간다면 두달이 아니라 하루면 될것 같습니다。」

男性：「支配人同士もご存知のように、工兵たちが何隻の小さい鉄船の上に板をおいて大きな渡船板を作って、タンクも砲も運んだじゃないですか。同じく 60 トンの牽引車何台で、自動車渡船板を作って載せようということです。工兵たちが通路を開拓するように、ブルドーザーで道を作って、その後をついて行けば、2ヶ月ではなく一日で十分だと思います。」

男女における比喩の表現方式の違いについてよく見られる事例である。女性の場合は、リスという小さくて可愛い動物に例えて、より親密感を感じられる情緒表現が見られる。しかし男性の場合は、軍事用語に例えて、多少粗野で攻撃的な表現を使っている。

最後に対話から見られる女性のことばの特徴としては、「遠回しの表現」を使っていることである。「朝鮮の人々は、礼節正しく道徳的な観念が強く、自分を追い出そうとしなかったし、ことばと行動を荒くしなかったと言われているが、これは朝鮮固有の民族心理的特性がそのまま反映されているためである²⁰⁷」としている。女性の遠回しの表現は、特に愛情問題や理性関係との対話でよく表現されている。以下は、短編小説『「혜주-하성」서 온 편지(「惠州—河成」から来た手紙)』の一部である。

우리는 덩석 손을 마주잡았어요.

「명희동무!...」

그의 굵은 목소리는 떨리고 있었어요....

「난, 난 동무가 제일...」

오빠, 나는 부지불식간에 목안에 기여드는 목소리로 이렇게 말하고는 그만 얼굴에 모닥불이 확키었히는것 같아서 「안예요!」 소리치면서 방향도 없이 산아래로 내리달렸어요.

²⁰⁷ 『文化語學習』 1990年 2号, p.13.

「명희동무! 명희동무!」

자꾸 부르는 소리가 뒤따라왔어요.

私たちは思わず手と手を取り合いました。

「미ョン히돈므!...」

彼の野太い声は、震えていました。...

「私は、私は돈므が一番...」

オッパ、私は知らず知らず小さい声でこのように言ってしまってから、顔に
焚き火がパッと降りかかるような気がして「なんでもないです!」と叫びなが
らとにかく山の下へ走り続けました。

「미ョン히돈므!미ョン히돈므!」

という声が聞こえて来ました。

『文化語学習』によると、女主人公である미ョンヒは男主人公に「愛してる」というこ
とばを露骨に言うのは恥ずかしく「난, 난 동무가 제일... (私は、私は돈므が一番...)」
と本音を言おうとしたが、羞恥心が先立ち「안예요! (なんでもないです)」と反義語で遠
回しの表現を使ったというのである。このような女性の言葉遣いで北朝鮮の女性の美德が
さらに素晴らしく形象化することができたとも分析している。

② 詩文学で見られる女性の言語形象

『文化語学習』では「言語形象」という言葉がよく登場するが、「形象」という言葉の
辞書的定義を調べておきたい。

【形象】①《本来、形象の本質は人間と生活を事実のままに生き生きと意義深
く描くことによって、人々が直接に見たり、聞いたりする過程の中に体现され
ている深い意味を感性的に把握することにある。》(金正日《映画芸術論》、6
7ページ)

②文学作品で人間とその生活を事実のままに具体的に生き生きと描くこと、ま
たはその画幅である

次は、『文化語学習』で紹介された女性を形象した詩文学の中でよく見られる特徴である。

a. 固有の朝鮮語表現

「살며시 눈을 떠요, 하이얀 단벚꽃, 한껏 부푸는 꽃잎, 두뺨을 비비며」

「そっと目を開ける、白い桜のお花、一層膨らむ花びら、両ほおを擦りながら」

b. 話し言葉の語彙表現

「왜, 어찌하여, 정녕, 몰라요, 들어요」

「なぜ、どうして、本当に、知らない、聞いてます」

c. 女性に似合う音声表現

「호호호, 하하하」

「ホホホ、ハハハ」

『文化語学習』で紹介された北朝鮮の詩文学である「단벚꽃이 피요 (桜の花が咲きます)」、「당이 준 심장이예요 (党がくれた心臓です)」、「처녀시절 (娘時代)」から取り上げた例文である。女性を形象した詩文学であるため、女性の特性を生かさなければならぬとしている。a.の場合は、朝鮮女性の心理と感情がよく伝わるように朝鮮の固有語を使うことが大事であるが、このような表現は女性のみに使われる表現であるとしている。b.の場合は、「詩文学自体が人間の生活と離れた抽象的で概念化された感情ではなく、人間の具体的な生活の中で滲み出る思想感情を反映する文学であるため」であると述べている。c.の場合は、朝鮮語の母音の中で「아 : a」と「오 : o」のように明るい母音を使ったり、朝鮮語の子音である「ㄴ : n、ㄷ : l、ㅇ : ng、ㅁ : m」のような有声音を使ったりして、明るく柔らかい感情表現をすることを強調している。

③ 先軍時代の文学から見られる女性の言語

これまで取り上げた①対話の中での女性の言語、②詩文学で見られる女性の言語形象の中では、文学作品の中での北朝鮮における女性は柔らかく丁寧な言葉遣いを使い、明るくて柔らかい感情が見られる表現を使ってきたことがわかる。

しかし、北朝鮮では1990年代半ばから始まった「苦難の行軍²⁰⁸」を克服するために人民軍隊を重視する「先軍政治」が前面に出されることになる。これによって、文芸政策とその方向性も2000年前後には「先軍革命文学」に帰結されることとなる²⁰⁹。このような党の政策によって、先軍思想に基づいた先軍時代を代表する多くの文学作品が創作された²¹⁰。

『文化語学習』でも2000年前後に創作された先軍時代の文学作品が紹介されている。③では、先軍時代に発表された作品の中で北朝鮮の女性がどのような言語を使い、どのように表象されているかについて考察する。

先軍時代には「처녀 (乙女)」・「妻」・「母」としての女性がいる。まず、未婚の女性を意味する言葉として使われる「처녀 (乙女)」から見てみよう。

「나는야 선군시대 총대처녀 (私は先軍時代の銃床乙女)」 (ハン・ジョンシル、1995)

준마타고 달리는 처녀도 좋지만 총을 잡은 처녀병사 나는 되었네
선군의 품 지켜야 내 삶도 있기에 총과 함께 청춘을 꽃피워가네
아 아버지장군님 제일로 사랑하시는 나는야 총대처녀 선군시대 총대처녀
처녀시절 고운 꿈 초소에 수놓는 처녀병사 이 가슴엔 자랑도 많아.....

駿馬に乗って走る乙女もいいけど、銃をもった乙女兵士に私はなった
先軍の心守ることで、我が人生もあり。銃と共に青春を花咲かせる
あ、父なる将軍よ、一番愛される私こそは銃床乙女、先軍時代の銃床乙女
乙女時代夢見た哨所に飾る乙女兵士、この胸にはほこりもいっぱい.....

²⁰⁸ 北朝鮮で「苦難の行軍」が公式的に宣言された時期は、1996年1月1日から1997年10月10日までとする。

²⁰⁹ 김성수 (2009) 「선군과 문학 『조선문학』 (1998~2007)10 년의 쟁점」 『북한문학의 지형도 2, 선군시대의 문학』 이화여자대학교 통일학연구원, p.28.

²¹⁰ 同書, p.28.

「여성해안포병의 노래 (女性海岸砲兵の歌)」 (박·ナムヒョン, 1995)

한생의 귀중한 **처녀시절**에 대포와 인연맺고 진지에 우리 산다네
간호원 통신병 모두 좋지만 해안포 다루는 포병이 제일
우리들은 장군님의 녀성해안포병
연약한 팔뚝에 장수힘 키워 육중한 강철대포 우리는 길들였다네
.....위훈을 꿈 꾸는 **처녀**이라면 흰 파도 설레이는 해안포진지로 오라
싸움의 그날엔 용맹 떨치고 통일의 축포도 우리가 쏘리
우리들은 장군님의 녀성해안포병 우리들은 장군님의 **녀성해안포병**

人生の貴重な乙女時代に大砲と縁を結び、陣地に我々は住んでいる
看護師、通信兵それぞれいいけど、海岸砲を撃つ砲兵が一番
我々は將軍の女性海岸砲兵
弱い腕力を力強く育て重い鋼鉄大砲に我々は親しんできた
.....偉勲を夢見る乙女ならば白い波心弾む海岸砲陣地に集まれ
戦いのその日には猛勇を振るい統一の祝砲も我々が撃とう
我々は將軍の女性海岸砲兵、我々は將軍の女性海岸砲兵

これまで「처녀 (乙女)」は弱く羞恥心をもつ女性として表現されてきたが、先軍時代の「처녀 (乙女)」はたとえ弱々しい腕の女性であっても、腕力を育て鋼鉄大砲が慣れ親しんできた女性として表現しているのである。先軍時代の文学作品の中で「처녀 (乙女)」は「乙女時代」、「乙女兵士」、「銃床乙女」のように使われ、強くてたくましい女性として描かれているのである。

次は、「妻」としての女性の言葉について見てみよう。

「나는 군관의 안해라오 (私は軍官の妻であろう)」 (ハン・ジョンシル、2001)

군모의 붉은 별에 내 마음 끌리었나 총잡은 그 모습이 미더워 정 들었나
조국이 귀중하여 총대를 사랑하는 나는 나는 **군관의 안해** 여성혁명가라오
전사들 위한 일에 고운 손 다 닳아도 초소를 돕는 보람 날마다 커만 가요
병사들 어머니로 내 사랑 바쳐가는 나는 나는 **군관의 안해** 여성혁명가라오
언제나 **총꾼처럼 총대**만 따라가며 **남편의 부사수**로 전호에 함께 살리
장군님 총대가정 대대로 빛내 갈 나는 나는 **군관의 안해** 여성혁명가라오

軍帽の赤い星に惹かれたのか、銃をもったその姿が逞しくて情が深まったのか
祖国が貴重で銃床を愛する我は我は軍官の妻、女性革命家であろう
戦士たちのため綺麗な手擦れても哨所を手伝うやりがい、日々大きくなる
兵士たちの母として私の愛、捧げていく我は我は軍官の妻、女性革命家であろ
う
いつも銃の紐のように銃床だけに従い、夫の副射手として塹壕で共に生き
将軍の銃床家庭、代々輝いていく我は我は軍官の妻、女性革命家であろう

まず、「총꾼 (銃の紐)」と「부사수 (副射手)」に注目しよう。これは、「나는 군관의 안해라오 (私は軍官の妻であろう)」(2001)という歌の歌詞の一部で、軍官の夫がいる妻に対して使った表現である。妻である女性に「총꾼 (銃の紐)」と「부사수 (副射手)」のように比喩したのは、「총대 (銃床)」と「남편 (夫)」という主体に対する客体として用いられた表現である。

最後に、「母」としての女性である。

「병사들은 나를 보고 어머니래요(兵士たちは私を見てお母さんだって)」

(ハン・ジョンシル、2000)

...향기로운 꽃다발을 안겨주면서 병사들 나를 보고 어머니래요
아이 참 부끄러워 고개 숙였어도 어쩐지 그 이름 어쩐지 그 이름 정다웠어요
잠복초소 병사들이 돌아온 아침 생일상도 푸짐하게 차려줬더니
구수한 토장국이 별맛이라며 병사들 나를 보고 어머니래요
아이 참 한 일 적어 얼굴 붉어져도 어쩐지 그 이름 어쩐지 그 이름 뜨거웠어
요
어머니라 불러주는 정다운 이름 금별의 표창보다 더욱 소중한
장군님 아끼시고 사랑하시는 병사들 어머니로 나는 살고파...

...香る花束をくれる兵士たちは私を見てお母さんだって。
おやまあ、恥ずかしくてこうべを垂れたけれども、なぜかその名、どういうわけかその名睦まじかった。
潜伏哨所の兵士たちが帰ってきた日の朝、誕生日の食事も盛大にもてなしたら、
香ばしい味噌汁も美味しいと言いながら、兵士たちは私を見てお母さんだって。
おやまあ、大したことなくて赤ら顔になっても、なぜかその名、どういうわけかその名熱かった。
お母さんと呼んでくれる優しい名前、金星の表彰より大事
将軍が大切にし、愛する兵士たちのお母さんとして私は生きていきたい...

未婚女性である「처녀 (乙女)」は、男性と同じく戦場に出るための兵士として育てられている姿を描写し、逞しくて独立的な役割をしている女性像が見られる。「妻」や「母」としての女性は、柔らかくて優しい女性像が見られる。夫や兵士を支えてくれる存在として、また先軍革命の英雄のために自分を犠牲にする女性として描かれている。北朝鮮における女性に、特に「母」としての役割が頻繁に強調されるが、これは金正淑と関連づけて説明することができる。『文化語学習』にもよく登場する人物として「金正淑」が挙げられる。

金正淑は、その夫である金日成の意を受けて女性たちの文盲退治事業に情熱的に関わり指導した人物である。北朝鮮の女性にとって「不撓不屈の共産主義革命闘士である金正淑同志は、我々女性たちを女性革命家として共産主義闘士として育てられ、我々女性の蒙昧で膜のかかった瞳を拭いさった偉大な師匠²¹¹」として描写している。『文化語学習』では彼女の言葉をその意のままに学ぶのは、北朝鮮の女性の特徴である²¹²と述べている。金正淑の言葉が北朝鮮女性の特徴であり、北朝鮮社会の理想の女性像として描かれている。

4. 終わりに

本章では、北朝鮮における女性の言語について考察した。『文化語学習』に掲載された「女性のことば」のカテゴリーに入る掲載文を分析することによって、北朝鮮における女性のことばの特徴と北朝鮮社会が理想とする女性像について考察した。

北朝鮮の歴史から見ると、1946年という多少早い時期から「北朝鮮男女平等権についての法令」に基づいて法律的・制度的な基盤が構築され、女性の社会経済の積極的な参加を督励してきた。1960年代半ばからは、朝鮮労働党の唯一思想を樹立するため女性に対する政治思想教養を強化し、組織社会において女性の社会進出を保障するための国家政策を広げた。

言語においては、北朝鮮の女性英雄である金正淑のことばと行動を学ぶことを強調してきた。北朝鮮において、金正淑は抗日闘争運動をした女性英雄でもあり、同時に温かい女性として描かれている人物である。『文化語学習』で紹介された金正淑のことばや行動は、あたかも「女性としてのふさわしい言語礼節」のように述べられている。女性にとって特に強調された言語礼節としては、「礼節のある儉朴な言葉遣い」であるが、そのためには尊敬語を使うこと、遠回しの表現をすること、言葉の文化性を保障することである。昔から朝鮮の女性は、礼節正しく自分の意見をそのまま言わない方が美德とされていたため、伝統的な女性としての言葉遣いや行動様式を持つことが理想としての女性像であった。

社会では男女平等を前面に出した国家政策を広げる一方、言語においては相も変わらず伝統的な女性像を強調してきたことが見受けられる。女性の役割が強調されるとともに、女性の言語生活及び言語礼節の重要性が高くなっていく。

²¹¹ 「불요불굴의 혁명투사 김정숙동지께서 여성들의 우리 말 학습에 돌려주신 뜨거운 사랑」 『文化語学習』 1975年 4号, p.26.

²¹² 『文化語学習』 1976年 3号, p.41.

北朝鮮で理想とする女性は、家庭の母としての役割のみならず、個人としては共産主義道徳を正しく守り、集団のためには個人を犠牲にする女性のことである。

第5章 ドラマ「우리 이웃들 (ご近所物語)」を通して見た南北言語²¹³

1.はじめに

2018年2月、平昌冬季オリンピックでアイスホッケー女子南北合同チームは、韓国国内はもちろん、世界の注目を集めた。当時、韓国選手に対するインタビューでよく言及されたのは、南北言語の違いについての質問であった²¹⁴。その理由としては、アイスホッケーが個人戦ではなく団体戦であるので、何よりチームメイトとのコミュニケーションが非常に大事なスポーツであるためである。まず、選手たちは南北のアイスホッケー用語が違うことについて述べた。例えば、韓国で使っている「パス」、「ゴーリー」、「バタフライマッキ」のような用語を北朝鮮では「ヨンラクハラ」、「ムンジギ」、「ナビマッキ」のように使っていた²¹⁵。このような用語をお互い通じるようにするのが最優先課題であったので、両国のコーチは3ページ分のアイスホッケー用語集を作ったという。これで、選手たちは「最初は言語が違って苦労したが、何回も繰り返してみたら自然にわかるようになった」と答えた。

これは、外来語であるアイスホッケー用語をそのまま使う韓国と、固有語に変えて使う北朝鮮の言語特徴を表わす一つの事例である。一つの用語が意味するところは同じであるが、それぞれ「表記」をする方法が異なるのである。したがって、アイスホッケーというスポーツで使われる専門用語の違いは、すなわち「表記」の違いに過ぎないもので、選手たちのインタビューでもわかるように時間が経つと自然に理解することができるものであった。

それでは、選手たちの日常会話での言語の違いはなかったのだろうか。ある選手は「思ったより単語が異なり、日常会話をする時に理解できなかった部分が意外に多くて、少し驚いた」と言った²¹⁶。このインタビューは、日常会話で「語彙」によるコミュニケーションの難しさについて言及したもので、南北の日常語彙にもかなりの差があることを示唆し

²¹³ 本章は、筆者が書いた「북한 드라마 「우리 이웃들」을 통해 본 남북 언어」 『한국학과 조선학, 그 쟁점과 코리아학1』(2018年)を修正及び翻訳したものである。

²¹⁴ 「남북 단일팀의 비밀병기는 아이스하키 용어집」 『노컷뉴스』2018年2月9日。「北선수들, 다른 이 별이라서 더 슬펐던 것 같아요.」 『시사자키 정관용입니다』 CBSラジオ, 2018年3月13日.

²¹⁵ 「パス」(패스)は「連絡しろ」(연락하라)、「ゴーリー」(골리)は「ムンジギ」(문지기: 門を守るものを意味する朝鮮固有語)、「バタフライマッキ」(버터플라이막기)は「ナビマッキ」(나비막기: 蝶マッキ)のように使われている。

²¹⁶ 「30년 만의 평창 올림픽의 성과와 남은 과제」 『KBS공감토론』 2018年2月28日.

ている。おそらく、選手たちは訓練や試合の時に使われる専門用語の相違よりも日常会話でのコミュニケーションがうまくいかなかったのかもしれない。なぜならば、専門用語より日常語彙のほうが、使用領域ははるかに広く多義語が多いためであり、また北朝鮮ならではの独特な表現によって、意味の把握自体が困難な語彙もあったためである。

北朝鮮の選手と出会って、実際に会話をした選手のインタビューでも分かるように、南北の言語の違いが最も顕著に表れるのは「語彙」である。特に、日常語彙の違いは大きいので、日常言語を通じた語彙とその使用様相についての分析が必要であろう。

2. 北朝鮮の日常言語が見られるドラマ

本章で日常言語とは、日常生活で実際に発話されたものをいう。似ている概念として社会言語学用語である「自然発話」(unplanned discourse)²¹⁷がある。社会言語学では、日常生活で実際に発話された内容をそのまま録音して資料として使う。ある地域の言語変異もしくは実際の言語使用様相などを分析する際に使われる一つの方法である。

北朝鮮という特殊な地域の日常言語を研究するのは簡単ではない。北朝鮮の人々の「自然発話」を資料とするのは、現実上、不可能な状況であるため、北朝鮮の日常言語を社会言語学的な視点から分析した研究はこれまでなかったといっても過言ではない。

このような理由で、北朝鮮における言語についての資料及び分析対象は主に印刷媒体に集中されている。特に、南北言語の違いの特徴が著しく現われるとも言える「語彙」レベルに注目した研究としては辞書・新聞・教科書などの資料分析を通じた比較及び対照研究が主である²¹⁸。「語彙」研究であるため、書き言葉を中心にその「表記」や辞書的な意味を比較することに集中し、実際の言語生活における語彙の使用様相までを調査するのはそう簡単ではないのである。

ところで、2016年『남북 언어의식 조사 보고서(南北言語意識調査報告書)』によると、専門家の57.7%が最近まで行われた南北言語における関連事業の中で「南北における生活

²¹⁷ 岩田裕子・重光由加・田村泰美(2013)では、自然なインタラクションから得られたデータで、発話計画のない自然発話(unplanned discourse)とも呼ばれる。『概説社会言語学』ひつじ書房, pp. 291-292.

²¹⁸ 代表的な研究としては、홍사만(2003)『북한의 문화어어휘연구』『조선문화어사전』 분석』경북대학교출판사; 정옥란(2007)「북한의 고등중학교 국어교과서 어휘연구」조선대학 국어국문학과 박사논문; 강보선(2009)「국어교육에서의 북한 어휘교육연구」『국어교육연구』45; 扈貞煥(2010)「北韓語語彙整理 研究: 理論と實際」、第19屆中韓關係國際學術研討會 中華民國韓國研究學會; 김수현(2011)「남북어휘의 의미차이 연구: 사전의 명사 표제어를 중심으로」『국제어문학회 학술대회 자료집』5; 김은정(2016)「남북한 어휘의 형태미론적 비교연구-한국의 한국어교재와 북한의 조선어교재를 중심으로-」한국외국어대학교대학원 국어국문학 박사논문.

言語の比較研究」を改善・追加し行わなければならない事業であると答えた²¹⁹。これまで南北における言語研究が多様な方面で相当な量が蓄積されたが、この報告書によると「生活言語」研究の必要性が提起されていることがわかる。「生活言語」は、言葉通り生活で使われる言語で、おそらく日常生活の言語、もしくは日常言語を意味する言葉として把握することができる。言い換えれば、「書き言葉」ではなく「話し言葉」を研究することを意味するのである。

それでは、北朝鮮の「日常言語」を研究するためにはどのような方法があるのか。

第一、「脱北者」の言語分析がある。南北言語の境界に立っているとも言える「脱北者」の言語研究は非常に意味のある研究であることは確かである。北朝鮮及び韓国で言語生活を経験したことがある人々であるため、その言語の違いについてよく知っているはずである。しかし、脱北者の言語を「北朝鮮の日常言語」として見なすのは多少無理がある。なぜかといえば、脱北者の多様な出身地による方言的な要素、長期間にわたる脱北経路、韓国で定着過程での言語接触などによる言語変異の可能性も排除することができないためである。厳密にいうと、言語使用者として「脱北者」は韓国に来た瞬間「北朝鮮の人」とも言える外部的な要因があるため「北朝鮮の日常言語研究」の対象になるかどうかは検討する必要がある²²⁰。

第二、「話し言葉」を基にした資料分析がある。映画やテレビドラマが対象となる。映画やドラマは資料として、研究範囲が固定され客観性が担保されていると言える。また大衆文化という側面で大衆性を持っているという長所もある。

したがって、本章では北朝鮮の日常言語を分析するための資料としてテレビドラマを選択した。テレビドラマが映画より日常生活を素材にし、現実を反映する作品が多く、またテレビという媒体は映画より大衆的であるためである。言語も「大衆の言語」で書かれる可能性が高い。もちろん、映画やテレビドラマの中の対話は、いくら自然な会話であると

²¹⁹ 2016年に韓国の「国立国語院」から発刊した報告書として一般人（満19歳以上の成人男女2,021名）、接触国民（脱北者と接触した経験がある一般人200名）、脱北者（2016年2月から韓国に入学した脱北者305名）、専門家（南北言語統合関連専門家（50名）を対象としたアンケート調査である。専門家を対象に国立国語院で最近まで行われた南北言語関連事業の中で問題点や改善法案、追加で行われなければならない事業が何かについて質問した結果、「南北における生活言語比較研究」が57.7%で最も高かった。次に「南北における放送言語使用研究」と「南北における言語文化比較研究」がそれぞれ11.5%、「外国言語統合事例の比較研究」が7.7%などの順であった。

²²⁰ したがって、「脱北者」言語研究の中で「語彙」を中心とした研究としては、主に韓国定着のための脱北者の言語及び語彙テキスト開発のための研究に拡張される傾向がある。代表的な研究としては、강보선 (2013) 「북한이탈주민 대상 교육용 어휘의 유형 및 선정방법 연구」 『국어교육학연구』 第47集、권순희 (2014) 「북한이탈주민의 언어 사용 실태와 교육 지원 방향」 『이화어문논집』 第34集がある。

言っても制作者により人工的に作られたものであるので、「自然発話」とは言えない²²¹。しかし、北朝鮮における日常言語研究に置いて、現実的な限界を克服するための資料としての価値は十分あると判断した。

本章では、日常言語と言える北朝鮮のドラマを通して、南北言語の違いと北朝鮮における言語の特徴について分析する。特に、南北言語の中でもっともその差異が際立つとも言える「語彙」を中心としてその使用様相を見るのに重点を置く。「語彙」はその社会像を反映しており、北朝鮮の語彙とその使用様相を調べることは、北朝鮮社会の一面を見ることができるので、社会言語学的なアプローチが可能なところでもある。

3. 北朝鮮における「テレビ劇」と先行研究

3.1 北朝鮮のドラマ、「テレビ劇 (텔레비죤극)」とは。

北朝鮮でテレビドラマは「テレビ劇」と呼ばれるもので「テレビ劇芸術」の一つである。ファン・カプス²²²によれば、「テレビ劇芸術とは、電子工学的科学技術原理に基づきその画面を形象手段として、人間とその生活を劇的方法によって反映する芸術作品を全て含む」とした。北朝鮮の資料によれば、「テレビ劇芸術」には「テレビ小説」と「テレビ映画」そして、「テレビ劇」がある²²³。

『文学芸術辞典(下)』では、「テレビ劇」を次のように定義している。「**台詞を基本手段**として形象した劇的生活をテレビの芸術手段を通して見せるテレビ文芸編集物。テレビ放送芸術が発展し、舞台劇中継とは異なるテレビの特性に合わせたテレビ劇が登場した。テレビ映画が行動の芸術としての映画的特性を持ち、テレビ小説が描写文学としての小説的属性を持つのであれば、テレビ劇は台詞を基本形象手段にするのがその特性である... (中略) ...テレビ劇は撮影機で全てを具体的でかつ現実に近づけ衣装・扮装・装置などを**実生活のように真実にみせる**ことを要求する...」²²⁴。

すなわち、北朝鮮の「テレビ劇」は「台詞を基本手段」として「実生活のように真実に」表現することを特徴とする媒体だと言える。

²²¹ 岩田裕子・重光由加・村田泰美 (2013) 『概説社会言語学』 ひつじ書房, p.292.

²²² 황갑수 (1993) 「텔레비죤극예술 (1)」 『조선예술 (朝鮮芸術)』 1993年4号 pp.57-58.

²²³ 「텔레비죤소설 (テレビ小説)」は描写文学として、「텔레비죤영화 (テレビ映画)」は行動文芸としての特性をもっている。

²²⁴ 『문학예술사전 (下)』 (1993) 과학백과사전종합출판사, pp.155-156、強調は筆者。

3.2 先行研究を通して見た北朝鮮のドラマ分析

北朝鮮のドラマは2000年代に入って研究され始めた。それ以前は、北朝鮮のテレビ放送についての視聴制限があったため研究対象にすること自体なかなか難しかったのであろう。初期の代表的な研究としてイ・ジュチョル(2002)²²⁵がある。イ・ジュチョルは、2000年11月から2001年2月まで放映された21編(112回分)のドラマの形式と主題の特徴をまとめて、朝鮮労働党の体制宣伝の内容と目的について分析した。この研究は、ドラマが映画より日常生活を反映する傾向が強いと指摘し、日常生活についての描写がおおのずと多くなるしかなく、日常の姿をより具体的に表現するのが可能であると述べた。また、小説とは違って、現在の社会現実を視覚的に見せてくれるという点から北朝鮮社会を理解する方法の一つとして「ドラマを読むこと」の長所について言及した。ドラマが現実を反映しているという側面から「ドラマを読むこと」を適用した研究としてナム・ファスン(2003)²²⁶がある。ナム・ファスンは、2001年から2003年まで放映された15編のドラマを通して国家・家庭・個人のレベルで北朝鮮社会の変化様相について分析した。

2000年代後半に入ってから、ドラマの制作が縮小されたためか、以降北朝鮮のドラマはあまり研究されなかった。しかし、金正恩政権が始まってからは、北朝鮮のドラマを通じた北朝鮮社会の分析研究が再び始まった。また、北朝鮮のドラマを一つの芸術文学として認識し、一つのジャンルとして規定する研究もある。

キム・ミジン(2013)²²⁷は、テレビドラマが受容者ともっとも近いところで、簡単に接することができる文学芸術の一つであるにも関わらず、他の文学と映画よりも研究されていなかったことについて指摘し、北朝鮮の放送体制とテレビドラマの北朝鮮固有のジャンル規定について考察した。

カン・ミンジョン(2014)²²⁸は、金正恩政権以降、放映されたドラマ3編の内容分析を通して、現政権の現実問題と政治的な限界について分析した。カン(2014)は北朝鮮ドラマが体制を宣伝・扇動し、これを通して体制結束力を高めることで、受容者の共感を要求するしかない点を考慮し、北朝鮮社会を生きていく人民の現実的な問題がドラマに反映されたと言及した。

²²⁵ 이주철 (2002) 「조선중앙TV드라마 연구」 『국제고려학회 서울지부 논문집』.

²²⁶ 남화순 (2003) 「북한의 텔레비전 드라마를 통해 본 사회 변화 연구」 경남대학교 북한대학원 문화인론전공.

²²⁷ 김미진 (2013) 「북한TV드라마의 유형과 체계」 『한국문화기술』 16.

²²⁸ 강민정 (2014) 「김정은 체제 북한 TV드라마의 욕망—「기다리는 아버지(2013)」, 「소년탐구자들(2013)」, 「소학교의 작은 운동장(2014)」을 중심으로」 『통일인문학』 60.

アン・ジョン、ジン・ヒクァン(2015)²²⁹は、北朝鮮における青年の社会進出実態分析のため映画及びドラマを資料とした。この研究では、北朝鮮の「芸術映画」とテレビドラマに該当する「テレビ劇」と「テレビ連続劇」を便宜上「北朝鮮の映画」とし、ジャンルを詳しく区分しなかった。しかし、ドラマ及び映画を通じた先行研究については「北朝鮮の映画」が政治宣伝芸術であるので、実像を把握するのが難しいという懸念を払拭し、映画をもって現実社会をキャッチすることができるかと評価した。

ジーン・H・イ (2017)²³⁰は、北朝鮮のテレビドラマが単純なエンターテインメント以上の意味を持ち、党と政策の核心メッセンジャー的役割をすることで、重大な政治的役割をしているとした。金正恩政権に入ってから放映されたドラマ 4 編《우리 이웃들 (ご近所物語)》、《소년탐구자들 (少年探求者たち)》、《소학교의 작은 운동장 (小学校の小さな運動場)》、《귀중히 여기라 (大事にしなさい)》の内容分析を通して以前の政権とは異なる家族・日常生活・青年のような素材に焦点を合わせたことが、北朝鮮の新たなプロパガンダの方式であると分析している。

これまで北朝鮮のドラマについての研究は、主に「北朝鮮社会を読む」ための一つの方法として試みられていることが分かる。しかし、現実を反映しているという側面で、ドラマという資料を北朝鮮における言語研究の分析対象とする研究はなかった。これはひとえに、北朝鮮における言語研究が「話しことば」より「書きことば」を中心として研究される傾向にあるためである。したがって、ドラマの台詞、すなわち「話しことば」を分析することは北朝鮮における言語研究において大きな意義があるといえる。

4. 北朝鮮のテレビドラマ「우리 이웃들 (ご近所物語)」とは

本研究の分析対象である「우리 이웃들 (ご近所物語)」は 2013 年朝鮮中央テレビで放送された北朝鮮のドラマである²³¹。このドラマは、「승강기운전공(エレベーター乗務員)」として働いている女主人公「스ヒョン」と別居中である夫「킬스」の葛藤をご近所の人々のおかげで解消し、家族の重要性を教える作品である。家族と近所の人々を素材にし

²²⁹ 안지영・진희관 (2015) 「김정일 시기 북한 영화 및 TV드라마로 본 청년의 사회진출 양상과 함의」 『한국문화기술』 19.

²³⁰ Jean H.Lee (2017) 「Soap Operas and Socialism: Dissecting Kim Jong-un's Evolving Policy Priorities through TV Dramas in North Korea」, 『KOREA ECONOMIC INSTITUTE OF AMERICA』 ACADEMIC PAPER SERIES』.

²³¹ 「우리 이웃들 (ご近所物語)」は、朝鮮中央テレビで2013年2月17日に放送され、2018年2月18日、19日に再放送された。

ているので、日常生活でよく接することができる場面と台詞が多く、愉快でコミカルな要素が含まれているのが特徴である²³²。

「ご近所物語」は韓国の放送局でも紹介されたが、MBC『통일전망대 (統一展望台)』²³³では北朝鮮の最新テレビドラマとして、また KBS『남북의 창(南北の窓)』²³⁴でも北朝鮮の住民の間で人気を集めているドラマとして紹介された。北朝鮮では DVD としても制作されている²³⁵。

ドラマの内容は家族間及び近所の住民間の対話がほとんどで、主に日常生活の姿を描いた場面が多いため、北朝鮮の「実際」の言語生活が見られる資料とも言える。もちろん、実際の言語生活と全く同じだと断定することはできないが、ドラマの台詞は自然な発話を目的として書かれていると思われるので分析資料としての十分な価値があると判断した。

5. 「ご近所物語」を通して見た日常言語の語彙とその使用様相

これまでの研究では、南北における語彙の違いについては次のように分類されている。

チェ・ヨンギ(2007)²³⁶は、南北語彙の違いについて①形態は異なるが意味は同じ語彙、②形態は同じであるが意味は異なる語彙、③南北で新しくできた語彙、三つに分けて説明した。キム(2016)²³⁷は、南北で現在使われている外国人のための韓国語テキストの語彙を比較し、南北の言語異質化程度について確認した。言語政策の変遷過程と南北の言語純化運動を中心に南北語彙変化様相を調べた。南北語彙の違いは、チェのように分類し、分析した。

ジョン・オ克蘭(2007)²³⁸は、北朝鮮の中学校国語教科書の語彙について計量的研究を通して基本語彙様相と全体的な分布及び語彙体系を把握した。また、南北語彙を①表記法

²³² Jean H. Lee (2017)では、「우리 이웃들(ご近所物語)」を「The Family Sitcom: Our Neighbors」に表現した。「Soap Operas and Socialism: Dissecting Kim Jong-un's Evolving Policy Priorities through TV Dramas in North Korea」『KOREA ECONOMIC INSTITUTE OF AMERICA" ACADEMIC PAPER SERIES』, 2017.

²³³ MBC『통일전망대』「영화로 만나는 북한」2013年3月4日、2013年3月11日(554回、555回).

²³⁴ KBS『남북의 창』「요즘 북한은」2013年8月3日.

²³⁵ <https://static1.squarespace.com/static/52f78b62e4b0b3416ffbaf0a/t/5a3792ef8165f5e58aacc4a1/1513591545285/NKorea-TV+Dramas-ourNeighbors1-.jpg?format=750w>, 2018年4月1日閲覧.

²³⁶ 최용기 (2007)「남북 언어차이와 동질성 회복 방안」『국학연구』10 한국국학진흥원.

²³⁷ 김은정 (2016)「남북한 어휘의 형태의미론적 비교연구-한국의 한국어교재와 북한의 조선어교재를 중심으로-」한국외국어대학대학원 국어국문학 박사논문.

²³⁸ 정옥란 (2007)「북한 고등중학교 국어 교과서의 어휘 연구」조선대학 국어국문학과 박사논문.

による違い、②合成語造語法による違い、③語彙整理と単語作りによる違い、④社会体制による違いに分けた。

カン・ボソン(2009)²³⁹は、韓国の語彙と違いがあるものを中心に北朝鮮の教科書に紹介された北朝鮮の語彙の類型を、①形態は同じであるが意味は完全に異なる語彙、②同じ意味を共有するが互いに異なる意味も持つ語彙、③基本意味は同じであるが、片方だけ意味が追加された語彙、④意味は同じであるが、形態は完全に異なる語彙、⑤意味が同じで形態が似ている語彙、⑥意味は同じで表記が異なる語彙、⑦北朝鮮だけで使われる語彙に区分した。

研究者がどのような基準と目的で語彙を分類するかによってその区分に多少の違いはあるが、主に教科書やテキストなどの言語規範によって使われた語彙を分析したもので、辞書的意味の違いに重点を置いた分析であろう。

本研究は、「ご近所物語」で実際に発話された言語、すなわち「話し言葉」に該当する語彙分析であるので、辞書的意味だけではその違いについて説明することができない場合がある。何故ならば、実際の言語生活では必ずしも言語規範に合わせた言語のみを使うのではないからである。したがって、南北の代表辞書と言える『표준대국어사전(標準大國語辞典)』²⁴⁰と『조선말대사전(朝鮮語大辞典)』(1992)を参考にして、辞書的意味だけではなく、ドラマの内容及び文脈上の意味を把握して、語彙の違いとその使用様相について分析を試みる。

分析対象の語彙としては「ご近所物語」で発話される台詞の中で南北言語の違いと、北朝鮮言語の特徴が見られると判断されるものである。この点、筆者の個人的直感による基準と判断によるところが大きいですが、南北の辞書的意味を参考にし、客観性を確保した。ドラマで発話される語彙だけを対象とするので限定的な事例分析となってしまうが、北朝鮮言語の特徴を一般化できると考える。

分析対象の語彙は、大きく分けて発音・意味・表現に区分した。1の発音では、「사이시옷(サイシオッ)」と「두음법칙(頭音法則)」の違いと、外来語表記による発音の違いが分かる事例をあげた。2の意味では、南北の辞書的意味比較だけではその意味の違いが読み取れない語彙を対象とした。具体的には、①同じ意味を持つが、他の意味としても使われる語彙、②形態は同じであるが、意味は全く異なる語彙、③意味は同じである

²³⁹ 강보선 (2009) 「국어교육에서의 북한 어휘교육연구」 『국어교육연구』 45.

²⁴⁰ 国立国語院のホームページで閲覧した。 <http://stdweb2.korean.go.kr/main.jsp> (2018年3月3日).

が、形態は異なる語彙に分けた。3 の表現は、①北朝鮮においてのみ通用する語彙、②軍事用語を使った比喩、③寛容的表現に分けて北朝鮮言語の特徴が分かる語彙を事例にした。

5.1 発音の違い

発音の違いとしては、南北の互いに異なる言語規範の違いがわかる語彙を事例として挙げた。代表的な違いである「サイシオッ」と「頭音法則」の違い、そして互いに異なる外国語表記法についてわかる事例である。そして、「発音」の違いだけでは説明できない語彙「고뿌(コップ)」と「컵(カップ)」については 5.1.3 で述べる。

5.1.1 「사이시옷(サイシオッ)」と「두음법칙 (頭音法則)」

1) 「비자루 대신 눈가래를 가지고 나오시오.」

「ほうきの代わりに雪掻きを持って来なさい。」

2) 「그들이 한 가정이라는 걸 안 이상 왜 갈라져 사는지 그 리유부터 알고 우리 이웃들이 빨리 대책을 세워야 될 게 아니오.」

「彼らが一つの家族であることがわかるかぎり、なぜ別れて暮らすのかその理由から調べて、私たちが早く対策を立てないといけませんでしょう。」

3) 「참으로 리해하기 힘들구나.」

「本当に理解できないね。」

4) 「임자보다 된장 한 술 더 먹은 년장자로서.」

「あんたより、味噌もう一さじ食べた年長者として。²⁴¹」

「サイシオッ」は、二つの名詞が合わさって一つの合成語にたる場合、バッチム「ㅅ」を入れて、発音をしやすくするための一つの言語規範である。1)の「비자루」の場合、「비 (=ほうき)」+「자루 (=柄)」という二つの名詞が合わさった合成語である。韓国では、「빔자루/비짜루」に発音し、北朝鮮では「サイシオッ」を適用しないでそのまま「비자루」に発音している。「サイシオッ」の適用可否は南北言語の表記にも関係がある。

²⁴¹ 「된장 한 술 더 먹다 (味噌もう一さじ食べた年長者)」(된장을 먹다, 味噌を食べる)は、辞書には載っていないが、朝鮮語では、「年をとる」ことを「나이를 먹다(年を食べる)」として使うので、おそらく相手より年とった自分について比喩的に使った言葉ではないかと思われる。

韓国ではなるべく発音と表記を一致するために「サイシオッ」を適用しているので、「빗자루」に表記している。しかし、北朝鮮では本来の形を保たせるために「サイシオッ」を適用しないので「비자루」に表記している。

「頭音法則」というのは、「ㄴ」と「ㄷ」で始まる漢字語の場合、発音の便宜上「ㅇ」と「ㄴ」に表記する発音のルールである。2)の「리유」と3)の「리해」、4)の「년장자」の場合、「頭音法則」を適用している韓国では2)「이유」、3)「이해」、4)「연장자」に表記し、その通り発音している。

「サイシオッ」と「頭音法則」は、発音をしやすいため一つの言語規範である。韓国では両者とも適用しているが、北朝鮮では適用していない。これが、南北の言語規範の大きな差異であるが、このドラマの台詞でも確認することができた。

5.1.2 外来語表記及び発音

5) 「야, 나도 로라스케트 타고 싶구나.」

「わ、私もローラースケートに乗ってみたいな。」

6) 「부위원장동지가 과업주고 간 50 호 뽐프장 양식이...」

「副委員長同志から課業として任された50号のポンプ場の様式が...」

7) 「일이 이렇게 된 바엔 직장 세대들의 바께쓰를 우리 승강기 앞에 가져다 놓게 해 주세요.」

「どうせこうなったもんだから、職場の世帯のバケツをエレベーターの前に置かせてください。」

8) ① 「술은 여기에 있소. 가서 고뿌나 좀 가져오오.」

「お酒はここにあるよ、コップを持ってこい。」

② 「한 고뿌 쪽 냅시다.」

「一杯飲みましょう。」

③ 「한 고뿌 더!」

「もう一杯!」

Roller skate、pump、bucket、cup をそれぞれ北朝鮮の外来語表記法によって書いたものである。すなわち、韓国では「롤러스케이트」、「뽐프」、「바께쓰」、「컵」と異なる表記し、表記通り発音している。南北の外来語表記法の違いがわかる事例である。8)の

「고배」は一般的に「コップ」と発音するが、発音の以外、意味の違いについてもわかる事例とも言える。

5.1.3 では、南北で「고배 (コップ)」と「컵 (カップ)」の発音及び意味がどのように異なるのかについて述べる。

5.1.3 「고배 (コップ)」と「컵 (カップ)」

- ・「優勝 “컵” 返還式」 (1925. 1. 19, 東亞日報)
「優勝 「컵」 返還式」
- ・「今年度 페비스컵 庭球戰에 出場하기로 申請한 나라는」 (1928. 1. 15, 東亞日報)
「今年度テビス「컵」庭球戦に出場することに申請した国は」
- ・「조선인 남자 한 명이 “컵” 일개를 사고 또 다른 그릇을 사려고」 (1927. 4. 8, 東亞日報)
「朝鮮人男性一人が「컵」一つを買い、また他の器を買おうと」
- ・「레몬이나 柚즙 한컵 설탕 二컵 물六컵」 (1932. 9. 2, 東亞日報)
「レモンやゆずの汁い1「컵」砂糖二「컵」お水六「컵」」

上記は、南北分断以前に使われた「컵」の事例を新聞記事で引用したものである。「컵(カップ)」は、「優勝カップ」、「器」、「分量を計る単位」のような用法として使われ、今日韓国で使われる意味と大きな差異はない。しかし、植民地支配下であった当時の朝鮮で「컵 (カップ)」は日本語の発音「コップ」に変わることになる。

国語学者の李克魯(イ・グンノ)は外来語浄化の必要性について次のように指摘した。

「...西洋語が日本語化したものが朝鮮に入ってきてすでに広く広がったものは、例えば「컵」を「고배(コップ)」と発音したり、「비어」を「비루(ビール)」と発音したりする場合は、そのまま使い、これから新しく入ってくるもの、例えば「택시」を「다구시 (タクシー)」とするような発音はしないで、本音通り使うのが良い...」²⁴²

²⁴² 李克魯「外来語의 淨化」『東亞日報』1931年1月1日。

当時、外来語が朝鮮に流入し、日本語の発音通り定着した語彙について、「本来の発音通り」使うことを主張した記事である。北朝鮮の場合、上記の記事通り、当時「꺽」はすでに定着した外来語として現在まで「고뿌(コップ)」で呼ばれている。韓国でもある時期まではよく見られる語彙であった。

・ 「대구역전에 있는 명월관은 유리창이 깨어지고 ‘고뿌’가 불결하다는 등 위생시설이 좋지 못하다는 이유로 대구서에서 허가를 취소하였는데...」(1956. 7. 17, 『京郷新聞』)

「大邱駅前にある明月館は、窓ガラスが割れ、「コップ」が不潔だ、など衛生施設が良くないという理由で大邱警察署では許可を取消したが...」(1956. 7. 17, 『京郷新聞』)

・ 「어느 고뿌에나 염통이 들어있었다. 고뿌에는 종이쪽이 붙여져 있었는데...」(1959. 1. 31, 『東亞日報』)

「どのコップにもハツが入っていた。コップには紙切れが貼ってあったが...」(1959. 1. 31, 『東亞日報』)

しかし、「고뿌(コップ)」は韓国で「言語純化運動」が活発に行われた 1970 年代に入ってから変えなければならぬ「日本語の残滓」となり、「꺽(カップ)」に「純化」することになる。日本語の発音通り定着してしまった語彙が本来の言葉(元の言葉)に戻ったケースである。

それでは、北朝鮮における「고뿌(コップ)」はどのようになったのか。次は、「ご近所物語」で「고뿌(コップ)」が登場した台詞である。

① 「술은 여기에 있소. 가서 고뿌나 좀 가져오。」

「お酒はここにあるよ。コップを持ってこい」

② 「한 고뿌 쪽 넘시다。」

「もういっぱい飲みましょう」

③ 「한 고뿌 더!」

「もういっぱい」

「コップ」が①ではお酒を注ぐ「器」の意味として、②ではお酒を飲む「行為」として、③ではお酒の量を計る「単位」として使われている。「고뿌(コップ)」の代わりに韓国の「꺽(カップ)」を使っても構わないはずだが、ドラマの内容から見てお酒を飲む場で登場

する「고뿌(コップ)」の代わりに使うのは違和感がある。韓国で上記のような対話の場合、「(술) 잔 (酒) ジャン」、「한잔하다(一杯飲む)」、「한 잔 (一杯)」のようにお酒と関連する言葉は、「컵(カップ)」より「잔(ジャン)」を使うのが自然な感じがするためである。「コップ」と関連する語彙としては「고뿌놀음 (コップノルム)」、「고뿌술 (コップスル)」などがあるが、辞書的意味としてはそれぞれ「(お酒を飲む時の小さい杯ではなく) コップで飲むこと」、「コップで飲むお酒」を意味する。すなわち、「고뿌(コップ)」は器の種類である「컵(カップ)」の意味として使われる「水コップ」、「ビールコップ」などではなく、「杯」を意味する言葉として、しかも「小さいコップではない」という意味が含まれている「酒杯」として使われている。

それでは、北朝鮮では「고뿌(コップ)」を「純化」しようとしなかったのか。北朝鮮の言語純化運動の一つであった「우리말 다듬기 지상토론 (我々の言葉の整え方についての紙上討論)」²⁴³の内容を例としてあげる。

a. 「고뿌세척기-고뿌가시개」【408回、商品名】

「コップ洗滌機-コップガシゲ」

b. 「비커(화학실험에서 주로 물에 푼 액을 다루는데 쓰는 그릇,
고뿌모양으로 되어있다)-실험고뿌」【424回、化学用語】

「ビーカー (科学実験において主に水に溶かした液を扱うとき使う器、
コップの形になっている-実験コップ)

a.の場合、「コップ」を「洗う機械」を「고뿌가시개：コップガシゲ」に整えることについての討論内容である。ここで「コップ」は変えなければいけない言葉ではなく「세척(洗滌・洗浄)」という漢字語を朝鮮語に整えるという内容である。ちなみに、「고뿌가시개：コップガシゲ」の「ガシゲ」は固有語動詞の「가시다：ガシダ」(水などできれいに洗う)から作られた名詞である。

b.では「コップの形」のビーカーを「実験コップ」にしようという内容であるが、上記の二つの事例から見ても「コップ」を整えようとする意図はない。当時の「コップ」はすでに定着した言葉で、「純化」の対象ではなかったのである。

²⁴³ 「우리말 다듬기 지상토론 (我々の言葉の整え方についての紙上討論)」は、北朝鮮で「言語醇化運動」が最も活発に行われた時期である1966年から1973年まで『労働新聞』に長期連載記事として、当時北朝鮮の人々の言語感覚の覗いて見ることができる資料である。

それでは、北朝鮮で「컵 (カップ、CUP)」はどのような意味として使われているのか。「컵」の辞書的定義は次のようである。

【컵】「カップ」

① 競技や競演などで優勝した団体や個人に賞として与える大きな杯のような工芸品、形と材質は様々である。

② →코ップ

基本的に「컵」は、「賞として与える大きな杯」の意味として使われており、その他には「코ップ」と同じ意味として使われている。「코ップ」の韓国の表記は「컵」であるが、この事例を通して「発音の違い」が「記号の違い」だけではなく「意味の違い」としても見られる事例である。すなわち発音だけではなく、意味が分化することによって語彙の使用様相も異なるものとなった。

5.2 意味の違い

意味の違いでは、韓国の辞書にはあるが、辞書的意味比較だけではその違いがわからない語彙として、5.2.1.同じ意味であるが、他の意味としても使われている語彙、5.2.2.形態は同じであるがその意味が全く異なる語彙、5.2.3.意味は同じであるが形態が異なる語彙を事例とした。

5.2.1.同じ意味であるが、他の意味としても使われる語彙

1) 「生活」(생활)

(1) 「그런데 가끔 어떤 가정들에서는 자그마한 말다툼이 집안의 화목과 이웃들의 마음 속에 그늘을 주는 웃지 않을 수 없는 일들이 벌어지곤 합니다. 생활이니까요. 우리의 이야기도 역시 웃지 않을 수 없는 그 생활에서부터 시작됩니다.」

「ところで、時々ある家庭でおきるささやかな口喧嘩が、家の平和や近所の人々の心に陰をさす笑えざるを得ないことが起きたりします。生活ですから。我々の話も笑えざるを得ないその生活から始まります。」

- (2) 女性 : 「야, 좀 가만 있으라요, 그래도 병원 소독약 냄새보다야
이 향수 냄새가 더 좋지 될 그래요.」
- 男性 1 : 「어, 좋아 좋아(승강기 문이 열려있는 것을 보고) 아이구, 미안합니다.」
- 男性 2 : 「**생활**인데요 될.」
- 女性 : 「ちよつと、ちよつと！病院の消毒薬の匂いより
この香水の香りがもっといいじゃないですか」
- 男性 1 : 「いいね！いいね！
(エレベーターのドアが開いているのを見て) す、すまん。」
- 男性 2 : 「なに、**生活**ですからね。」
- (3) 男性 1 : 「아니, 아주머닌요?」
- 男性 2 : 「뭐 잘못됐다던지, 갈라졌다던지. 생활이니까요.」
- 男性 1 : 「생활?」
- 男性 1 : 「奥さんは?」
- 男性 2 : 「亡くなったのか, 別れたのか. **生活**ですからね.」
- 男性 1 : 「**生活**か?」
- (4) 女性 1 : 「너 혹시 남편 없니?」
- 女性 2 : 「(웃는다)」
- 女性 1 : 「내가 괜히 공연한 걸 묻지 않았...(니)?」
- 女性 2 : 「일없어, 생활이 그런 걸 뭐.」
- 女性 1 : 「あなた、もしかして旦那さんいないの?」
- 女性 2 : 「(笑)」
- 女性 1 : 「私が、余計なことを言ってしまうて...」
- 女性 2 : 「大丈夫だよ、**生活**だから.」
- (5) 「우리는 **생활**에서 가끔 놀라지 않을 수 없는 일에 부닥치곤 합니다.」
「私たちは**生活**でたまに驚かざるを得ないことに出会ったりします.」

- (6) 「나도 우리 학교 음악 소조 은경 학생의 아버지가 10층 3호 아저씨일 줄은 꿈에도 생각을 못했어요. 그리고 보면 **생활**이란 참...」
 「うちの学校の音楽部員のウンギョンちゃんのお父さんが10階3号のおじさんだとは夢にも思わなかったですよ。そうしてみると、**生活**というのは...」
- (7) 「동네 사람들에게 집이 되지 않게 직장에서나 인민반 생활에서나 언제나 앞장 서길 바라네.」
 「ご近所の人たちにご迷惑にならないよう、職場でも人民班の**生活**でもいつも積極的にしてほしい。」

「生活」という言葉は、このドラマで頻繁に登場した語彙である。上記の事例で使われた「生活」は(1)人生、日常、(2)私生活、日常、(3)私生活、(4)人生、事実、現実、(5)人生、日常、(6)人生、(7)活動などの意味として使われている語彙である。

次は、「生活」の辞書的定義である。

『표준대국어사전 (標準大國語辭典)』(南)	『조선말대사전(朝鮮語大辭典)』(北)
a. 人や動物が一定な環境で活動しながら生きていく	a. 《生活とは、まさに自主性のために自然を征服し、社会を改造する人の創造的活動であり闘争である。》(《김정일선집》12券、49ページ)
b. 生計や暮らしを立てていくこと	b. 食べて、着て、使って、暮らしていくこと
c. 組織体でその構成員として活動する	c. 生物が自分の機能をしながら生きていくこと
d. ある行為をしながら生きていく、またはその状態	d. 一定の社会的単位や分野の成員として暮らし、活動すること
	e. 囲まれている実際の現実
	f. 人や社会が体験し、成していくものの総体
	g. 社会の全般的、または個別的側面からでの活動や動き

北朝鮮辞書で「生活」の辞書的意味の a. 「生活とは、まさに自主性のために自然を征服し、社会を改造する人の創造的活動であり闘争」という意味が付与されることによって、韓国の「生活」より意味領域が拡大された。北朝鮮では最高指導者の言葉から出た語彙の意味が辞書の意味にも影響を及ぼすが、上記の事例がまさにこれに該当する語彙と言える

244. このドラマで 9 回も登場した語彙であるので、日常生活でもよく使われる語彙と推測される。

2) 「討論」(토론)

(1) 夫：「뭐? 내가 당신을 무시한다고?」

夫：「なに?私があなたを無視したと?」

妻：「이번 일도 그렇지요. 고모네 집에 경일이 데리고 가는 걸

언제 한 번 나하고 토론해 봤어요?」

妻：「いつも無視するでしょう、お姉さん家にギョンイル(息子)を連れていく

ことについて私に一度討論したことあるんですか。」

夫：「허 참, 내가 뭐 영 돌아오지 못할 길 떠난다고 토론하고 말고

한단 말이요, 솔직히 무시하는 건 당신이요.」

夫：「私が永遠に戻ってこないところに行くのでもないのに、討論する必要も

あるまい。正直なところ、無視している方はあなただ!」

(2) 女：「너무 고집쓰지마. 자식은 자식이고 남편은 또 남편이야. 그러니

이제부터 마음 가다듬고 새 출발 시작해. 그래서 우리 철이 아버지랑

토론해봤는데... 10 층 3 호. 그 사람 말이야....」

女：「あまり意地を張らないでね、子供は子供だし、夫は夫なのよ。だから、

これからは新しい気持ちで再婚するのはどう?主人と討論して見たけれど、

10階3号、その人のことなんだけど...。」

244 『김정일선집 (金正日選集)』12巻は1987年4月~1989年6月の間に発表したものである。したがって、以降に出た辞典的定義に含まれた。ちなみに、1973年に発刊された『조선문화어사전 (朝鮮文化語辞典)』(社会科学出版社)の「生活」の辞典的定義としては、①食べて、着て、使って、暮らすようなこと、②生物が自分の機能を果たしながら生きて行くこと、③社会の一人の成員として様々な活動をしながら生きて行くこと、と定義している。

次は、「討論」の辞書的定義である。

『표준대국어사전(標準大國語辭典)』(南)	『조선말대사전(朝鮮語大辭典)』(北)
a.ある問題について様々な人がそれぞれの意見を言いながら論議する。	a.(会議や出版物などに)ある問題についての主張、見解、意見、経験などを発表すること。 b.(ある問題を解決するために)互いに討議し、相論すること。

上記の(1)で「討論」は（子供を連れてお姉さん家に行くことについて）話をしたり、相談をしたことがあるか、という文脈で言及される。(2)しかし、夫との話や相談を「討論」と言っているのだ。ここで「討論」は、子供を連れてお姉さん家に行ったり、シングルの友人に人を紹介する目的で話をしたりする時に使われた。韓国で「討論」は主に「公的領域」で使われるのに対して、北朝鮮では「公的領域」だけではなく極めて「私的領域」でも使われていることがわかった。

3) 「家庭訪問」(가정방문)

(1) 「왜? 난 뭐 가정방문 오면 안되나?」

「どうして? 私は**家庭訪問**してはいけないの?」

(2) 「그래도 상하수도 지배인이랑 구역인민 부위원장님이 가정방문 왔는데

뭘 좀 대접하지 않겠소?」

「それでも、上下水道支配人と区域人民副委員長が**家庭訪問**に来たのだから、何かおもてなしがあるはずだろう?」

近所の人々が、別居中の夫婦の和解のために夫と妻の家に突然訪問する場面の台詞である。韓国で「家庭訪問」は、「学校教員や少年保護機関の職員が学生の家庭環境を理解し、親との協力のために、学生の家庭を訪問すること」の意味として使われる教育用語であるが、北朝鮮では日常でも使う語彙である。

4) 「意見相異」(의견상이)

「그러던 그들이 오늘날에 와서 자그마한 의견상이를 해서 가정이 화목치 못하고 지어 갈라져 산다니 참으로 리해하기 힘들구나.」

「そうした彼らが最近、ささやかなことで**意見相異**をして家庭が仲睦まじくなく、別れて暮らすなんて、実に理解できないわ。」

「意見相異」は「意見が互いに合わないこと」を意味している語彙であり、韓国辞書にはないが、北朝鮮辞書には載っている語彙である。上の台詞は、夫婦の葛藤について話をする部分で、韓国の場合、「意見相異」の代わりに、「口喧嘩」、「夫婦喧嘩」のように使うことができる。

5) 「提起」(제기)

(1) 「급한 수술이 제기돼서 밤에 불려나갔는데...」

「緊急手術が**提起**されて夜に呼ばれたが...」

(2) 「그래서 우리 세대주가 어제 승강기 사업소에 정식 제기를 했어요.」

「それで、うちの世帯主(夫)が昨日エレベーター事業所に正式に**提起**をしましたよ。」

(3) 「듣자하니 수연동무는 승강기 사업소 지배인한테 정식으로 제기했다면서?

내일부터 다른 아파트 승강기 운전공으로 돌려달라고 말ियो.」

「スヨンドンムはエレベーター事業所支配人に正式に提起したって?

明日から他のアパートのエレベーター乗務員として働きたいと。」

(4) 「경일이 엄마 다른 아파트 운전공으로 옮겨가겠다고 사업소에 제기한 거 알아?」

「キョンイルのお母さんが他のアパートの乗務員として働きたいと事業所に

提起したこと知ってる?」

次は、「提起」の辞書的定義である。

『표준대국어사전(標準大國語辭典)』(南)	『조선말대사전(朝鮮語大辭典)』(北)
a.意見や問題を出すこと b.訴訟を起こすこと	a.(解決や討議などのために)ある問題や意見を出すこと、またはその問題や意見。

内容上、「緊急手術がある」、「事業所に頼む、依頼する」などの意味で解釈することができるが、韓国で「提起」は、「問題を提起する」、「訴訟を起こす」などの意味で使われる。

6) 「ドンジャジル」と「ドンジャイル」(「동자질」と「동자일」)

(1) 男1: 「저녁 근무교대 때 내 손으로 동자질을 한 적이 얼마나 되는 줄 아오?」

男1: 「夜間勤務交代の時、自分でドンジャジルをしたのがどれくらいあったか知ってる?」

(2) 男2: 「하긴, 아내도 없는 쓸렁한 집에 혼자 들어가서 아들녀석을 기다리며 저녁 동자질이나 하자니 쓸쓸할테지。」

男2: 「妻もいない寂しい家に一人帰って、息子を待ちながら夕ご飯のドンジャジルをすると寂しいだろう。」

(3) 女1: 「옛그제 소학교 음악 교원이 된 덕의 따님이 집의 동자일도 맡아한다는 것도 다 알고 있습니다。」

女1: 「おととい、小学校の音楽教員になったお宅の娘さんが家のドンジャイルも負っていることも知っていますよ。」

南北で「ドンジャ」とは、「食事の支度をする事」を意味する。北朝鮮で「ドンジャジル」は「부엌일(台所の事)」と同じ意味で使われ、「台所で作る様々なこと」を意味する言葉である。韓国では、「台所で食事の支度をする事を低くいうとき使う言葉」として使われている。事例では、「부엌일」のことを、男性には「ドンジャジル」、女性には「ドンジャイル」として表現しているが、男性が食事の支度をする事を卑下している。

北朝鮮では、解放直後男女平等についての法律的・社会的体制が構築されたが、家庭内では男女平等が行われていないことが推測できる事例である。

7) 「なでる」 (쓸다)

「그럼 돈을 훔친 녀석을 곱다고 쓸어줘야 옳겠습니까?」

「それでは、金を盗んだやつを可愛いと**なでなければ**ならないですか。」

「쓸다」の辞書的意味として韓国では「軽く撫でたりこする」北朝鮮では、「手で撫でながらこする」という意味である。ここでは息子を褒めるときに使われた。

8) 「簡単だ、易しい」 (쉽다)

「정말 쉽지 않은 여자로구만。」

「本当に**簡単ではない**女だな」

「쉽다」は、南北で主に「～ではない」と一緒に使われる言葉として、「ありきたりな、ありふれた」という意味がある。ここでは、住民のことを手伝う、自己犠牲のエレベーターの乗務員を褒めるときに使われた。

5.2.2 形態は同じであるが、意味が異なる語彙

1) 「하긴 점심밥을 번지었으니...」

「そういえば、昼ごはんを**抜かした**から...」

「食事を抜かす」の意味で使われた「번지다 (ボンジダ)」は、韓国辞書にはあるが、日常であまり使われない言葉である。

2) 「그렇게 마음 착한 여자 나한테 왜 안 태였을까?」

「あんなに心優しい女性がなぜ私に**来なかった**のか。」

「태이다」は「(何か事柄が)自分の分け前となる」という意味で、ここでは「心が優しい女性にどうして会えなかったのか」、「どうして私には来なかったのか」という意味で使われた。

3) 「작전이 **뒤지** 말아야겠는데...

「作戰が**ずれて**はいけないが...

「뒤다」は、「(計画し、予定したことが) うまくいかず、ずれる、外れる」という意味として使う言葉で、「計画したことがずれてはいけないが...」と解釈することができる。

4) 男1: 「아니, 내 아들 내가 교양하는데 왜 **삐치리** 드는 겁니까?」

男2: 「뭐? 삐친다고? 자네 정말 말 다 했나?」

男1: 「いや、自分の息子を自分で教え育てるのに、どうして**口を挟む**のですか。」

男2: 「何? **口を挟む**って? 君、言いたいことはそれだけか?」

「삐치다」は「비치다」を強く発音した言葉で、「口を挟む、口を叩く」の意味で使われた。

上記の「번지다」、「태이다」、「뒤다」、「삐치다」は、韓国でも使う言葉であるが、北朝鮮では韓国と異なる意味として使っている言葉である。

5.2.3. 意味は同じであるが、形態が異なる語彙

1) 「**감동되다**」 (感動する)

息子: 「왜요? **감동 안 되나요?**」

息子: 「どうしてですか? **感動しなかったのですか?**」

父: 「진짜 **감동될 뻔했구나.**」

父: 「本当に**感動するかと思ったよ.**」

娘: 「오빠야, 아버지가 그 시를 듣고 **감동됐나?** 진짜 **감동될 뻔했었는데...**」

娘: 「お兄ちゃん、お父さんがその詩を聞いて**感動したの?** 本当に**感動したかと思ったのに...**」

2) 「배워주다」 (教えてもらう)

母：「너 그거 학교에서 배웠니?」

母：「あなた、それ学校で習ったの?」

娘：「아니, 오빠가 배워줬어.」

娘：「いいえ、お兄ちゃんから**教えてもらったよ。**」

韓国では「감동하다 (感動する)」もしくは「감동받다 (感動を受ける)」の意味をもつ語彙であるが、北朝鮮では、「감동되다 (感動される)」として使っている。「배워주다 (習ってくれる)」は、北朝鮮では「가르쳐서 알게 하다 (教えて分かるようにする)」という意味であるが、韓国では「가르쳐주다 (教えてくれる)」と同じ意味として使われている語彙である。「감동되다 (感動される)」と「배워주다 (習ってくれる)」は韓国の「감동하다」もしくは「감동받다」と意味は同じであるが、形態が異なる語彙といえるが、このような語彙使用によって文体にも影響を与えていることがわかる。ちなみに、北朝鮮で「배워주다」の場合、「誰かに教えてもらう」という意味として使われている。

5.3 表現の違い

韓国辞書には載っていない語彙として、5.3.1.では北朝鮮においてのみ通用する語彙、5.3.2.では軍事用語を使った比喻、5.3.3.では寛容的表現に分けた。

5.3.1.北朝鮮においてのみ通用する語彙

1) 「당신은 빨리 분주소에 알려」

「あなたは早く**分駐所**に通報してね!」

迷子になった子供を見つけるため、近所の人々が大騒ぎをする場面で「**분주소**(分駐所)」という語彙が登場する。「분주소(分駐所)」の辞典的意味は「社会安全機関の下部末端単位の一つ」であるが、ここでは、「분주소(分駐所)」に迷子の通報をしなければいけないという場面で使われた。韓国の「파출소 (派出所)」と同じような機能をする機関である。

2) 「오늘 오점 맞았어? 그제 매일 오점만 맞아.」

「今日、**五点**取ったの？毎日**五点**だけ取ってね！」

「**오점 (五点)**」の辞典的意味は、「5 段階の試験採点方法で最も高い成績」という意味で、お父さんが息子に学校の試験で高い点数を取りなさいという意味で使われている。

3) 「너 이제 학술소조에 가야겠구나.」

「あなた、もう**學術ソゾ**に行かなくちゃ！」

「**소조:ソゾ**」の辞典的意味は「(同じ目的や志向の下に組織される) 小さな集団や組織」
として、韓国の学校「クラブ」や「동호회 (同好会)」の意味として使われた。このドラマでは、「**學術ソゾ**」以外に「**音樂ソゾ**」としても登場する。

4) 「운전공동무, 내 당에서 포치사업이 있어서 가는데 동네 사람들에게 가스통들이 도착했다고 좀 알려줘.」

「**運転手ドムム**、私は党で**ポチ**事業があって行くから、アパートの人々にガスボンベが届いたと伝えてね！」

「**포치 (ポチ)**」の辞典的意味は、「何かを広げるという意味で、事業を始める前に一定の人や集団、または単位に分業し、事業の目的と意義、すべきことの内容、その遂行方法などを知らせ、これからの事業が順調にいくようにすること」をいう言葉である。

5) 「세포등판에 지원물자 가지고 가셨다더니 언제 오셨습니까?」

「**洗浦ダウンパン**に支援物資を持っていらっしやったと言われましたが、いつお戻りになりましたか？」

「**洗浦ダウンパン**」は江原道洗浦群を中心として造成された北朝鮮最大規模の畜産基地を意味する固有名詞である。ちなみに「**ダウンパン**」は「山の尾根の平たくて広いところ」を意味する言葉である。

6) 「또 무슨 일에도 너무 **덤벼치면서** 승강기 문을 자꾸 두드리려 꾸중을 듣곤 하는 상하수도 지배인도 참 좋은 분들이란다.」

「また、何事にも意欲がありすぎて、エレベーターのドアを何度も叩いてしまう、人から言われる上下水道支配人も本当は良い方たちなのよ。」

「덤벼치다」は、北朝鮮辞典には「헤덤비며 돌아치다 (積極的で意欲がありすぎる)」という意味の言葉である。上下水道支配人役の人物の何事にも積極的な性格を話す時に使われた。

7) 子供1: 「나도 아버지가 헛소리를 쳤다고 어머니에게 말했다가 **빵짝나고** 말았어.」

子供2: 「내가 쓴 시가 아니라는 것이 **빵짝나서** 난 욕 많이 먹었어.」

子供1: 「私もお父さんがたわごとを話したとお母さんに言って、

ばれてしまったよ。」

子供2: 「私が書いた詩ではないことが**ばれて**しまって、怒られたよ。」

「**빵짝나다** (ばれる)」は、北朝鮮辞典には載っていない語彙であるが、ドラマの内容上「嘘がバレる」という意味として使われた。子供同士の対話で出た言葉であったので、主に子供が使う語彙であるかもしれない。

8) 「아주머닌 뭘 안다고 **뽀치각질**이요?」

「あなたは、何をわかっているとって、**口を叩く**の?」

「**뽀치각질**(口を叩くこと)」は、北朝鮮辞典には載っていない言葉として「口を叩く、口を挟む」という意味を持つ「**뽀치다**(口を叩く)」から派生した言葉と推測される。内容上、口出しをすることを卑下する言葉として使われた。

5.3.2. 軍事用語を使った比喩

- 1) 「그런데 웬일들이십니까? 명예위병대같이 쪽 늘어서서...」
「ところで、どうしたんですか。名誉衛兵隊のようにずらりと並んでて...」
- 2) 「내가 연료 공업소 소장에게 2,3 일 안을 주민용 연료 공급을 끝내라고 독촉을 했더니만 글썽 퇴근도 안 하고 전투를 벌린다누나.」
「私が、燃料工業所の所長に2、3日に以内に住民用の燃料供給を終わらせよと催促をしたら、帰らないで戦闘をしているんだって。」
- 3) 「보도시간에 보니까 세포등판 개간전투가 굉장하더만요.」
「報道時間に見たら、洗浦ドンパンの開墾戦闘がすごかったのよ」

1)の「名誉衛兵隊」は「国家的な大きい儀式、または外国の重要な代表を迎えたり送ったりする時、敬意を表すために一定の格式として配置され行事を行う衛兵隊」をいう。引越しをしてきた新しい住民を迎える時、近所の人々が並んでいる姿をみて比喩的に使った言葉である。2)、3)の「戦闘」は「敵との戦い」を意味する軍事用語だけではなく「何かを手に入れ、発展させるための激烈な活動」の意味として使われている。内容上、2)は夜遅くまで働いているという意味として、3)は開墾事業がうまくいっているという意味として使われている。このような軍事用語を使った比喩が日常生活でも頻繁に使われていることがわかる。

5.3.3.寛容的表現

- 1) 男1: 「이발이 영 안 먹어들어가는 걸 어떻게 하겠습니까?」
男1: 「いくら言っても全然聞き入れてくれないのをどうするんですか?」
男2: 「그럼 어떻게 하든 먹어들어가도록 해야지」
男2: 「だから、なんとかして聞き入れてもらわなければ!」

「이발(=이)이 안 들어가다 (齒が入らない)」は、「どんな作用を与えてもどうしても反応がないことを象的にさす言葉」である。「안 들어가다 (聞かない)」を「안 먹어

들어가다 (聞き入れない) 」に使うことによって、強調する意味として使われた。ここでは、いくら話をしても聞こうとしない男性主人公の態度に対して使われた表現である。

2) 「요만한 난관에 물러서서 **발목을 뺨단** 말시오?」

「このぐらいの難関に立ち向かわないですぐ諦めてしまうということ?」

「**발목을 뺨다**(足首を捻挫をする)」は、南北辞典両方とも載っていない言葉で、内容上「すぐ諦めてしまう」という意味として使われた。

3) 「**몸** 까기 위해서 운동한다고.」

「痩せるために運動すると」

「**까다** (むく)」は、「痩せる」という意味として使われた。

4) 「임자처럼 여기서 **맥을 다 뽑고** 나면 그 다음엔 무슨 기력으로 계단을 걸어 올라가?」

「あなたみたいにここで力を全部出してしまったら、そのあとは何の気力で階段を登るの?」

「**맥(을) 뽑다(=뺨다)** (脈を抜く)」は「気力や力が抜けるようにする」という意味として使われた。

5) 「인민반 사업에 자기 한 **몸을 내댄** 10 층 3 호.」

「人民班の事業に自己犠牲をした 10階 3号」

「**몸을 내대다**(体を差し出す)」の「내대다(差し出す)」の辞典的意味は、「差し出して捧げる覚悟をする」という意味として使われ、上記の場合人民班事業に「**몸** 바쳐 희생하였다」は「体を差し出し犠牲した」の意味として使われた。

6) 「내가 뭐 오늘 재세나 부리자고 이런 말 하는 건 아니야.」

「私が、今日ジェセを振る舞おうとこんなことを言っているんじゃないよ」

「**재세 : ジェセ**」は、「ある力や勢力、名誉などに頼って、わがままで生意気で傲慢に振る舞うこと」を意味する言葉で主に、「ジェセを振る舞う」あるいは、「ジェセが強い」、「ジェセする」として使われる。小説『ホンキルドン』²⁴⁵で、「両班ジェセを振舞っている」のように使われたが、韓国では日常生活でほとんど使われていない言葉である。韓国辞典でも「북한어(北朝鮮語)」として分類している語彙である。

7) 「뭐가 잘난 데가 있다고 흰목을 뽑는 거야?」

「どこがえらいところがあるといって威張り腐ってるの?」

「**흰목을 뽑다(=빼다)** (白い首を抜く)」は「威張りながらえらいふりをする」の意味として使われている。『(韓国現代小説) 小説語辞典』²⁴⁶に載っている言葉として、「僕が地力持ちだと威張り腐ったら、嘘つきだと文句を言われてしゅんと消えてしまった」のように使われた。

8) 「임자보다 된장 한 술 더 먹은 년장자로서.」

「あたなよりももう少し食べた年長者として」

「**된장 한 술 더 먹은 년장자** (味噌もう一さじ食べた年長者)」は、辞典には載っていない表現で、ドラマの内容上、相手より本人が年上であるという表現として使われた。

²⁴⁵ 『동아일보』に連載された「소설 「홍길동」 (762)」の内容から引用 (1974年9月6日付) .

²⁴⁶ 김윤학・최동호 (1998) 『(한국현대소설) 소설어사전』 고려대출판부.

9) 「마음씨 고운 며느리 동네 시아버지 열 둘이라더니。」

「心根が優しいお嫁さん、町に舅が十二人もいるという。」

北朝鮮の諺「心根が優しくて町に舅が九人もいる」と同じ意味として使われた表現である。辞典的定義は「古い社会で、余計な人情を軽々しく振る舞いたくさんの夫を迎え、同じ町に舅が九人もいる恥ずかしい立場になってしまったという意味として、「節操なく行動して自分の人生が台無しになり、他人から噂されること」を表象的にさす言葉」である。このドラマではアパートの住民のために自己犠牲している妻を褒めている町の人々の前で自分の妻が気に入らなくて皮肉な言葉として使われた。

10) 「복 속의 복을 모르고 사랑 속에 투정질이라고。」

「幸せの中の本当の幸せが分からず、愛の中で文句ばかり言って。」

「복 속의 복을 모른다(幸せの中の幸せが分からない)」とは、北朝鮮の諺で「「あまりにも幸せすぎてそれに慣れると、不幸だった過ぎし日を忘れて、今日の幸福が感じられなくなることを教訓的にさす言葉」である。このドラマでは妻のいない男性がささいなことで夫婦喧嘩をして、別居中である夫婦に対して家庭の大事さが分からないという意味で使われた。

6. おわりに

本章では、北朝鮮のテレビドラマ「우리 이웃들(ご近所物語)」の台詞分析を通して、南北言語の違いと北朝鮮言語の特徴を考察することを目的とした。実際に発話される日常言語と言えるドラマの台詞を通して、南北言語の違いが顕著に現れる「語彙」とその使用様相について調べた。

分析となる対象語彙を発音・意味・表現に分けた。発音では、南北の互いに異なる言語規範による発音の違いが見られる語彙を事例とした。その中には、「고뿌 (コップ)」と「깍 (カップ)」のように発音だけではなく意味の違いまで確認することができる語彙もあった。意味では、韓国でも使われるが、その使用様相が異なり、不自然に感じられる語彙を事例とした。辞書的意味が南北のどちらかでのみ拡大された、あるいは縮小された語彙のように、語彙の使用領域が異なる語彙であった。実際に発話された語彙の使用様相を

通して、その意味の比較をすることができた。表現では、北朝鮮社会体制で作られた「社会方言」の性格を持つ語彙と軍事用語や文学作品でよく使われる語彙を主に取りあげた。軍事用語や文学作品に出る語彙が日常でも使われるのが特徴であった。すなわち、発音では言語規範の違いを、意味と表現では北朝鮮の社会、文化的要因による違いがわかった。

終わりに、実際に発話された日常言語を通し、その語彙の使用様相を分析することによって、南北言語の違いだけでなく、北朝鮮の社会文化を理解するのに本稿が一助となることを期待する。

終章

1. 本研究のまとめ

最近、平昌冬季オリンピックでの女子アイスホッケー合同チーム、3回の南北首脳会談及び南北の文化交流などのような一連の出来事は、全て歴史に永く残るだろう。これから南北関係が改善され南北が統一しても、しなくても。なぜなら、約70年間も分断国家を維持してきた南北関係は、最近のような甘い一連の出来事よりは、緊張関係の中で過ごしてきた時間をはるかに長かったためである。したがって、南北の人々は最近の南北関係の改善によって、以前の時期と比較すると極めて温もりのある感動の時を味わうことができた、と思う。

南北間の交流が多くなることによって、韓国では（おそらく北朝鮮でも）北朝鮮の人々への関心が高まった。その結果、学会や学術大会などでも北朝鮮社会・文化・言語などについて活発な討論の場ははるかに多くなり、北朝鮮に関する研究が量的・質的に成長していることが明らかである。北朝鮮の資料が紹介される研究も増え、研究上の資料の限界も多少は克服することができるのではないだろうか。最近の南北関係の改善が北朝鮮及び北朝鮮の言語を研究する者にとって、事実、非常に肯定的な影響を与えている。これから北朝鮮という国家及び地域への関心がさらに高まることで研究が活発になり、北朝鮮社会をより深く理解することができることの希望を込めて、本論文の内容を以下のようにまとめた。

本研究は、北朝鮮における言語政策を分析・考察し、北朝鮮の言語状況について実証的に研究したものである。以下は、第1章から第5章までの内容についてまとめたものである。

第1章では、北朝鮮の言語政策について考察した。解放直後から行われた「文盲退治」は、初期の段階では民間主導の啓蒙運動的性格を見せたが、成人教育の整備とともに「新生国家」の経済復興、技術人材の養成という側面から高度に組織化し展開された。この過程から伺えるのは、全国的な大衆運動をきっかけとし、北朝鮮の人々を社会国家建設の事業に一人残らず組み入れようとする、国民体制の根幹整備として遂行された重要な事業であると見られる。「文盲退治」とともに行われた言語政策は「漢字廃止」であった。全ての文章をハングルのみを用いて記述する「ハングル専用」を目標としたが、結論からいうと完全な「漢字廃止」は成功することはできなかった。朝鮮語の特性上、「文盲退治」以降は文字の読み書きはできるようになったが、それだけでは文章の内容を正確に理解する

ことはできなかったのである。すなわち、同音異義語による混同が生じたのである。一時期一部の出版物では「漢字廃止」を実施し、必要に応じて括弧の中に漢字を表記するなどの過程を経て、学校のカリキュラムにおいても漢字教育は廃棄されることとなった。しかし、学校において漢字教育は結局復活するが、あくまでも漢字を「読まれる」対象に過ぎないものとしたのである。その理由は、以降発表される金日成教示で「新聞の漢字を使おうということではありません。…南朝鮮の出版物と過去の文献に漢字が少なからず使われているので人々がそれを読めるようにするには漢字をある程度教えなければなりません。」と強調しているためである。すなわち、北朝鮮の言語体系の中で漢字は受動的役割のみであり、コミュニケーションの発信手段としての機能は否定されたのである。「文盲退治」と「漢字廃止」及び「ハングル専用」のような文字政策は、第2章の言語醇化との結びつきも決して無視することはできなかった。

第2章では、言語醇化について焦点を当てて考察するが、「文盲退治」と「漢字廃止」及び「ハングル専用」の次に行われた言語政策であると考えてよい。しかし、広い視野からすると北朝鮮における言語醇化は解放直後から行われている。すなわち、文字政策とともに行われたとも言えるのである。第2章では「言語浄化」及び「言語醇化」の一環である「語彙整理事業」について三つの時期区分をし、それぞれの特徴について考察した。北朝鮮の標準語である「文化語」が登場した1966年以降から「マルダドムギ（言葉の整え方）」という言語醇化運動が始まったと思われるが、実はその以前から「言語実態調査事業」などのような一連の事業を通してすでに言語醇化は行われていたことを明らかにした。

また、『労働新聞』の《我々の言葉の整え方についての紙上討論》という公募形式として掲載された、長期連載記事の内容分析の結果、北朝鮮の人々は党の方針通り日本語及び外来語、漢字語をなるべく「わかりやすい」我々の言葉に整えようとした。しかし、2005年に出版された『朝鮮語語彙統計学』に掲載された高頻度出現名詞に属する「人民、党、革命、闘争、生活、建設」のような言葉は語源的には漢字語であるが、完全に土着化された言葉であるため、人民の生活の中に馴染んだ言葉であるとの分析がなされている。すなわち、人民の生活の中に「馴染み」、「土着化」された漢字語の場合、名詞としてそのまま使うことに「整え」の力は波及しなかったというのである。北朝鮮の言語醇化における最大の問題は、このような語彙選択における「平等の中の不平等」にほかならないのである。「文化語」の登場とともに朝鮮語の中で固有語を見い出すための大々的な言語運動が行われたのにも関わらず、結局政治的中心に置換不能な漢字語を温存させるための言語的統制の一つだったことについて明らかにした。

第3章では、北朝鮮の言語醇化が一般語彙や専門用語だけではなく地名においても「醇化」が行われたことに注目した。その根拠としては、本格的に言語醇化が行われた時期である1960年代半ばに地名調査事業も行われたことが挙げられる。また、換えなければならない地名と新しく名付けた地名の醇化原理は、結局のところ言語醇化のそれと同一に適用された点もあげなければならない。つまり、「首領性」が言語醇化の言語的統制の一つであることから考えると、本論文で明らかにした「首領性」と名付けた地名こそが、北朝鮮における地名の最たる特徴である。

第4章では、第3章と同様『文化語学習』の内容分析をしたが、分析内容としては言語生活及び実践的な側面を強調している資料の特徴を生かしたものと言える。第4章では、言語生活の中では、「言語礼節」の重要性について強調しているが、それは特に「女性」に強調されている。北朝鮮では比較的早い時期から、男性と同様女性に対しても社会の一員として、平等な社会制度が整備された。しかし、家庭内は言うまでもなく、女性が所属する社会内でも、女性は決して男性と平等な位置にはいなかった。北朝鮮における「女性のことば」を分析することによって、女性が守らなければならない「女性の言葉遣い」と文学作品の中での女性の言葉は、どのように表現されているかについて注目した。その結果、女性に「礼節のある儉朴な言葉遣い」を強調していることから、社会では男女平等を前面に出した国家政策を広げる一方、言語においては相も変わらず伝統的な女性像を強調していることを明らかにした。

第5章では、北朝鮮で放映されたテレビドラマの台詞を通して、実際発話される南北の言語の違いについて分析してみた。南北の言語の違いが最も顕著に現れるのは「語彙」である。特に、日常語彙の違いは大きいので、日常言語を通じた語彙とその使用様相について分析した。大きな違いとして「発音」・「意味」・「表現」に分けることができた。「発音」では、「サイシオッ」と「頭音法則」のように、南北の互いに異なる言語規範に起因するものであった。また、「コップ」と「カップ」の事例から見られるように、発音だけではなく意味の違いまで確認することができる語彙もあった。特に「コップ」は、日本語の発音をそのまま使う語彙であるが、この事例から日常言語において日本語の痕跡を完全に払拭することはできなかったことを表していることを明らかにした。「意味」では、辞書的意味を比較したが、その定義が拡張された、あるいは縮小された語彙の事例である。語彙の形態は同様であっても、その使用領域が異なることで南北の人々に相違の誤解が生じやすい事例であった。最後に、「表現」では、北朝鮮社会体制で作られた「社会方言」の性格を持つ語彙と軍事用語を事例とし、このような語彙が日常言語においてもよく登場していることを明らかにした。また、南北の分断以前に文学作品の中で使われた慣用句の

ような表現が、今日の韓国では日常言語としては使われないが、北朝鮮では日常生活でもよく使われていることを明らかにした。「発音」では言語規範の違いを、「意味」と「表現」では北朝鮮の社会・文化的要因による違いであったことを、事例を通して明らかにしたのである。

本論文の問題意識は、同一言語を使用する民族が分断という歴史的な状況を経験し、互いに異なる社会体制を志向及び構築することによって言語の異質化が生じた、という点から出発した。南北言語の差異について比較する前提として北朝鮮における言語政策についてその社会的背景に関連づけて検討することを優先しなければならないと判断した。先行研究で、往来が不可能で資料的な限界などの理由から北朝鮮の言語が実証的なレベルで分析されていないという限界点を克服するために、北朝鮮の新聞・雑誌・ドラマを資料として提示することで、北朝鮮の言語及び言語政策の実態に迫るところに意義があったと思われる。本論文が少しでも北朝鮮の言語と北朝鮮社会の文化を理解するための一助にしたい。

2. 今後の課題

第一、1968年から現在（2019年）においても発行されている語学雑誌『文化語学習』についてこれまであまり研究されていなかった。本研究でも一部の内容のみを分析対象としたが、未だ取り上げることができなかった言語実践的な側面について研究し続けたいと思う。およそ50年間も欠号なく発行されて続けている『文化語学習』に時期別に焦点を当て、その内容の変化についてもさらに注目する必要がある。また、最新号を見ると最近の言語使用現象についても言及されており、北朝鮮の社会変化と伴って言語においてもその変化の様相を見ることができる。『文化語学習』以外にも北朝鮮の映画・テレビドラマのような映像媒体の言語についての研究の必要性を提起し、これからも北朝鮮の資料を分析して、その社会を理解するための研究を続けていきたいと思う。

第二、話し言葉を通じた南北言語の比較、及び日本・中国・ロシアなど第三国にいる「コリアン」の言語を比較し、彼らの言語使用様相及びその現象について、社会言語学的な視点から分析する研究視野を広げていきたいと思う。

参考文献

【主要参考文献】

- 강민정 (2014) 「김정은 체제 북한 TV 드라마의 욕망-‘기다리는 아버지’(2013), ‘소년탐구자들’(2013), ‘소학교의 작은 운동장’(2014)을 중심으로」 『통일인문학』 60.
- 강보선 (2009) 「국어교육에서의 북한 어휘 교육 연구」 『국어교육연구』 45.
- 강보선 (2013) 「북한이탈주민 대상 교육용 어휘의 유형 및 선전 방법 연구」 『국어교육학연구』 47.
- 강정희 (1987) 「여성어의 한 유형에 관한 조사 연구 ‘-는/ㄴ거 있죠’를 중심으로」 『국어학신연구』 1, 탑출판사.
- 고영근 (2006) 「통일언어철학의 탐색방향」 『어문학』 .
- 고영근 (1990) 『북한의 말과 글』 을유문화사.
- 고영근 (1994) 『통일 시대의 어문 문제』 길벗
- 고영근 (1999) 『북한의 언어문화』 서울대학교출판사.
- 고유환 (2002) 『로동신문을 통해 본 북한 변화』 선인.
- 국립국어원 (1997) 『국어순화용어자료집』 .
- 국립국어원 (2016) 『남북 언어의식 조사 보고서』 .
- 국사편찬위원회 (1948) 「해방 후 3 년간의 북조선 교육사업」 『週間北朝鮮通信』 39.
- 권순희 (2014) 「북한이탈주민 언어 사용 실태와 교육 지원 방향」 『이화어문논집』 34.
- 권승모, 김영황 (1996) 「조선로동당의 언어정책과 그 빛나는 실현」 『주체의 조선어연구 50 년사』 김일성종합대학 조선어문학부.
- 김기혁 (2013) 「북한의 지명관리 정책과 연구 동향 분석」 『한국지역지리학회지』 19(1).
- 김길성 (1996) 「어휘정리연구사」 『주체의 조선어연구 50 년사』 김일성종합대학 조선어문학부.
- 김동석 (2006) 「해방기 어문운동이 문학에 미친 영향」 『어문논집』 54.
- 김동수 (1983) 『조선말례절법』 과학백과사전출판사.
- 김미진 (2013) 「북한 TV 드라마의 유형과 체계」 『한국문화기술』 16.
- 김민수 (1989) 『북한의 어학혁명』 백의.
- 김민수 (1989) 『북한의 국어연구(증보판)』 일조각.
- 김민수 (1997) 『김정일 시대의 북한언어』 태학사.
- 김석향 (2006) 「북한의 우리말 다듬기, 어떻게 보아야 하는가? 」 『새국어생활』 15-1.

- 김성보 (2011) 『북한의 역사 1』 역사비평사.
- 김성수 (2009) 「선군과 문학 『조선문학』 (1998~2007)10 년의 쟁점」 『북한문학의 지형도 2, 선군시대의 문학』 이화여자대학교 통일학연구원.
- 김수현 (2011) 「남북 어휘의 의미 차이 연구: 사전의 명사 표제어를 중심으로」 『국제어문학회』 .
- 김순배, 류제현 (2008) 「한국 지명의 문화정치적 연구를 위한 이론의 구성」 『대한지리학회지』 43(4).
- 김은정 (2016) 「남북한 어휘의 형태 의미론적 비교 연구-남한의 한국어 교재와 북한의 조선어 교재를 중심으로-」 한국의국어대학교 대학원 국어국문학과 박사논문.
- 김영배 (1994) 「북한의 지명」 『새국어생활』 4(1).
- 김윤식, 최동호 (1998) 『(한국 현대소설)소설어사전』 고려대학교 출판부.
- 김윤학 (1996) 『땅이름연구』 박이정.
- 김하수 (2005) 「국어 순화의 문제점과 극복의 길」 『새국어생활』 15(1).
- 남화순 (2003) 「북한 텔레비전 드라마를 통해 본 사회 변화 연구」 경남대학교 북한대학원 문화언론전공 석사논문.
- 도수희 (1994) 「지명 연구의 새로운 인식」 『새국어생활』 4-1.
- 문영호 (2005) 『조선어 어휘 통계학』 조선어학전서 15, 사회과학출판사.
- 민현식 (1995) 「국어의 여성어 연구」 『아시아여성연구』 34.
- 박갑수 (1984) 『國語의 表現과 醇化論』 志學社.
- 박명훈 (2005) 『조선지명학』 조선어학전서 35, 사회과학출판사.
- 박상훈, 리근영, 고신숙 (1986) 『우리나라에서의 어휘정리』 사회과학출판사.
- 박영자 (2004) 「북한의 남녀평등 정책의 형성과 굴절(1945~70) : 북한여성의 정치사회적 지위 변화를 중심으로」 『아시아여성연구』 43-2
- 박재수 (1999) 『조선민주주의인민공화국의 언어학에 대한 연구』 사회과학원.
- 박현선 (1988) 『북한 여성의 지위와 역할에 관한 연구』 이화여자대학교 사회학과 석사논문.
- 변영수 (2017) 「량강도 지명의 의미론적 연구-『겨레말큰사전』 제 25 차 남북공동회의 논의의 대상을 중심으로-」 『겨레어문학』 59.
- 변영수 (2018) 「북한 지명의 후부요소 유형-『겨레말큰사전』 제 25 차 남북공동회의 논의의 대상을 중심으로-」 『겨레어문학』 61.
- 사회과학원 언어학연구소 (2010) 『우리말레절법』 사회과학출판사.

- 사회과학원 주체문학연구소 (1993) 『문학예술사전(하)』 과학백과사전종합출판사.
- 사회과학출판사 편집부 (1992) 『조선말대사전』 사회과학출판사.
- 서민정 (2018) 「북한 드라마 「우리 이웃들」을 통해 본 남북 언어」 『한국학과 조선학, 그 쟁점과 코리아학 1』 패러다임북.
- 서진숙 (2010) 「국어 여성어 변천 연구」 경희대학교 국어국문학과 박사논문.
- 안지영, 진희관 (2015) 「김정일 시기 북한 영화 및 TV 드라마로 본 청년의 사회진출 양상과 함의」 『한국문화기술』 19.
- 이돈주 (1998) 「땅이름(지명)의 자료와 우리말 연구」 『지명학』 1.
- 이석규, 김선희 (1992) 「남성어·여성어에 관한 연구」 『어문학 연구』 2.
- 이영택 (1994) 「북한의 지명변혁과 지명의 유형」 『아세아연구』 37(1)
- 이영희 (2006) 「북한 개성특급시 역사문화·지명의 유래와 특성」 『한국학연구』 24.
- 이정복 (2007) 「북한 국어사전에 나타난 여성 차별어 분석-남한 국어사전과의 비교를 중심으로-」 『우리말글』 40.
- 이종석 (2011) 『북한의 역사 2』 역사비평사.
- 이주철 (2002) 「조선중앙 TV 드라마 연구」 『국제고려학회 서울지회 논문집』 .
- 이태영 (1987) 『북한여성』 서울 : 실천문학사.
- 이희승 (1932) 「지명연구의 필요」 『한글』 2.
- 전혜정 (1987) 『문맹퇴치경험』 평양 : 사회과학출판사.
- 정순기 외 5명 (2005) 『조선로동당의 언어정책사』 조선어학전서 3 사회과학출판사.
- 정옥란 (2007) 「북한 고등중학교 국어 교과서의 어휘 연구」 조선대 국어국문학과 박사논문.
- 조선 민주주의 인민 공화국 과학원 언어 문학 연구소 언어학 연구실 (1962) 『조선로동당의 지도 밑에 개화 발달한 우리 민족어』 평양 : 과학원출판사.
- 조창선 (2002) 『조선지명편람』 (함경북도·라선시) 사회과학출판사.
- 조창선 (2005) 『조선지명연구』 조선어학전서 37, 사회과학출판사.
- 조태린 (2018) 「언어 예절에 대한 언어 정책적 개입에 관한 비판적 고찰」 『국어학』 87.
- 주성재 (2011) 「유엔의 지명 논의와 지리학적 지명연구에의 시사점」 『대한지리학회지』 46(4).
- 지상현 (2012) 「지명의 정치지리학:행정구역개편으로 인한 시 명칭 결정을 사례로」 『한국지역지리학회지』 18(3)
- 최석주 (2003) 「북한의 지명-북한지리교과서를 중심으로-」 『한국동북아논총』 27.

- 최영란 (2010) 「『문화어학습』으로 본 북한의 문법 교육」 『국어교육연구』 25.
- 최용기 (2002) 「통일 시대의 국어 순화」 『한말연구』 11.
- 최용기 (2007) 「남북한의 언어 차이와 동질성 회복 방안」 『국학연구』 10.
- 최정후, 박재수 (1999) 『주체적 언어론 연구』 사회과학출판사.
- 최진무 외 5명 (2017) 「북한식 지명의 우리말 복원 방안에 관한 연구」 『국토지리학회지』 51(1).
- 홍사만 (2003) 『북한 문화어 어휘 연구』 『조선문화어사전』 분석』 경북대 출판부.
- 홍연숙 (1989) 「북한의 문화어와 언어정책」 『한국세계지역학회 학술발표논문집』 .
- 이·윤스 (1996) 『国語という思想』 岩波書店.
- 岩田裕子, 重光由加, 田村泰美 (2013) 『概説社会言語学』 ひつじ書房.
- 植田浩次 (2004) 「朝鮮民主主義人民共和国における漢字教育—1990年代を中心に—」 『国際開発研究フォーラム』 26.
- カルヴェ, 루イ=ジャン (2000) 『言語政策とは何か』 白水社.
- カルヴェ, 루イ=ジャン (2010) 『言語戦争と言語政策』 三元社.
- 熊谷明泰 (2000) 「南北朝鮮における言語規範乖離の起点—頭音法則廃棄政策における金寿卿論文の位置」 『関西大学人権問題研究室紀要』 41.
- 코·윤진 (2000) 「北朝鮮의 初期綴字法について」 『言語文化』 3(3).
- 코·윤진 (2002) 「草創期の北朝鮮における言語政策と辞典編纂」 『言語文化』 4(4).
- 코·윤진 (2005) 「独立直後の北朝鮮における「識字運動」に関する一考察」 『言語文化』 8(2).
- 코·윤진 (2006) 「なぜ北朝鮮では漢字を廃止したのか?」 『言語文化』 9(2).
- 徐旻廷 (2013) 「北朝鮮의 「国語醇化運動」 に関する考察—1966年から 1973年まで『労働新聞』 における《我々の言葉の整え方についての紙上討論》의 分析—」 一橋大学大学院言語社会研究科修士論文.
- 竹下真一郎 (2003) 「北朝鮮における言語政策の変遷—雑誌『文化語学習』を中心に—」 『東アジア地域研究学会』 (10).
- 中村桃子 (2001) 『ことばとジェンダー』 勁草書房.
- バーヴェル·イリーイン著、山田晴通訳 (1995) 「偉人にちなんだ(旧)ソビエト諸都市の改称—地名についての歴史的展望—」 『地図』 .
- ピータ·バーク (2009) 『近世ヨーロッパの言語と社会』 岩波書店.
- 三ツ井崇 (2010) 『朝鮮植民地支配と言語』 明石書店.

- 三ツ井崇 (2010) 「植民地化朝鮮における言語の政治学——朝鮮言語政策・社会史再考」
『한림일본학』 20.
- 三ツ井崇 (2011) 「解放後南朝鮮／韓国における言語運動・政策と『言語運動史』——植民地期との『連続』に注目して」 『歴史学研究』 875: 13-21.
- 室谷 茂 (1994) 「政治的意図による地名名の研究-その背景と影響について-」 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 修士論
- 文嬉眞 (2008) 「北朝鮮における文字政策——漢字廃止と漢字教育の現状」 『愛知学院大学語研紀要』 33(1): 113-138.
- 文嬉眞 (2010) 「北朝鮮における言語政策——「第1次金日成教示」の全文翻訳」 『愛知学院大学語研紀要』 35(1): 171-198.
- 文嬉眞 (2011) 「北朝鮮における言語政策——「第2次金日成教示」の全文翻訳」 『愛知学院大学語研紀要』 36(1): 191-228.
- 扈貞煥 (2010) 「北韓語語彙整理 研究：理論と實際」 第19屆中韓關係國際學術研討會 中華民國韓國研究學會.
- Jean H.Lee (2017) 「Soap Operas and Socialism: Dissecting Kim Jong-un's Evolving Policy Priorities through TV Dramas in North Korea」 『KOREA ECONOMIC INSTITUTE OF AMERICA ACADEMIC PAPER SERIES』 .
- Jentzsch, Spencer Jamesm, (2010) *Munhwaō: The 'Cultured Language' and Language Branding in North Korea, 1964-1984*, M.A. Thesis, The University of British Columbia.

【雑誌】

『문화어 학습』

1968年1号～2017年4号まで。

(ただし、1997年3号、2003年2号、2012年1~4号、2013年1, 3, 4号、2014年11~4号、2015年1, 4号の欠号がある。)

【新聞記事】

『로동신문』 1966. 7. 3～1973. 10. 28.

「外来語の浄化」 『동아일보』, 1931. 1. 1.

「소설 <홍길동>(762)」 『동아일보』, 1974. 9. 6.

- 「영화로 만나는 북한」 『통일전망대』 MBC, 2013. 3. 4, 2013. 3. 11.
- 「북한도 드라마 시청률 전쟁?」 KBS 『남북의 창』, 2013. 8. 3.
- 「남북 단일팀 비밀병기는 아이스하키 용어집」 『노컷뉴스』, 2018. 2. 9
- 「30년 만의 평창올림픽 성과와 남은 과제」 KBS 『공감토론』, 2018. 2. 28.
- 「北선수들, 다른 이별이라서 더 슬펐던 것 같아요.」 CBS 라디오 『시사자키 전광용입니다』, 2018. 3. 13.